

令和元年版

消防年報



(新大崎地域広域行政事務組合本庁舎)

大崎地域広域行政事務組合消防本部

【 加 美 町 】



『ボルダリングパーク やくらい WALL』

子ども専用のキッズウォールを含む4つのクライミングウォールを配置し、初心者から上級者まで楽しめるよう、たくさんのルートを設定しています。初心者の方には、スタッフが安全に施設利用できるよう指導いたしますので、2020年東京オリンピックの正式種目ボルダリングを始めてみませんか。

『大地を蹴って駆け出そう』

東北初のランニングバイク専用コース「やくらいランニングバイクパーク」が、やくらいパークゴルフ場やコテージが隣接する山村ふれあい公園内にオープン。

町内外からたくさんの親子連れでにぎわいを見せています。また、ストライダーエンジョイカップ加美町ステージなどの大会も開催されています。



『2つのアウトドアイベント』

鳴瀬川でのカヤック「川のステージ」から始まり、自転車で13kmを走る「里のステージ」、薬菜山頂上をゴールとする「山のステージ」で自然の美しさを満喫できるイベント『宮城加美町 SEA TO SUMMIT』や山形県尾花沢市から加美町を目指す「宮城・山形『絆』ツール・ド・347」は、国道347号の自然を体感するサイクリングイベントです。



『新しいにぎわいの拠点誕生』

加美町宮崎地区に、食彩市場「みやざきどどんこ館」が誕生。木造平屋建て、広さ約260㎡の店内に、地場産野菜や加工品など約400種類の商品が並ぶ販売コーナーと地元食材を使ったピザやもちご膳などの料理を提供するフードコートが入っています。



(お問い合わせ先) 加美町役場 〒981-4292 宮城県加美郡加美町字西田三番5番地

電話 0229-63-3111 (代) ホームページアドレス <http://www.town.kami.miyagi.jp/>

は じ め に

甚大な被害をもたらした東日本大震災から8年が経過し、被災した県及び市町村では生活に密着したインフラの復旧が概ね完了したところであり、新元号「令和」において、ソフト面における雇用・産業回復など復興まちづくり計画の発展期を迎えております。

近年は地震災害以外にも台風による豪雨災害など、被災地の消防力のみでは対応が困難な大規模災害も発生しており、これまで以上に消防団及び婦人防火クラブとの連携や緊急消防援助隊による広域的な消防応援活動が重要になってきております。

当消防本部では、組合消防発足から50年目におきまして、圏域の最重要防災拠点に位置づける「大崎地域広域行政事務組合本庁舎」が竣工し、本年4月から供用を開始するとともに、大規模災害が発生した場合の後方支援活動車両として総務省消防庁から無償貸与された「拠点機能形成車」を配備するなど、多様化・大規模化する災害・事故に迅速かつ的確に対応するため、消防防災体制の充実強化を進めているところです。

この年報は、平成30年度中における大崎地域広域行政事務組合の消防業務（消防団を除く）に関わる事業の成果、実績等について収録し、消防行政の効率的な運営と消防力の充実強化に資するとともに、当消防本部の実態を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

何とぞご高覧の上、消防行政に対しましての認識を深めていただき、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年7月

大崎地域広域行政事務組合消防本部

目 次

消防情勢

組合消防管内図	1
大崎消防本部の主な統計	2
位置及び地勢	3
消防施設の整備	4
相互応援協定	5
緊急消防援助隊	6
組合消防情勢の推移	7
大崎消防のあゆみと主な災害等	8
構成市町の面積・世帯・人口	30
事務組合機構図	31
消防本部事務分掌	32
消防署事務分掌	34
令和元年度一般会計予算概要及び消防費当初予算	35
施設（消防庁舎等）の現況	36
消防力の整備指針と現有消防力	37
所属別配置状況	38
年齢別構成表	39
勤続年数別構成表	40
年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数／職員数と条例定数の推移	41

警 防

災害出動計画基準表	42
非常配備体制	44
消防車両配置表	45
消防隊出動状況	48
消防水利の現況	49

(火 災)

火災の現況	50
平成30年市町別火災発生状況	51
月別火災発生状況／過去10年間の主な出火原因	52
月別火災発生及び損害額状況／過去10年間の火災件数及び損害額の推移	53

(救 急)

救急業務の現況	54
平成30年月別救急出動状況	55
平成30年救急隊別出動状況	56
平成30年出動先別救急出動状況	57

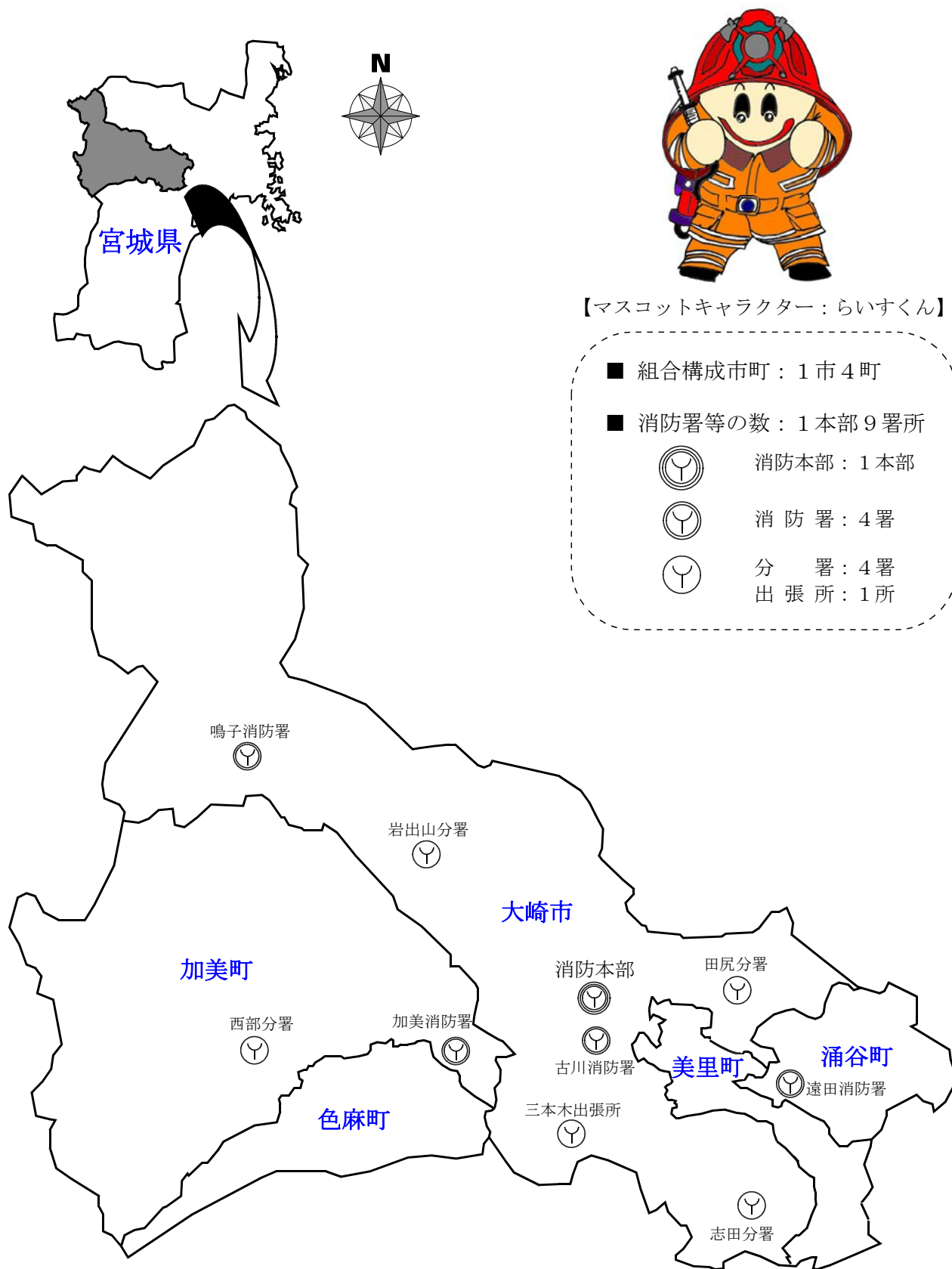
平成30年傷病程度・年齢別搬送人員の状況	58
平成30年救急隊員の行った応急処置状況（その1）	59
平成30年救急隊員の行った応急処置状況（その2）	60
東北自動車道における救急出動件数・搬送人員	61
過去5年間の発生場所別救急出動状況／過去10年間の救急出動件数の推移	62
平成30年事故種別医療機関別搬送人員調	63
応急手当講習会等の現況	64
応急手当講習会等の開催状況	65
（救 助）	
救助業務の現況	67
平成30年救助活動状況／過去5年間における救助件数の推移	68
消防装備等機械器具保有状況	69
予 防	
予防業務の現況	70
防火対象物数	71
地上5階未満，地上5階以上の防火対象物数	72
防火対象物における防火管理の状況	73
定期点検報告制度該当防火対象物数／消防同意事務処理状況	74
危険物施設状況	75
危険物関係事務処理状況／危険物関係申請状況／圧縮アセチレンガス等の状況	76
予防査察実施状況	77
液化石油ガス関係事務処理状況／火薬類取締関係事務処理状況	78
民間防火組織の結成状況	79
通信指令	
高機能消防指令センターの概要	80
通信指令システム機器一覧	82
119番等受付状況（災害）	83
119番等受付状況（災害以外）	84
119番等受付件数／覚知別受付件数	85
火災等区分別入電件数／テレドーム利用件数	86
月別気象状況	87
管内の消防団	
大崎管内の消防団構成	88

※ 本書の記載内容の期間については，各表及び統計毎に明示しております。

消 防 情 勢



大崎地域広域行政事務組合消防管内図



■大崎消防本部の主な統計

平成31年4月1日現在の情勢

(人口・世帯等は構成市町からの数値, 災害件数は平成30年確定値)

管内面積	管内人口	管内世帯数	人口密度
 1,523.76 km ²	 200,947 人	 76,642 世帯	 131.88 人/1 km ²

消防予算(元年度)	署所数	職員数	消防団員数
 3,254,390 千円	 消防本部 1 消防署 4 分署等 5	 定数 338 人 現有 316 人	 定数 4,080 人 現有 3,800 人

消防車	特殊車両	救急車他	消防水利
 ポンプ車 11 台 タンク車 7 台 化学車 1 台	 はしご車 2 台 救助工作車 1 台 大型水槽車 3 台	 救急車 13 台 司令・指揮車 6 台 その他車 23 台	 消火栓 3,122 基 防火水槽 1,139 基 その他 137 箇所

火災件数	救急件数	救助件数	その他災害件数
 70 件	 9,288 件	 48 件	 危険物等漏洩 41 件 自然災害 40 件 その他 292 件

防火対象物数	危険物施設数	セイフティマーク	防火組織等
 8 条 1,861 件 17 条 6,959 件	 製造所 3 件 貯蔵所 595 件 取扱所 275 件	 該当対象物 260 件 特例認定対象物 33 件	 婦人防火クラブ 261 少年消防クラブ 1 幼年消防クラブ 40

【位置及び地勢】

県北西部の大崎耕土

当圏域は、宮城県の北西部に位置し、南は広域仙台都市圏、東は広域石巻圏、北は栗原市・登米市、西は山形県・秋田県にそれぞれ接しています。

地勢としては、西部の山岳地帯の荒雄岳を源とする江合川、船形連峰を源とする鳴瀬川の二つの大きな川が西から東に向かって流れています。

また、山間部の豊かな森林に覆われた自然を源とする水は、圏域の北西から南東に広がる肥沃に満ちた広大な平野「大崎耕土」を潤し、昔から米どころとしての水稻の盛んな流域圏を形成しています。

圏域の人口は、平成 31 年 4 月 1 日現在 200,947 人（平成 27 年国勢調査 205,925 人）で、宮城県総人口の約 9 % を占め、広域仙台都市圏について 2 番目の規模となっています。

国土の縦軸と横軸が交差する大崎

圏域は、J R 東北新幹線・東北本線・陸羽東線・石巻線などの鉄道や、東北自動車道・国道 4 号・47 号・108 号・346 号・347 号・457 号などの幹線交通網が、縦横に通った交通アクセスの優れた地域となっています。

世界農業遺産認定

「日本の食糧供給基地」として広大で肥沃な大崎耕土に育まれた良質米「ササニシキ」「ひとめぼれ」などを産しており、平成 29 年 12 月「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が国際連合食糧農業機関（F A O）から世界農業遺産に認定されました。

また、栗駒国立公園や県立自然公園船形連峰などの優れた自然景観や鳴子温泉をはじめとする多くの温泉施設、歴史の道「奥の細道」や遺跡などの文化財、太鼓や神楽などの伝統芸能など文化遺産にも恵まれており、豊富な観光資源を活用したレクリエーション産業が発展しています。



大崎耕土（写真提供：大崎地域世界農業遺産推進協議会）

【消防施設の整備】

消防本部では、地域社会の防災機関の中核として、住民のニーズに応えるべく管内情勢に応じた総合的、効果的な消防施設整備計画のもと、消防力の強化、充実を推進しています。

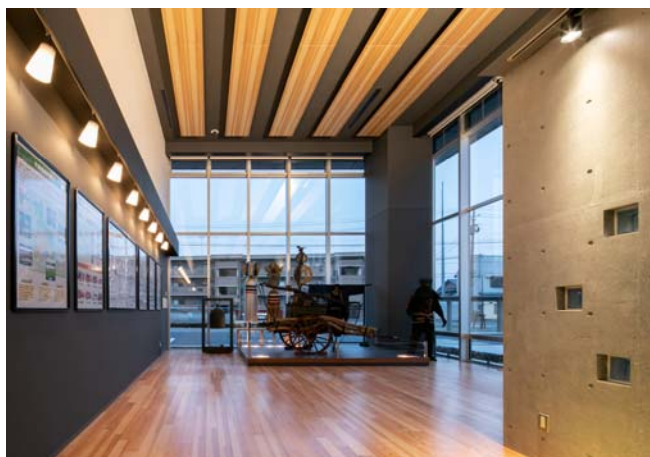
■ 大崎地域広域行政事務組合本庁舎の整備

圏域防災拠点として整備を進めてきた大崎地域広域行政事務組合本庁舎が、平成31年3月12日に竣工し、4月1日から供用を開始しました。

〔概要〕

敷地概要		住所：宮城県大崎市古川千手寺町二丁目5番20号		敷地面積：11,984.68㎡		
建物概要	庁舎棟	RC造一部S造（免震構造）	5階建て	建築面積	1,107.89㎡	延べ面積 4,786.05㎡
	車庫兼防災倉庫	S造	1階建て	建築面積	492.80㎡	延べ面積 492.80㎡
	主訓練棟	RC造	4階建て	建築面積	74.32㎡	延べ面積 227.82㎡
	副訓練棟	RC造一部S造	3階建て	建築面積	128.17㎡	延べ面積 268.32㎡
付帯施設	自家用給油取扱所、非常用発電設備、太陽光発電設備、無線塔、出動表示板、訓練用防火水槽(40t)、ホース乾燥塔、防災ヘリポート、屋外照明設備、国旗掲揚塔、雨水貯留槽、駐車場、駐輪場 など					

〔写真〕



エントランス



通信指令センター



多目的講堂



主・副訓練棟

【相互応援協定】

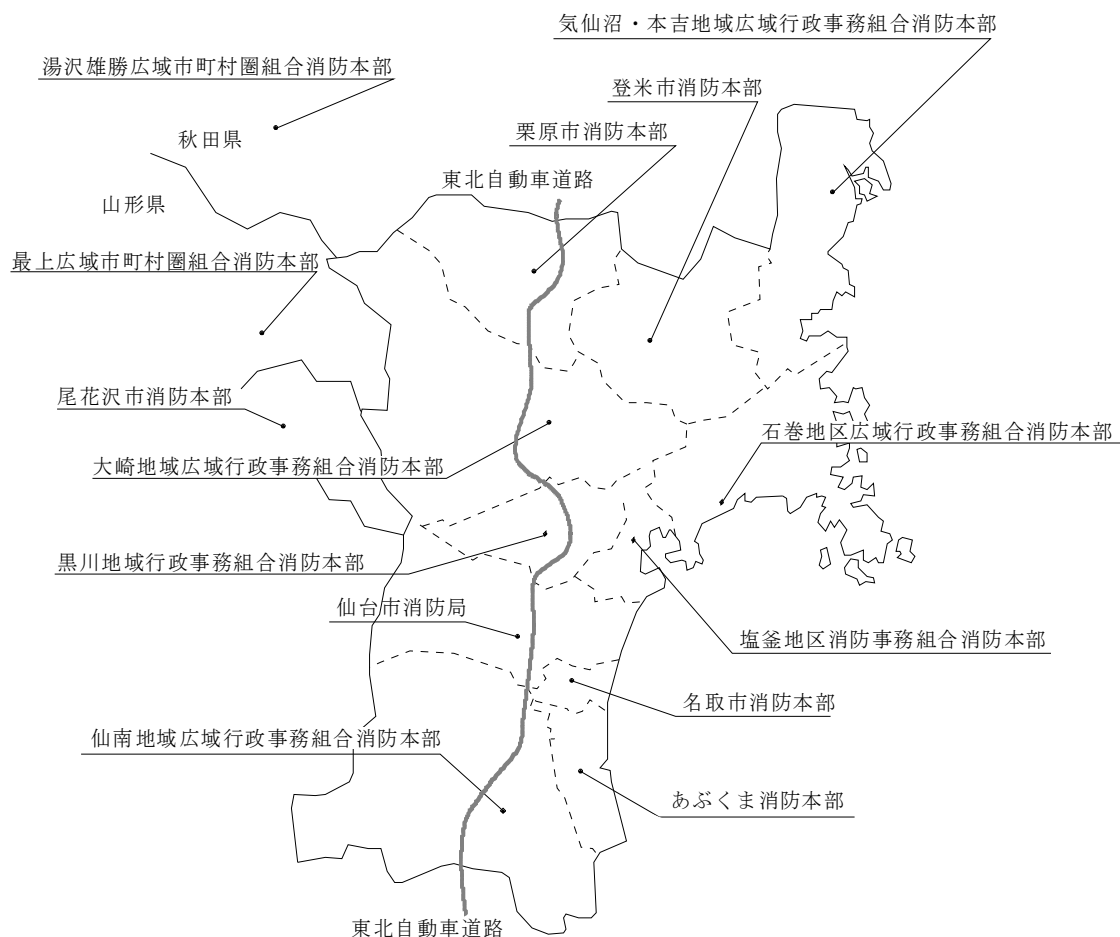
市町村は、その管轄区域内における火災等の消防活動の責任を有していますが、その消防力をこえる大規模火災や特殊災害が発生した場合、それらに対応するため消防組織法に基づき近隣の消防本部などと消防相互応援協定を締結しています。

東日本大震災では、宮城県広域消防相互応援協定に基づき、気仙沼市、石巻市を含む2市2町へ消火隊及び救急隊など延べ67隊を派遣し43日間にわたり活動を行いました。

〔協定〕

名 称	締 結 年 月 日	締 結 市 町 村 名 協 定 消 防 本 部	応 援 内 容
消 防 相 互 応 援 協 定	S50年 4月 1日	山 形 県 最 上 広 域 市 町 村 圏 消 防 本 部	消 防 組 織 法 第 39 条 (火災・救急・その他災害)
	H 8年 7月 31日	秋 田 県 湯 沢 雄 勝 広 域 市 町 村 圏 消 防 本 部	消 防 組 織 法 第 39 条 (火災・救急・その他災害)
	H25年 3月 1日	尾 花 沢 市 消 防 本 部	消 防 組 織 法 第 39 条 (火災・救急・その他災害)
東 北 自 動 車 道 宮 城 県 消 防 相 互 応 援 協 定	S63年 7月 1日	仙 台 市 ・ 名 取 市 ・ 仙 南 広 域 栗 原 市 ・ 黒 川 広 域 5 消 防 本 部	東 北 自 動 車 道 に お け る 消 防 業 務 の 相 互 応 援
宮 城 県 広 域 消 防 相 互 応 援 協 定	H 4年 4月 1日	県 内 1 1 消 防 本 部 (局)	消 防 組 織 法 第 39 条 (火災・救急・その他災害)
宮 城 県 広 域 航 空 消 防 応 援 協 定	H 4年 4月 1日	宮 城 県 県 内 1 1 消 防 本 部 (局)	同 上
宮 城 県 内 航 空 消 防 応 援 協 定	H13年 4月 1日	仙 台 市 県 内 1 0 消 防 本 部	同 上

〔各消防本部地図〕



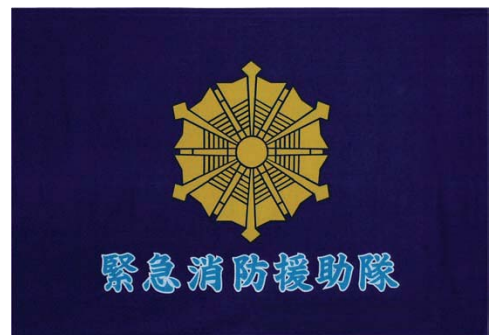
【緊急消防援助隊】

緊急消防援助隊は、平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえ、大規模災害において都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成7年6月に創設されました。

その後、平成15年6月の消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化（平成16年4月施行）されました。

平成31年4月1日現在、全国で6,258隊が登録され、指揮支援隊、航空指揮支援隊、統合機動部隊指揮隊、エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊、NBC災害即応部隊指揮隊、土砂・風水害機動支援部隊指揮隊、都道府県大隊指揮隊、消火小隊、救助小隊、救急小隊、後方支援小隊、通信支援小隊、特殊災害小隊、特殊装備小隊、航空小隊、水上小隊、航空後方支援小隊の多岐にわたる精鋭部隊から構成されています。

当消防本部においては、平成31年4月に総務省消防庁から無償使用配備された拠点機能形成車を新たに登録しています。



登録隊	所 属	車 両	登録年月	登録隊数
都道府県大隊指揮隊	消防本部	司令車	H19.4	1 隊
消火小隊	加美消防署	水槽付ポンプ車	H15.4	5 隊
	鳴子消防署	水槽付ポンプ車	H27.4	
	遠田消防署	水槽付ポンプ車	H21.3	
	西部分署	水槽付ポンプ車	H26.4	
	田尻分署	水槽付ポンプ車	H27.4	
救助小隊	古川消防署	救助工作車	H15.4	1 隊
救急小隊	加美消防署	高規格救急車	H19.4	3 隊
	遠田消防署	高規格救急車	H20.4	
	鳴子消防署	高規格救急車	H30.4	
後方支援小隊	古川消防署	拠点機能形成車	H31.4	1 隊
特殊装備小隊	遠田消防署	大型水槽車	H23.4	1 隊
計				12 隊



大崎地域広域行政事務組合消防情勢の推移

平成31年4月1日現在

区分 年	人口	世帯数	消防職員		火災件数 (1～12月)	救急出動件数 (1～12月)
			定数	実員		
昭和45	219,598	48,081	186	125	76	336
46	217,880	48,759	186	154	126	378
47	216,507	49,280	186	186	111	655
48	214,880	49,790	214	211	119	1,007
49	215,464	50,472	217	214	108	1,472
50	216,349	51,115	222	220	104	1,695
51	217,525	51,787	222	219	119	1,880
52	218,880	52,674	228	226	101	1,905
53	219,884	53,462	228	222	109	2,101
54	221,097	53,963	228	228	122	2,210
55	219,603	54,482	228	226	86	2,474
56	221,414	54,252	233	231	91	2,507
57	222,930	55,192	238	236	87	2,747
58	223,686	55,539	242	242	101	2,995
59	223,973	55,925	242	240	101	2,906
60	224,954	56,476	242	238	94	3,174
61	225,434	57,134	252	243	101	3,331
62	225,556	57,348	252	246	103	3,472
63	225,578	57,680	252	248	99	3,517
平成元	225,567	58,185	252	243	78	3,766
2	225,285	58,731	252	242	87	3,958
3	225,114	59,140	252	239	97	4,002
4	225,225	59,733	252	243	105	4,070
5	225,490	60,480	252	251	103	4,241
6	226,104	61,167	260	260	105	4,575
7	225,813	61,167	300	268	99	4,784
8	225,606	62,754	300	276	86	5,172
9	225,424	63,565	300	284	132	5,202
10	225,532	64,795	300	291	117	5,757
11	225,588	65,632	300	297	129	6,174
12	225,054	66,296	300	299	78	6,567
13	224,134	66,736	300	298	148	6,572
14	223,234	67,177	338	303	138	6,816
15	222,594	68,067	338	308	156	7,253
16	221,420	68,268	338	312	152	7,789
17	220,499	68,758	338	317	128	8,142
18	219,422	69,245	338	321	86	7,918
19	218,267	69,890	338	320	124	7,910
20	214,085	70,384	338	312	132	7,807
21	212,187	70,669	338	310	114	7,807
22	213,998	71,447	338	307	99	8,251
23	212,773	71,821	338	314	110	9,180
24	212,509	72,699	338	315	88	9,087
25	211,325	73,480	338	310(1)	96	9,125
26	210,347	74,323	338	312(2)	83	9,157
27	208,511	74,902	338	308(6)	74	9,458
28	207,122	75,485	338	315(4)	85	9,352
29	205,597	76,108	338	317(6)	66	9,508
30	203,483	76,533	338	317(3)	70	9,288
令和元	200,947	76,642	338	316(4)		

※ 消防職員実員の（ ）書きは、再任用職員の内数

大崎消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和45	4	・大崎1市12町1村で大崎地区消防事務組合を発足, 1本部2署1派出所人員92名にて消防業務開始 ・初代消防長に古川市長 森谷菊治郎氏就任（事務取扱） ・政令指定	5	・鳴子町字焼石亦林野火災 焼損面積3ha	4	・大阪市地下鉄工事現場ガス爆発火災 死者74名, 負傷者411名
	11	・栗原地区消防と消防相互応援協定締結				
46	1	・古川消防署涌谷分署庁舎開設ポンプ車配置 ・古川消防署鹿島台, 岩出山, 中新田, 小牛田各分署及び小野田出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車各1台配置	1	・古川市寿司店火災 死者4名	1	・呉市林野火災 死者17名（消防職員） 負傷者1名 焼損面積340ha
	7	・第2代消防長に千田清志氏就任	4	・色麻町四釜, 大東電子産業(株)火災		
	10	・古川消防署小牛田分署に普通消防ポンプ車1台増強	5	・岩出山町南沢林野火災 焼損面積3ha	7	・雫石事故（全日空機と自衛隊機が岩手県雫石町上空で接触墜落） 死者162名
	12	・古川消防署岩出山, 鹿島台, 中新田, 涌谷の各分署に水槽付消防ポンプ車各1台を配置				
47	3	・古川消防署にスノーケル車1台配置				
	4	・古川消防署鹿島台, 岩出山, 涌谷各分署及び小野田出張所に消防吏員待機宿舎完成 ・古川消防署岩出山, 涌谷各分署に救急車各1台配置	5	・岩出山町南沢林野火災 焼損面積2.5ha	5	・大阪市千日デパートビル火災 死者118名, 負傷者81名
	8	・第3代消防長に佐藤真夫氏就任	12	・小野田町漆沢ダム工事現場作業員宿舎火災 死者1名	8	・北九州市済生会八幡病院火災 死者13名, 負傷者3名 焼損面積888㎡

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和48	2	・石巻広域、気仙沼本吉広域、塩釜地区、登米地区各消防と消防相互応援協定締結	2	・松山町次橋山王大火災 焼損棟数12棟 焼損面積945㎡		
	3	・古川消防署田尻出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車1台配置 ・古川消防署中新田分署に救急車1台配置（日本自動車工業会より寄贈） ・古川消防署小牛田分署に消防吏員待機宿舎完成 ・大崎地域広域行政事務組合に統合するため大崎地区消防事務組合を解散 ・大崎地域広域行政事務組合に統合、定数条例214名 ・黒川地区消防と消防相互応援協定締結 ・古川消防署小牛田分署に救急車1台配置 ・機構改革により中新田分署、涌谷分署が署に昇格し、1本部4署3分署2出張所1派出所となる。 ・鳴子消防署に救急車1台配置（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈） ・古川消防署鹿島台分署に救急車1台配置（日本消防協会より寄贈）			7	・出光石油化学徳山工場爆発火災 死者1名
			8	・岩出山町池月林野火災 焼損面積2ha	9	・熊本大洋デパート火災 死者103名、負傷者121名 焼損面積13,637㎡
	49	3				
		4			4	・三菱石油水島製油所重油流失事故
					5	・1974年伊豆半島沖地震（M6.9） 死者30名 家屋全壊134棟
			12	・鳴子町字星沼、旅館仙庄館火災 焼損面積780㎡	8	・東京丸の内三菱重工業ビルで時限爆弾爆発（企業連続爆破事件） 死者8名、重軽傷228名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和50	2	・古川消防署に救急車1台増強（日本損害保険協会より寄贈）			2	・四日市大協石油製油所タンク火災
	3	・古川消防署松山機関員派出所、涌谷消防署の南郷機関員派出所の各庁舎開設し、普通消防ポンプ車各1台配置				
	4	・最上広域消防と消防相互応援協定締結 ・定数条例222名に改定	4	・岩出山町南沢畜舎火災 焼損面積624㎡	4	・大分県中部地震（M6.4） 負傷者22名 家屋全壊77棟
	7	・古川消防署に作業車配置				
	9	・古川消防署の普通消防ポンプ自動車1台更新（日本損害保険協会より寄贈）	8	・古川市協和中学校火災 焼損面積963㎡		
	10	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新	12	・色麻町色麻中学校火災 焼損面積1,909㎡		
51	2	・中新田消防署色麻機関員派出所庁舎開設し、普通消防ポンプ車1台配置	4	・古川市中里アパート火災 焼損面積446㎡ ・古川市佐々木製縄火災 焼損面積700㎡		
	6	・消防本部付にて特別救助隊発足（隊員7名）	7	・小野田町味噌袋畜舎火災 焼損面積853㎡		
	9	・第4代消防長に小金勝一氏就任			10	・酒田市大火 死者1名 負傷者1,003名 焼損棟数1,774棟、焼損面積152,105㎡
	11	・鳴子消防署に梯子車（15m級）1台配置				
	12	・黒川地区消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結 ・東北高速自動車国道（古川IC～大和IC間上り線）救急業務開始			12	・沼津市雑居ビル火災 死者15名、負傷者8名 ・東北自動車道 泉～古川間開通
52	1	・古川消防署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）	1	・涌谷町住宅火災 焼損棟数5棟 焼損面積581㎡		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和52	3	・消防救急指令装置(C型)設置	4	・古川市山崎製畳工場火災 焼損面積852㎡	3	・北九州市林野火災 死者5名(消防職員)
	4	・定数条例228名に改定			5	・岩国市岩国病院火災 死者7名, 負傷者5名
	8	・古川消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・北海道有珠山噴火
	10	・古川消防署に化学車(Ⅱ型)1台配置 ・涌谷消防署小牛田分署に水槽付消防ポンプ車を配置, 既設の普通消防ポンプ車を古川消防署に移管				
	11	・栗原広域消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結				
	12	・東北高速自動車国道(古川IC～築館IC間下り線)救急業務開始				
53	1	・消防通信指令室に気象観測装置(自記温湿・風向・風速・雨量・気圧)を設置	5	・涌谷町上郡畜舎火災 焼損面積728㎡	1	・1978年伊豆大島近海地震(M7.0) 死者25名
	3	・鳴子町上野々に無線不感地帯解消のための無線塔を設置 ・消防本部通信指令室に地図検索装置を設置 ・鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新			6	・1978年宮城県沖地震(M7.4) 死者28名 負傷者11,028名 家屋全壊1,383棟 仙台市の屋外タンクから68,160ℓの油流出
	8	・古川消防署荒谷機関員派出所の普通消防ポンプ車更新				
54			9	・岩出山町片倉工業㈱火災 焼損面積1,445㎡		
	3	・鳴子消防署の救急車更新 ・涌谷消防署の救急車更新(日本損害保険協会より寄贈) ・古川消防署に救急予備車を配置(鳴子消防署より移管)	2	・古川市福沼字長瀬, 青沼醸造㈱火災 焼損面積3,446㎡	3	・上越新幹線大清水トンネル火災 死者16名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和54	5	・消防本部・古川消防署庁舎完成				
	7	・消防本部救助訓練塔完成 ・消防音楽隊発足（隊員27名）	10	・中新田町菜切谷グリコ仙台アイスクリーム(株)火災 焼損面積3,446㎡	7	・東名高速道路日本坂トンネル内車両火災 死者7名，負傷者2名 焼損車両189台
	11	・消防本部に救助工作車1台配置	12	・古川市上古川屋敷住宅火災 死者5名，焼損面積158㎡		
	55	3	・涌谷町簗岳に無線不感地帯解消のための無線塔を設置	5	・宮崎町宮崎店舗住宅火災 負傷者4名 焼損面積335㎡	
	6	・鳴子消防署に作業車配置（古川消防署より移管）				
	8	・古川消防署，鳴子消防署岩出山分署の救急車更新 ・中新田消防署，涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・富士山落石事故 死者12名，負傷者31名 ・静岡駅前ゴールデン街ガス爆発火災 死者14名，負傷者223名 焼損面積1,732㎡
	10	・古川消防署の水槽付消防ポンプ車を小型動力消防ポンプ付大型水槽車（10t）に更新			11	・栃木県川治プリンスホテル火災 死者45名，負傷者22名
	56	3	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）		1	・川崎市タンカー火災 死者3名，負傷者3名
	4	・定数条例233名に改定			5	・東京上野「アメ横」火災 焼損棟数52棟
	9	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新 ・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新	11	・小牛田町中埴作業所火災 焼損面積1,955㎡	8	・台風第15号東北縦断
57	3	・古川消防署鹿島台分署の救急車更新，既存の救急車を予備車として古川消防署に移管			10	・北炭夕張炭鉱ガス突出事故 死者93名
					2	・東京都千代田区ホテルニュージャパン火災 死者32名，負傷者34名 焼損面積4,186㎡ ・山形市蔵王温泉観光ホテル火災 死者11名，負傷者2名 焼失面積3,581㎡

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和57	4	・定数条例238名に改定 ・第5代消防長に大澤邦臣氏就任	4	・鳴子町湯元鳴子ホテル源泉噴出事故 負傷者7名	4	・東北地方を中心とした林野火災 負傷者8名 焼損棟数290棟 焼損面積4,725㎡
	7	・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新				
58	8	・中新田消防署に圧縮空気製造用高圧コンプレッサー設置	11	・鳴子町名生定字竹原ドライブイン火災 焼損面積657㎡		
	3	・古川消防署の救急車更新				
59	4	・定数条例242名に改定	4	・宮崎町谷地森字赤沼住宅火災 死者3名、焼損面積723㎡	5	・昭和58年日本海中部地震(M7.7) 死者104名 家屋全壊1,584棟
			6	・岩出山町字下川原墨田工業(株)工場火災、焼損棟数2棟、焼損面積671㎡	10	・三宅島噴火 建物損壊400棟
60					11	・掛川市ヤマハレクリエーション「つま恋」プロパンガス爆発事故 死者14名
	3	・消防本部に宮城県事業として、防災行政無線装置を設置 ・中新田消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	5	・小野田町字上野目西小野田中学校火災 焼損面積1,996㎡	1	・福岡県高田町三井三池有明鉱坑内火災 死者83名、負傷者16名
60	11	・涌谷消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新	8	・鳴子町名生定字水沼しんこう牧場火災 焼損面積564㎡	11	・東京都世田谷区で電話地下ケーブル火災
	1	・第6代消防長に組合助役内田綱雄氏就任（事務取扱）				
	2	・消防本部に宮城県事業として、防災無線端末局用ファクシミリ装置を設置	2	・岩出山町字下一栗一本杉畜舎火災 焼損面積703㎡	2	・新潟県青梅町土砂崩れ 死者10名、負傷者4名 建物損壊7棟

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和60	3	・消防本部通信指令室に消防救急指令装置（C型）1台増設 ・消防本部通信指令室に地図検索装置（F100C）を設置 ・古川消防署鹿島台分署，鳴子消防署岩出山分署，涌谷消防署小牛田分署，同田尻出張所，中新田消防署小野田出張所電話転送装置を設置 ・消防本部通信指令室に119番集中管理用無線指令起動装置を設置 ・涌谷消防署の救急車更新 ・古川消防署荒谷機関員派出所を廃止し，同所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	3	・涌谷町字三十軒屋敷住宅火災 焼損棟数3棟 焼損面積592㎡	5	・東京都目黒区柿の木板タンクローリー火災
	6	・119番集中管理運用開始	6	・中新田町四日市場字屋敷作業所火災 焼損棟数6棟 焼損面積716㎡	7	・長野市地附山地滑り 死者26名
	9	・鳴子消防署岩出山分署の水槽付消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）			8	・日航ジャンボ機墜落事故（群馬県上野村） 死者520名，負傷者4名
	11	・中新田消防署庁舎増改築工事竣工			9	・メキシコ大地震 死者数千人以上
	12	・中新田消防署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈）			11	・南米コロンビア火山大噴火 死者2万人以上
61	2	・消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置を設置			12	・豪雪（61年3月まで） 死者90名 負傷者678名
	4	・定数条例252名に改定			2	・静岡県熱川温泉大東館火災 死者24名 焼損面積1,461㎡
					7	・神戸市 陽気寮火災 死者8名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
昭和61	9	・古川消防署鹿島台分署の 水槽付消防ポンプ車更新	8	・台風10号により鹿島台町の 吉田川決壊，全町の約50％ にあたる2,670haが冠水 死者1名 家屋冠水969棟，1,415世帯 に避難勧告	8	・台風10号 死者20名，負傷者107名	
					11	・伊豆大島噴火	
	62	3	・鳴子消防署岩出山分署の 救急車更新（宮城県共済 農協連合会より寄贈） ・古川消防署の救急車更新 ・涌谷消防署田尻出張所の 普通消防ポンプ車の更新	3	・名取市東北自動車道多重衝 突事故 死者1名，焼損車両13台	5	・東電大井火力発電所爆発火 災 死者4名
63	3	・中新田消防署色麻派出所 の普通消防ポンプ車更新 ・涌谷町簗岳無線通信所の 制御器を消防本部指令室 に移設 ・古川消防署三本木派出所 松山派出所，中新田消防 署宮崎派出所，色麻派出 所，涌谷消防署南郷派出 所に無線起動装置を設置	1	・鳴子町名生定住宅火災 死者1名 焼損133㎡	3	・鳴子町大口旅館・住宅火災 死者1名 焼損棟数4棟 焼損面積844㎡	
							4
	平成元	4	・第8代消防長に高橋仁一 氏就任	4	・宮崎町孫沢，住宅火災4棟全 半焼	12	・ソ連アルメニア共和国大地 震 死者10万人
	8	・消防本部通信指令室に救 急医療情報検索端末装置 を設置			7	・伊豆半島東方河海底入火山 噴火 ・台風11，12，13号及び熱帯 低気圧による災害	
							8

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成元	11	- 古川消防署三本木派出所の普通消防ポンプ車更新（消防施設補助整備事業等） - 中新田消防署宮崎派出所の普通消防ポンプ車（4WD）更新				
2	1	古川消防署の救急車（4WD）更新（山之内製薬株式会社より寄贈）	11	鹿島台町大迫川決壊床下浸水51棟	3	尼崎市長崎屋火災 死者15名，負傷者6名
3			2	岩出山町一栗中学校火災 体育館747㎡全焼	2	関西電力美浜原発2号機で冷却水漏れ事故
	3	- 鳴子消防署庁舎新築工事竣工 - 鳴子消防署敷地内の消防訓練塔建築工事竣工（主塔は消防施設補助整備事業）	5	涌谷町砂田，住宅火災6棟全半焼	3	雲仙普賢岳噴火による火砕流災害，死者41名
	6	消防本部の防火広報車更新（日本防火協会より寄贈）				
	8	大崎地域広域行政事務組合創立20周年記念式典挙行				
	10	涌谷消防署南郷派出所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）				
4	2	- 涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈） - 古川消防署鹿島台分署の救急車更新（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈）	2	東北自動車道玉突き事故（古川市塚目地内） 死者2名，負傷者27名		
	4	- 第9代消防長に早坂千早氏就任 - 宮城県広域消防相互応援協定締結				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成4	9	- 古川消防署，古川消防署松山派出所の普通消防ポンプ車更新，既存の同派出所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管 - 消防本部通信指令室に宮城県総合防災情報システム端末設備を設置 - 鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	9	鳴子町鳴子ホテル火災 551㎡部分焼 宿泊客325名無事避難		
	10	第10代消防長に矢戸武氏就任	10	田尻町田尻，住宅火災9棟全半焼		
			12	小牛田町化粧坂，住宅火災3棟全半焼	1	北海道釧路沖地震(M7.8) 死者2名 家屋全壊53棟
	4	第11代消防長に組合助役青沼宏明氏就任（事務取扱）	6	J R 東北本線鹿島台野蒜踏切列車事故(救助救急出動) 死者3名	7	北海道南西沖地震(M7.8) 死者行方不明230名 家屋全壊601棟
			8	岩出山町大学町，作業所火災2棟全半焼	8	平成5年8月豪雨災害
	10	救急医療情報検索端末装置更新			9	台風13号による災害
	11	- 古川消防署のスノーケル車を梯子車(35M)に更新（消防防災設備補助事業） - 初の救急救命士誕生				
	12	古川消防署の救急車を高規格救急車に更新，既存救急車を予備車として古川消防署に移管				
	6	定数条例260名に改定	9	台風26号増水による涌谷町三軒屋敷地内江合川決壊警戒出動	12	- 三陸はるか沖地震(M7.5) 死者3名，家屋全壊72棟 - 福島県若喜旅館火災 死者5名，負傷者3名
		- 鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新 - 鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成7	2	・ 涌谷消防署の救急車更新 （宮城県共済農協連合会より寄贈） ・ 中新田消防署の救急車更新			1	・ 阪神淡路大震災 死者6,430名，負傷者43,782名，火災285件，全半焼7,071棟，避難者31万人，住家全壊104,900棟，半壊144,255棟
	4	・ 本署5救急隊専任化に伴い40名増員，定数条例300名に改定	5	・ 涌谷町吉住，住宅火災4棟全半焼 ・ 古川市七日町，店舗併用住宅火災 焼損面積270㎡全焼	3	・ 東京都心地下鉄サリン事件
	7	・ 鳴子消防署，涌谷消防署の査察車更新	6	・ 涌谷町箕岳観光会館ホテル火災（宿泊客15名無事避難） 焼損面積・延1,424㎡の内320㎡部分焼		
	8	・ 消防本部の指令車更新	8	・ 宮崎町木船，住宅火災3棟全半焼		
	9	・ 緊急消防援助隊編成で救助部隊1隊登録，消火部隊2隊登録 ・ 古川消防署の指揮車更新（日本消防協会より寄贈）				
	10	・ 中新田消防署救急隊専任化				
	12	・ 古川消防署の化学消防ポンプ車更新				
	8	1			2	・ 北海道豊浜トンネル落盤事故 死者20名
		3				
		4				
			5	・ 三本木町蒜袋，住宅等火災6棟全焼		
			6	・ 岩出山町下山里，住宅火災3棟全半焼	6	・ 福岡空港ガルーダインドネシア航空機の離陸失敗炎上 死者3名，負傷者109名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成8	7	・湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部と消防相互応援協定締結				
	8	・鳴子消防署の指揮車更新 ・中新田消防署小野田出張所の指揮車更新	8	・宮城県北部（鳴子町鬼首地区）地震 負傷者4名 家屋半壊28世帯186名家屋一部破損168世帯689名、路面の亀裂陥没、路肩崩壊・橋脚の亀裂等		
	10	・涌谷消防署救急隊専任化 ・涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）既存の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	12	・中新田町下新田，住宅火災4棟全半焼，傷者1名		
	9				1	・ロシア船籍タンカーナホトカ号の座礁，大量の重油流出による日本海沿岸8府県に及ぶ広域海洋汚染
	2	・中新田消防署配置の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） ・中新田消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）既存の救急車を古川消防署（第2救急車）へ移管，古川第2救急車を予備車に配置換え				
	3	・消防本部庁舎構内に電話交換機更新（NTT，EP-17型）	4	・田尻町大貫，住宅等火災5棟全焼	3	・動燃東海事業所施設内で爆発事故 被爆者数37名
			6	・鹿島台町鶴田川，広長川大雨による堤防決壊2カ所，幹線道路欠損2カ所	6	・臓器移植法成立
	8	・古川消防署鹿島台分署の指揮車更新	9	・鳴子町尿前地内登山遭難，傷者1名（県防災ヘリ出動）		
	10	・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	10	・小野田町漆沢，登山遭難，傷者2名（県防災ヘリ出動）		
	12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12	・小牛田町建物火災 死者2名 焼損面積201㎡ 3棟		
10	3	・自動車，携帯電話からの119番受付業務を代表消防本部として開始（大崎，黒川，栗原ブロック）	4	・古川市きのこ工場工事現場火災 焼損面積13,225㎡ 死者1名，負傷者16名		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成10	7	・ 鳴子消防署岩出山分署の指揮車更新 ・ 消防本部に資機材搬送車を整備	8	・ 鳴子町国立鳴子病院火災 死傷者13名		
			10	・ 古川市南町保育所火災 焼損面積310㎡		
11	2	・ 鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈）			2	・ 臓器移植法施行以来，初の脳死移植実施。
	3	・ 涌谷消防署の救急車を高規格救急車に更新（山之内製薬㈱より寄贈）	3	・ 中新田町ソニー㈱中新田工場火災 焼損面積3,034㎡ 損害額36億4,100万円		
	4	・ 第12代消防長に組合助役千葉賢氏就任(事務取扱)	7	・ 鹿島台町鶴田川決壊下志田地区一帯冠水300世帯に避難勧告	6	・ 古川市立病院において国内3例目の脳死判定が行われ，古川消防署救急隊により市内師山ヘリポートへ臓器の緊急搬送を実施。
					8	・ トルコ北西部地震（M7.8）（緊急消防援助隊派遣） 死者1,700人，負傷者24,900人，家屋被害180,300棟
	11	・ 鳴子消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業） ・ 涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）			9	・ 台湾中部地震（M7.7）（緊急消防援助隊派遣）死者2,400人，負傷者11,000人，家屋被害82,400棟 ・ 茨城県東海村核燃料加工会社 JCO東海事業所で，日本初の臨界事故発生，社員80名以上が被爆
12					3	・ 営団地下鉄日比谷線で通勤電車が脱線，上り電車と衝突 死傷者69名 ・ 北海道有珠山が23年ぶりに噴火，その後三宅島の雄山等も噴火，全国的に火山活動が活発化
	11	・ 古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	10	・ 中新田町南町地内7棟全半焼火災 焼損面積613㎡	9	・ 東海を中心に猛烈な豪雨，名古屋全域で3方棟超浸水（105名の死傷者）
			12	・ 東北自動車道玉突き事故（三本木町伊賀地内） 傷者21名，破損車両64台		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成13	3	・古川消防署高規格救急車更新（消防防災設備補助事業） ・古川消防署2B型救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）				
	4	・消防緊急通信指令システム整備（消防防災整備補助事業）				
	7	・鳴子消防署梯子車更新（消防防災整備補助事業）			7	・兵庫県明石市大蔵海岸朝霧歩道橋付近で将棋倒し事故 死傷者139名
	8	・小野田出張所2B型救急車配備（宮城県共済農業協同組合連合会寄贈）			9	・東京都新宿区歌舞伎町の雑居ビル「明星56ビル」火災 死者44名
	12	・中新田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
	14	4	・職員定数条例改正（338人）		3	・宮城県延岡市の旭化成工場で火災 3,698世帯9,407名に避難勧告
	9	・田尻・三本木出張所へ2B型救急車配置	10	・小牛田町字桜木町で7棟を焼損する火災 焼失延面積447.77㎡	10	・三菱重工長崎造船所内で艤装工事中に豪華客船ダイヤモンドプリンセス号火災 総トン数113,000t
	11	・三本木防災センターに併設した三本木出張所開所 ・涌谷消防署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
	15	3	・安田生命保険相互会社より寄贈された高規格救急車を小牛田分署に配置	3	・小牛田町北浦で金庫室に閉じ込められた2名の学生をダイヤモンドチェンソー等を活用し、107分後に救出	
	4	・旧中新田町、旧宮崎町旧小野田町が合併し、加美町が誕生した。 1市11町の構成市町となる。 ・小牛田・鹿島台分署へ救急救命士を配置	5	・宮城県沖を震源とする地震（5/26 18:24）発生 マグニチュード7.1震度6弱 大崎管内火災1件（東北電力(株)宮城変電所変圧器火災）	6	・兵庫県神戸市西区伊川谷町で発生した建物火災で消防職員13名が死傷
	7	・鹿島台分署の2B型救急車を更新（宮城県補助整備事業）	7	・宮城県北部連続地震発生 1回目（7/26 0:13） マグニチュード5.6震度5強 2回目（7/26 7:13） マグニチュード6.4震度6強 3回目（7/26 16:56）		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成15	8	・三本木出張所へ連絡車を配置	7	マグニチュード5.5震度5強 〈7/26の地震による災害〉 大崎管内 罹災世帯数2,979, 罹災人員 8,883名, 全壊102棟, 半壊 348棟, 一部破損2,548棟 火災2件（その他電柱1・ぼ や建物収容物1) 救急15件 その他災害24件	8	・三重県桑名郡多度町の三重 ごみ固形燃料発電所でR D F貯蔵層から火災発生45日 間に及ぶ消火活動消防職員 2名死亡
	10	・岩出山分署災害対応特殊 水槽付ポンプ車(消防防 災整備補助事業)			9	・栃木県黒磯市ブリヂストン 栃木工場で火災発生 40,885㎡のバンパリー工場1棟 全焼, 工場付近7地区1,708 世帯・5,032名に避難指示
	16	3	・大崎地域メディカルコン トロール協議会設立			・十勝沖地震発生(9/26) マグニチュード8.0震度6弱 負傷者849名 火災4件のうち苫小牧市の 出光興産で屋外タンク貯蔵 所から火災発生
	4	・初の女性消防士採用 ・岩出山分署へ救急救命士 を配置	4	・加美町宮崎で4棟全焼火災発 生 焼損面積678.8㎡ 第3出動15台(強風時) 放水台数5, 放水口9	10	・新潟県中越地方を震源とす る地震(10/23) マグニチュード6.8震度6強 死傷者1,239名 住宅損壊2,839棟, 火災11件
	10	・岩出山分署の2B型救急 車を更新（宮城県補助整 備事業)			12	・インド洋スマトラ沖大地 震(12/26) マグニチュード9
17	3	・消防LAN構築・ホームペー ジ開設 http://oosakifire119.jp/ ・鳴子消防署の救助工作車 を廃車し, 更新する消防 ポンプ車へ救助資機材を 搭載し救助ポンプ車とて 運用開始（宮城県補助整 備事業)			3	・福島県西方沖を震源とする 地震(3/20) マグニチュード7震度5弱 死傷者119名 住宅損壊121棟
	4	・大崎地域広域行政事務組 合, 大崎中央環境組合, 大崎東部環境衛生事務組 合, 六の国環境衛生組合 の4組合, 更に古川市・松 山町・涌谷町の各斎場が 統合し, 大崎地域広域行 政事務組合としてスター トする。 ・組合統合後, 初代消防長 に工藤司氏就任 ・各消防署の指揮体制を強 化, 指揮隊の配置	5	・古川市北宮沢地内にて建物 及び山林の火災 山林1ha焼失（県防災ヘリ出 動) ・加美町字鹿原白沼地内, 山 菜取遭難 死者1名（県防災ヘリ出動)	4	・兵庫県尼崎市JR福知山線 列車事故 死者107名, 負傷者549名
			8	・宮城県沖を震源とする地震 (8/16) マグニチュード7.2震度6弱	10	・パキスタン北部で地震発生 (10/8) マグニチュード7.6

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成17					12	・山形県庄内町JR羽越線脱線事故(12/25) 死者5名, 負傷者32名
18	1	・旧小牛田町, 旧南郷町が合併し美里町が誕生した1市10町の構成市町となる。			1	・長崎県大村市グループホームやすらぎの里で火災発生 死者7名, 負傷者3名
	2	・古川消防署大型水槽車更新(宮城県補助整備事業) ・消防隊と救急隊の連携による活動開始 (PA連携出動)				
	3	・旧古川市, 旧松山町, 旧三本木町, 旧鹿島台町, 旧岩出山町, 旧鳴子町, 旧田尻町が合併し, 大崎市が誕生した。1市4町の構成市町となる。 ・大崎市誕生に伴い涌谷消防署田尻出張所を古川消防署田尻出張所に再編				
	4	・3交替制の勤務体制の試行	5	・色麻町大新焼切地内山林にて林野火災 約56a焼失 (県防災ヘリ出動)	5	・インドネシア・ジャワ島中部地震及び津波発生 死者6,200名以上 負傷者1,800名以上
	7	・消防本部司令車を更新			6	・梅雨前線豪雨 死者30名, 行方不明2名 負傷者81名, 住家全半壊1,558棟
					9	・台風13号と豪雨による被害 死者9名, 行方不明1名 住家全半壊448棟
					11	・北海道佐呂間町にて竜巻発生 死者9名, 負傷者29名 住家全半壊14棟
19	2	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車を小型動力ポンプ付水槽車に更新			1	・北海道北見市にてガス漏れ事故発生 3名死亡, 付近住民77世帯178名に避難勧告 ・兵庫県宝塚市でカラオケボックス火災 死者3名, 負傷者5名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成19	3	・救急普及啓発広報車配備 (財団法人救急振興財団・ 財団法人日本宝くじ協会 寄贈) ・中新田消防署高規格救急 車更新 (国庫補助事業)	3	・大崎市鳴子で4棟を焼損する 火災が発生 焼失面積1,520.79㎡	3	・能登半島地震発生 マグニチュード6.9震度6強 死者1名 負傷者193名 住家全壊68棟 住家半壊164棟
	4	・指揮体制の効率的運用の ため、消防本部指令課及 び鳴子消防署に指揮隊を 再編	4	・大崎市田尻大沢地内山林に て林野火災 約40a焼失 (県防災ヘリ出動)		
			6	・大崎市鳴子温泉鬼首地区に てパラグライダー墜落事故 防災ヘリにより吊り上げ救 出	7	・新潟県中越沖地震発生 マグニチュード6.8震度6強 死者15名 負傷者2,345名 住家全壊1,319棟 住家半壊4,764棟
	7	・中新田消防署・涌谷消防 署の指揮車を更新	10	・加美町字鹿原地内にて山岳 遭難、防災ヘリによる救出		
	11	・涌谷消防署高規格救急車 更新 (国庫補助事業)	12	・加美町宮崎地区で4棟を焼損 する火災が発生 死者5名 焼損面積335.72㎡		
20	1	・中新田消防署の消防ポン プ車を救助ポンプ車に更 新 (市町村振興総合補助 事業)				
	4	・第2代消防長に野田正志 氏就任 ・3交替制の勤務体制の本 実施 ・機構改革に伴う組織の改 編を実施			6	・平成20年岩手・宮城内陸地 震発生 マグニチュード7.2震度6強 死者9名、行方不明者8名 負傷者180名 住家全壊・大規模半壊43棟 住家半壊112棟
	7	・古川消防署・涌谷消防署 の指揮車を更新	7	・(株)東北イノアック第二工 場火災 (建材製造課B棟) 焼損面積2,520.84㎡ 負傷者1名 損害額1億7,272万円	10	・大阪府大阪市浪速区で個室 ビデオ店火災 死者15名、負傷者1名
21	1	・鳴子消防署高規格救急車 更新 (施設整備事業) ・中新田消防署小野田出張 所の救急車を高規格救急 車へ更新 (防災基盤整備 事業)				
	2	・涌谷消防署の消防ポンプ 車を救助ポンプ車に更新 (施設整備事業・市町村 振興総合補助事業)				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成21	4	・第3代消防長に坂野裕悦氏就任			5	・新型インフルエンザ（A/H1N1）流行 5月に小規模な地域的流行を認めたのち、約3ヶ月の小康状態を経て、8月中旬より半年以上をかけて流行
	7	・中新田査察車を更新				
22	1	・三本木救急車及び田尻救急車を高規格救急車に更新（防災基盤整備事業）	6	・大崎市古川千手寺町地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼4棟 焼損延面積285.93㎡ 部分焼・ぼや3棟 焼損表面積99.06㎡	3	・北海道札幌市北区でグループホーム火災 死者7名，負傷者2名
	7	・涌谷消防署，小牛田分署及び南郷派出所を統合し「遠田消防署」を開設（7/1）				
23	12	・遠田査察車を更新 ・鹿島台救急車を高規格救急車に更新（日本損害保険協会より寄贈）	10	・大崎市鳴子温泉鬼首地区（鬼首地熱発電所）で火山性ガス噴出発生 死者1名		
	1	・岩出山救急車を高規格救急車に更新（防災基盤整備事業） ・遠田消防署に10 t 水槽車を配備	3	・【東日本大震災】 平成23年（2011年） 東北地方太平洋沖地震発生（3/11 14:46） 〈大崎管内の状況〉 管内最大震度6強 死者6名 負傷者378名 住家全壊852棟，半壊3,647棟 ※大崎消防本部取りまとめ（平成23年12月26日現在）	3	・【東日本大震災】 平成23年（2011年） 東北地方太平洋沖地震発生（3/11 14:46） マグニチュード9 震度7 死者19,630名 行方不明者2,569名 負傷者6,230名 住家全壊121,781棟，半壊280,962棟，火災330件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成30年3月1日現在）
	4	・第4代消防長に角田正一氏就任 ・中新田消防署及び色麻派出所を統合し「加美消防署」を開設（4/26）				
	8	・田尻連絡車，古川査察車 鳴子査察車を更新			8	・静岡県浜松市天竜川で遊覧船転覆事故 死者5名，負傷者5名
24	12	・古川救急1号車を更新（施設整備事業）				
	4	・古川消防署鹿島台分署及び松山派出所を統合し「古川消防署志田分署」を開設（4/27）			5	・広島県福山市でホテル火災 死者7名，負傷者3名
					9	・兵庫県姫路市で製造所爆発火災 死者1名（消防吏員） 負傷者36名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成24	11	・古川救急2号車を更新（施設整備事業）			12	・山梨県中央自動車道笹子トンネル崩落事故 死者9名，負傷者2名
	25	2	・鳴子消防署岩出山分署新庁舎を開設（2/14） ・田尻ポンプ車を更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業） ・遠田連絡車，小野田連絡車を更新		2	・長崎県長崎市でグループホーム火災 死者5名，負傷者7名
		3	・遠田救急1号車を更新（JA共済連より寄贈） ・尾花沢市消防本部と消防相互応援協定締結			
		4	・第5代消防長に北舘善裕氏就任 ・消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム整備（平成23年度消防防災施設・設備災害復旧費補助事業）			
		7	・消防本部連絡車を更新		8	・京都府福知山市で花火大会火災 死者3名，負傷者56名
26		10	・古川連絡車，志田連絡車，岩出山連絡車を更新		10	・福岡県福岡市で整形外科火災 死者10名，負傷者5名
					12	・千葉県野田市で廃油再生工場爆発火災 死者2名，負傷者15名
	26	2	・加美消防署小野田出張所及び宮崎派出所を統合し「加美消防署西部分署」を開設（2/21） ・加美消防署西部分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債及び市町村振興総合補助事業）		1	・三重県四日市市で工場爆発事故 死者5名，負傷者13名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成26			4	・加美町字下原地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積497㎡ 部分焼2棟 焼損表面積48㎡ ・加美町字北原地区で8棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積280㎡ 部分焼3棟 焼損表面積2㎡ ・大崎市田尻蕪栗地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積652㎡ 部分焼1棟 焼損表面積64㎡	8	・8月豪雨による広島市の土砂災害 死者74名（内消防吏員1名） 負傷者69名
	12	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車を更新（緊急防災・減災事業債）			9	・御嶽山噴火災害 死者57名，負傷者69名
27			1	・大崎市田尻北小牛田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟 焼損延面積649㎡	11	・長野県北部を震源とする地震 マグニチュード6.7 震度6弱 死者なし，負傷者46名 住家全壊50棟，半壊91棟
	2	・古川消防署田尻出張所を分署に格上げし「古川消防署田尻分署」を開設（2/17） ・古川消防署田尻分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債）				
	4	・第6代消防長に大久保記一朗氏就任			5	・川崎市簡易宿泊所火災 死者10名，負傷者18名
	7	・田尻連絡車を緊急車登録車両に更新	9	・【平成27年9月関東・東北豪雨】〈大崎管内の状況〉 負傷者1名 床上・床下浸水784棟 救助事案16件 その他災害事案36件 合計249名救出	9	・【平成27年9月関東・東北豪雨】平成27年9月9日から11日に関東及び東北地方で発生した豪雨災害 死者8名，負傷者80名
28	2	・古川化学消防ポンプ車を更新（施設整備事業）	2	・加美町宮崎で4棟を焼損する火災が発生 全焼2棟，部分焼2棟 焼損延面積578㎡	10	・広島市飲食店火災 死者3名，負傷者3名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成28					4	平成28年熊本地震 マグニチュード7.3 震度7 死者267名 負傷者2,804名 住家全壊8,673棟 半壊34,726棟 火災15件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成30年4月13日現在）
	8	緊急消防援助隊宮城県大隊として初めて出動（平成28年台風第10号 岩手県下閉伊郡岩泉町）	10	東北自動車道3箇所同時発生玉突き事故（栗原市高清水地内、大崎消防管轄区域） 負傷者14名、破損車両15台	8	平成28年台風第10号 東北地方の太平洋側に初めて上陸した台風。1時間に80mmの猛烈な大雨、最大瞬間風速37.7mの暴風により、岩泉町の高齢者福祉施設の入所者が濁流に巻き込まれるなど、死者23名、行方不明者4名、負傷者14名、住家全壊513棟、半壊2,280棟。
29	11	- 加美消防署高規格救急自動車を更新（緊急防災・減災事業債） - 三本木出張所消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業、市町村振興総合補助事業）			12	新潟県 糸魚川市大規模火災 糸魚川駅北側に位置する中華料理店にて、大型こんろの消し忘れにより発生した火災が、強い南風により日本海方向に延焼し、負傷者17名、焼損棟数147棟。
	4	三本木出張所の救急隊を専従化し消防体制を強化			2	埼玉県三芳町倉庫火災 アスクルの大規模倉庫で発生した火災により、負傷者2名、焼損床面積45,000㎡、鎮火まで12日間を要した。
	11	硬質ウレタンボートを古川消防署に配備（浜口ウレタン㈱及び㈱タガ・アートより寄贈）	9	加美町字西田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼2棟、半焼2棟、部分焼1棟、ぼや1棟 死者1名 負傷者2名 焼損延面積213㎡ 焼損表面積34㎡	8	秋田県横手市共同住宅火災 死者5名、負傷者10名
	12	鳴子消防署高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金）			12	- 大阪府豊中市共同住宅火災 死者5名、負傷者1名 - さいたま市特殊浴場火災 死者4名、負傷者8名

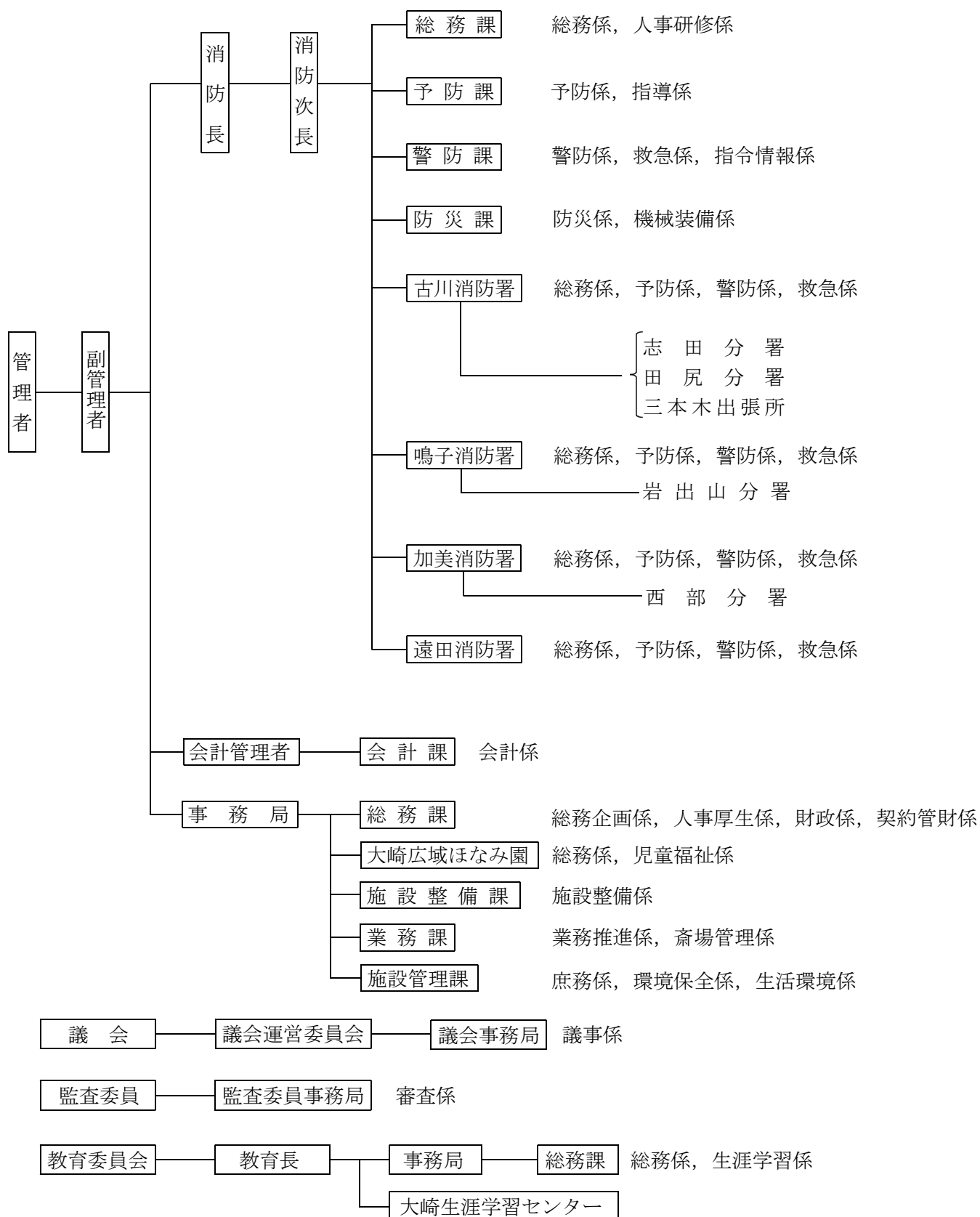
年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成30	3	・志田分署水槽付消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）	1	・大崎市鹿島台で3棟を焼損する火災が発生 全焼1棟，部分焼1棟，ぼや1棟 焼損延面積625㎡ 焼損表面積46㎡	1	・札幌市下宿火災 死者11名，負傷者3名
			5	・大崎市岩出山で11棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟，部分焼4棟，ぼや1棟 焼損延面積635㎡ 焼損表面積46㎡	6	・大阪府北部を震源とする地震 マグニチュード6.1(暫定値) 震度6弱 死者6名，負傷者462名 住家被害57,348棟，火災7件 (平成31年2月12日13時現在)
					7	・平成30年7月豪雨 西日本を中心に全国的に広い範囲で長期間にわたる記録的大雨。 死者237名，行方不明者8名，負傷者466名，住宅全壊6,767棟，半壊11,248棟
					8	・群馬県消防防災ヘリコプター墜落事故 死者9名
			9	・緊急消防援助隊宮城県大隊として出動（平成30年北海道胆振東部地震 北海道勇払郡厚真町）	9	・平成30年北海道胆振東部地震 マグニチュード6.7 震度7 死者42名，負傷者762名 住宅全壊462棟 半壊1,570棟 (平成31年1月28日14時30分現在)
			10	・古川稲葉地区で放火と疑われる火災が多発		
			11	・涌谷町小塚地区で5棟を焼損する火災が発生 全焼3棟，半焼1棟 焼損延面積578㎡	12	・札幌市爆発火災 負傷者52名
平成31	3	・拠点機能形成車を総務省消防庁から無償貸与（4/1より運用開始）				
	4	・第7代消防長に佐藤光弘氏就任 ・新大崎地域広域行政事務組合本庁舎を開設（4/1） ・機構改革に伴う組織の改編を実施 ・NET119緊急通報システム導入 ・多言語通訳導入（三者間通話）				

大崎地域広域行政事務組合構成市町の面積・世帯・人口

(平成31年4月1日現在)

区 別 市 町		面 積 (Km ²)	世帯数	人 口 (人)
大 崎 市		796.75	51,332	130,158
加美郡	色 麻 町	109.23	2,038	6,835
	加 美 町	460.67	8,106	23,215
	小 計	569.90	10,144	30,050
遠田郡	涌 谷 町	82.16	6,057	16,174
	美 里 町	74.95	9,109	24,565
	小 計	157.11	15,166	40,739
合 計		1,523.76	76,642	200,947

大崎地域広域行政事務組合機構図



消 防 本 部 事 務 分 掌

総務課

総 務 係

- 1 業務の総合企画，調整及び連絡に関する事。
- 2 条例，規則及び訓令の制定改廃に関する事。
- 3 儀式，行事及び会議に関する事。
- 4 予算及び決算に関する事。
- 5 公印の管理に関する事。
- 6 財産の取得，維持管理及び契約に関する事。
- 7 給与品，貸与品の支給及び保管に関する事。
- 8 庁用物品の調達，検収及び処分に関する事。
- 9 事務改善に関する事。
- 10 消防概況に関する事。
- 11 他の課の所管に属さない事項に関する事。

人事研修係

- 1 職員の任免，分限，懲戒，服務及び賞罰その他身分に関する事。
- 2 職員の給与，勤務時間及び勤務条件に関する事。
- 3 職員の定数及び配置に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- 5 職員の公務災害補償に関する事。
- 6 職員の研修に関する事。
- 7 職員の人事評価に関する事。
- 8 表彰に関する事。

警防課

警 防 係

- 1 災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- 2 消防戦術の研究指導に関する事。
- 3 消防水利に関する事。
- 4 消防隊の運用に関する事。
- 5 救助隊の運用に関する事。
- 6 緊急消防援助隊の出動及び隊の運用に関する事。
- 7 消防相互応援及び広域応援の出動及び隊の運用に関する事。
- 8 火災原因及び損害の調査並びに災証明等に関する事。
- 9 航空消防に関する事。
- 10 その他警防に関する事。

救 急 係

- 1 救急隊の運用に関する事。
- 2 救急対策に関する事。
- 3 救急技術に関する事。
- 4 医療機関等との連絡調整に関する事。
- 5 民間による患者等搬送事業に関する事。
- 6 応急手当普及啓発に関する事。
- 7 その他救急に関する事

指令情報係

- 1 消防通信設備等の総合企画，調整及び保守管理に関する事。
- 2 災害通報の受付及び出動指令に関する事。
- 3 災害通信の運用，統制及び非常時対策に関する事。
- 4 消防情報の収集，連絡及び伝達に関する事。
- 5 災害の統計に関する事。
- 6 気象観測及び記録に関する事。
- 7 消防OAの運用及び維持管理に関する事。
- 8 その他指令情報に関する事。

予防課

予 防 係

- 1 危険物の規制に関すること。
- 2 防火管理者及び防災管理者に関すること。
- 3 火災予防条例に関すること。
- 4 液化石油ガス等に関すること
(権限移譲事務を含む。)
- 5 火薬類取締法に関すること
(権限移譲事務に限る。)
- 6 予防広報に関すること。
- 7 その他火災予防対策に関すること。

指 導 係

- 1 消防用設備等の規制に関すること。
- 2 建築物の建築確認に関すること。
- 3 予防査察に関すること。
- 4 危険物に係る事故調査に関すること。
- 5 違反処理における行政指導に関すること。
- 6 民間防火組織の育成に関すること。
- 7 その他防火思想の普及に関すること。

防災課

防 災 係

- 1 消防団との連携に関すること。
- 2 消防本部と市町間の危機管理等の調整に関すること。
- 3 国民保護に関すること。
- 4 危機管理事案の調査研究に関すること。
- 5 職員に対する危機管理に関すること。
- 6 消防協会の事務に関すること。
- 7 消防本部災害対応と市町の地域防災計画との調整に関すること。
- 8 緊急消防援助隊の応援・受援計画及び調整に関すること。
- 9 消防相互応援協定の計画及び調整に関すること。
- 10 構成市町災害対策本部との調整に関すること。
- 11 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 12 その他危機対策及び防災に関すること。

機械装備係

- 1 消防機械器具及び消防用車両の管理に関すること。
- 2 消防機械器具及び消防用車両の配置計画に関すること。
- 3 救急資器材の管理に関すること。
- 4 救急資器材の配置計画に関すること。
- 5 警防、救急及び救助装備の調達、検収及び処分に関すること。
- 6 その他機械装備に関すること。

消 防 署 事 務 分 掌

総 務 係

- 1 署の運営に関すること。
- 2 文書の收受発送に関すること。
- 3 署員の配置，進退，賞罰及び身分に関すること。
- 4 署内における各種会議に関すること。
- 5 統計に関すること。
- 6 署員の福利厚生に関すること。
- 7 署員の研修に関すること。
- 8 署員の勤務，服務に関すること。
- 9 経理に関すること。
- 10 物品の出納保管に関すること。
- 11 消防庁舎の維持管理に関すること。
- 12 他の係の分掌に属さない事項。

予 防 係

- 1 危険物の規制に関すること。
- 2 消防用設備等の規制に関すること。
- 3 建築物の建築確認に関すること。
- 4 火災予防条例に関すること。
- 5 液化石油ガス等に関すること。
(権限移譲事務を含む。)
- 6 火薬類取締法に関すること。
(権限移譲事務に限る。)
- 7 予防査察に関すること。
- 8 違反処理における行政指導に関すること。
- 9 危険物に係る事故調査に関すること。
- 10 防火防災管理及び危険物の取扱に関すること。
- 11 民間防火組織の育成指導に関すること。
- 12 その他火災予防の計画，指導及び取締り等に関すること。

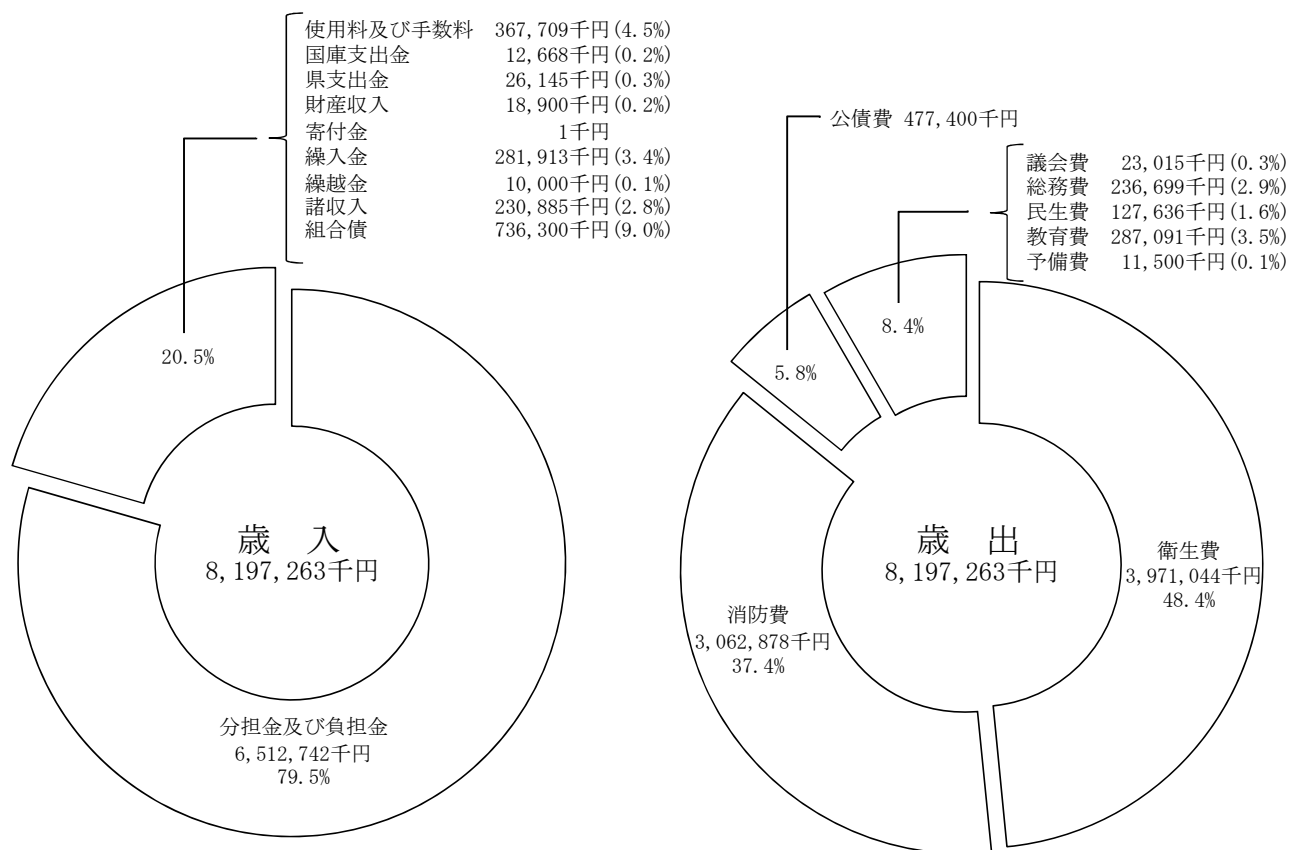
警 防 係

- 1 火災等の警防及び対策に関すること。
- 2 消防水利に関すること。
- 3 消防通信に関すること。
- 4 消防演習計画に関すること。
- 5 自衛消防隊に関すること。
- 6 避難訓練等の指導に関すること。
- 7 消防機械器具の維持管理に関すること。
- 8 火災原因及び損害調査に関すること。
- 9 り災証明等に関すること。
- 10 火災統計に関すること。
- 11 消防団との連携に関すること。
- 12 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 13 救助業務に関すること。
- 14 その他警防及び機械に関すること。

救 急 係

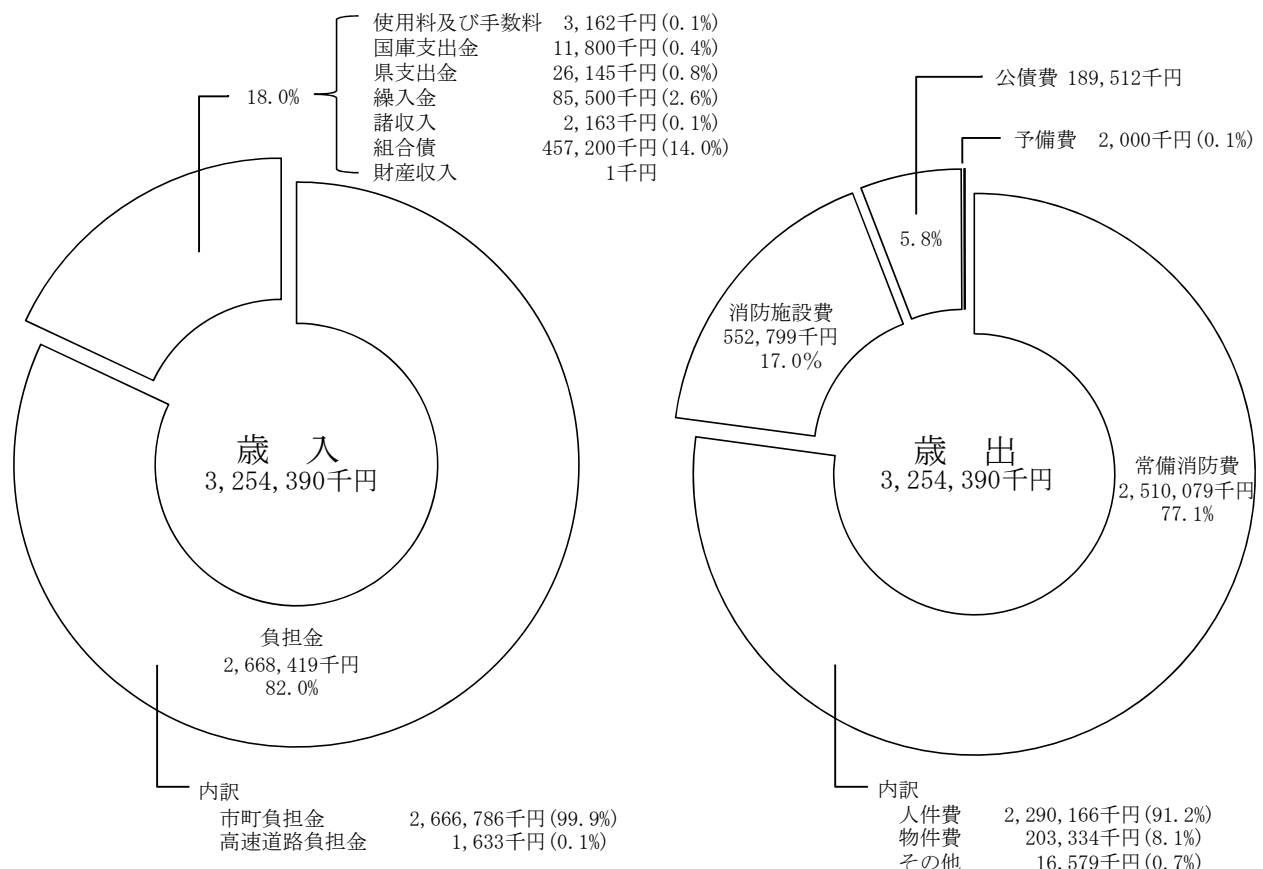
- 1 救急対策に関すること。
- 2 救急技術の訓練指導に関すること。
- 3 救急資器材の管理に関すること。
- 4 医療機関等との連絡調整に関すること。
- 5 民間による患者等搬送事業に関すること。
- 6 救急統計に関すること。
- 7 その他救急に関すること。

令和元年度 大崎地域広域行政事務組合一般会計予算概要



令和元年度 消防費当初予算

※この消防費には、消防事業分の公債費、予備費を含む。



施設（消防庁舎等）の現況

平成31年4月1日現在

区 分	所在地	建物区分	構造	階数	面 積		敷地面積 ㎡	設置 年度
					建築面積 ㎡	延面積 ㎡		
消防本部 古川消防署	大崎市古川 千手寺町二丁目5-20	庁 舎	鉄筋コンクリート 一部鉄骨	5	1,107.89	4,786.05	11,984.68	H31
		主 訓 練 塔	鉄筋コンクリート	4	74.32	227.82		H31
		副 訓 練 塔	鉄筋コンクリート	3	128.17	268.32		H31
		車 庫 兼 防 災 倉 庫	鉄 骨	1	492.80	492.80		H31
		計			1,803.18	5,774.99		
古川消防署 志田分署	大崎市鹿島台 木間塚字小谷地269-1	庁 舎	鉄 骨	2	526.67	672.32	1,726.17	H24
古川消防署 田尻分署	大崎市田尻 沼部字新堀137-2	庁 舎	鉄 骨	1	640.39	626.36	1,611.87	H26
古川消防署 三本木出張所	大崎市三本木 字廻山65	庁 舎	鉄骨・モルタル	1	231.52	231.52	3,249.67	H14
鳴子消防署	大崎市鳴子温泉 字馬場70-2	庁 舎	鉄筋コンクリート	2	563.04	725.76	2,804.00	H 2
		主 訓 練 塔	鉄筋コンクリート	5	39.51	156.00		H 2
		副 訓 練 塔	鉄 骨	2	33.07	54.08		H 2
		計			635.62	935.84		
鳴子消防署 岩出山分署	大崎市岩出山 上野目字街道下12-3	庁 舎	鉄 骨	2	520.05	653.23	2,203.33	H24
		除雪車車庫	鉄 骨	1	16.34	16.34		H25
		計			536.39	669.57		
加美消防署	加美郡加美町 字新川原106	庁 舎	鉄 骨	2	738.18	1,123.01	9,136.03	H23
		主 訓 練 塔	鉄筋コンクリート	3	123.25	341.19		H23
		副 訓 練 塔	鉄 骨	2	75.58	120.00		H23
		駐 輪 場	鉄 骨	1	11.52	11.52		H23
		計			948.53	1,595.72		
加美消防署 西部分署	加美郡加美町 字原町南百ヶ清水30-7	庁 舎	鉄 骨	2	462.53	658.96	1,942.93	H25
		除雪車車庫	鉄 骨	1	16.48	16.48		H25
		計			479.01	675.44		
遠田消防署	遠田郡涌谷町 字関谷沖名303-1	庁 舎	鉄 骨	2	919.48	1,410.33	7,259.78	H22
		訓 練 塔 A	鉄筋コンクリート	3	50.20	150.00		H22
		訓 練 塔 B	鉄 骨	5	69.27	216.40		H22
		訓 練 塔 C	鉄 骨	3	183.79	414.85		H22
		駐 輪 場	そ の 他	1	11.34	11.34		H22
		計			1,234.08	2,202.92		
岩渕基地局	大崎市鳴子温泉 字岩渕8, 字大畑37の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	162.41	H24
鬼首基地局	大崎市鳴子温泉 鬼首字八幡原34-1の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
薬菜基地局	加美郡加美町 字味ヶ袋薬菜原1-79の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
籠岳基地局	遠田郡涌谷町 籠岳字神楽岡51-2の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	150.01	H24

消防力の整備指針と現有消防力

平成31年4月1日現在

区 分		基 準	現 有	過不足数	充 足 率
署 所 の 数		10	9	△ 1	90.0%
車 両	指 揮 車	4	4	0	100.0%
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	17	17	0	100.0%
	は し ご 車	2	2	0	100.0%
	化 学 消 防 車	1	1	0	100.0%
	救 急 自 動 車	11	11	0	100.0%
	救 助 工 作 車	1	1	0	100.0%
	非 常 用 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	0	100.0%
	非 常 用 救 急 自 動 車	2	2	0	100.0%
	特 殊 車 等		15	15	
計		40	55	15	
人 員	警 防 要 員	316	254	△ 62	80.4%
	予 防 要 員	24	12	△ 12	50.0%
	通 信 要 員	10	12	2	120.0%
	庶 務 の 要 員	38	38	0	100.0%
	計	388	316	△ 72	81.4%

※基準については、平成27年度消防施設整備計画実態調査に基づき算出したものである。

※署所の不足数は、大崎市古川市街地分である。

※特殊車等の内訳は、司令車2台、資機材搬送車1台、大型水槽車3台、支援車8台、拠点機能形成車1台である。

※警防要員の基準は、消防隊員、救急隊員、救助隊員、指揮隊員数の合計である。

※庶務の要員は、管理職、本部及び各署日勤（予防要員除く）、派遣・出向職員数である。

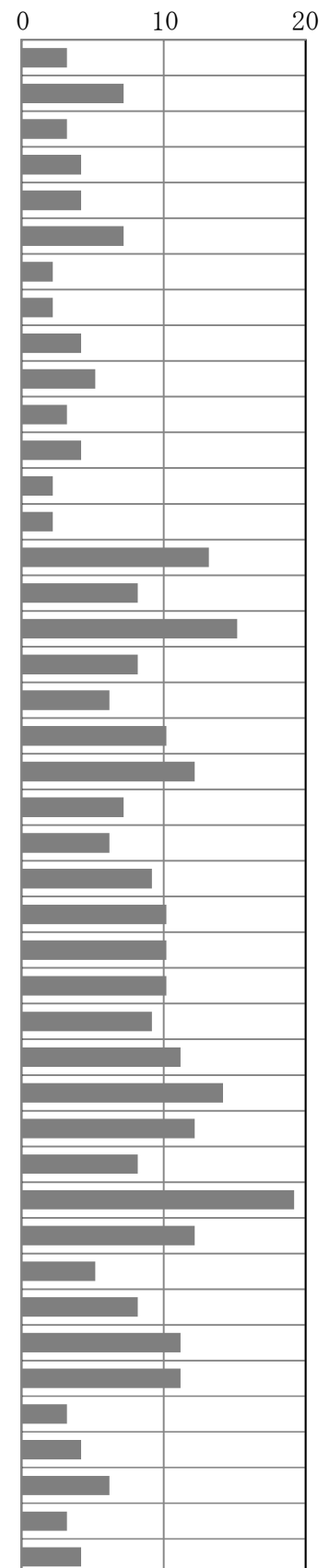
所属別配置状況

平成31年4月1日現在

		正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	計	毎 日 勤 務	交 代 制 勤 務
消 防 本 部	消防長	1									1	1	
	次長		1								1	1	
	総務課			2	1	3					6	6	
	(派遣)		1			5					6	6	
	予防課			2	1						3	3	
	警防課			2	1						3	3	
	(通信指令センター)				3	6	3				12		12
	(指揮隊)				3	3	3				9		9
	(派遣)					1					1	1	
	防災課			2	1	1					4	4	
小 計		1	2	8	10	19	6	0	0	0	46	25	21
古川消防署			1	1	7	12	17		19		57	9	48
志田分署				1	1	5	7		6		20	2	18
田尻分署				1	1	5	6		6		19	1	18
三本木出張所					2	5	4		6		17	2	15
小 計		0	1	3	11	27	34	0	37	0	113	14	99
鳴子消防署				2	10	6	10		11		39	4	35
岩出山分署				1	1	5	6		6		19	1	18
小 計		0	0	3	11	11	16	0	17	0	58	5	53
加美消防署				2	7	7	9	1	11		37	4	33
西部分署				1	1	5	7		6		20	2	18
小 計		0	0	3	8	12	16	1	17	0	57	6	51
遠田消防署				2	7	7	12		14		42	4	38
小 計		0	0	2	7	7	12	0	14	0	42	4	38
合 計		1	3	19	47	76	84	1	85	0	316	54	262
備 考		1 派遣職員7名の内訳は、総務省1名、宮城県消防学校2名、 宮城県総務部消防課1名、防災ヘリ1名、大崎市2名である。 (総務課6名・警防課1名) 2 新規採用職員10名 内訳は、古川・加美各3名、鳴子・遠田各2名である。											

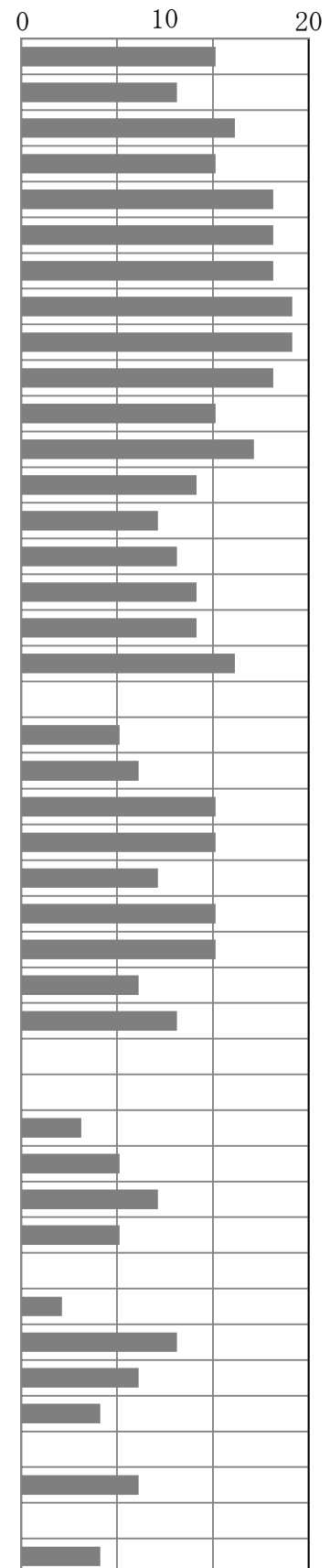
年齢別構成表（平成31年4月1日）

退職年	年齢	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
R元年度	59		1		2					3
R 2年度	58	1		3	2	1				7
R 3年度	57		1	1		1				3
R 4年度	56		1	1	2					4
R 5年度	55				3	1				4
R 6年度	54			4	1	2				7
R 7年度	53			2						2
R 8年度	52			1	1					2
R 9年度	51			1	2	1				4
R10年度	50			2	3					5
R11年度	49			1	2					3
R12年度	48			2	2					4
R13年度	47				1	1				2
R14年度	46					2				2
R15年度	45				5	6	2			13
R16年度	44				4	3	1			8
R17年度	43			1	4	6	4			15
R18年度	42				3	2	3			8
R19年度	41				2	3	1			6
R20年度	40				3	5	2			10
R21年度	39				3	7	2			12
R22年度	38				1	4	2			7
R23年度	37				1	3	2			6
R24年度	36					6	3			9
R25年度	35					6	4			10
R26年度	34					4	5		1	10
R27年度	33					2	7		1	10
R28年度	32					5	4			9
R29年度	31					1	8		2	11
R30年度	30						11	1	2	14
R31年度	29					2	5		5	12
R32年度	28						5		3	8
R33年度	27						4		15	19
R34年度	26						5		7	12
R35年度	25								5	5
R36年度	24						2		6	8
R37年度	23								11	11
R38年度	22								11	11
R39年度	21								3	3
R40年度	20								4	4
R41年度	19								6	6
R42年度	18								3	3
再任用						2	2			4
総計		1	3	19	47	76	84	1	85	316

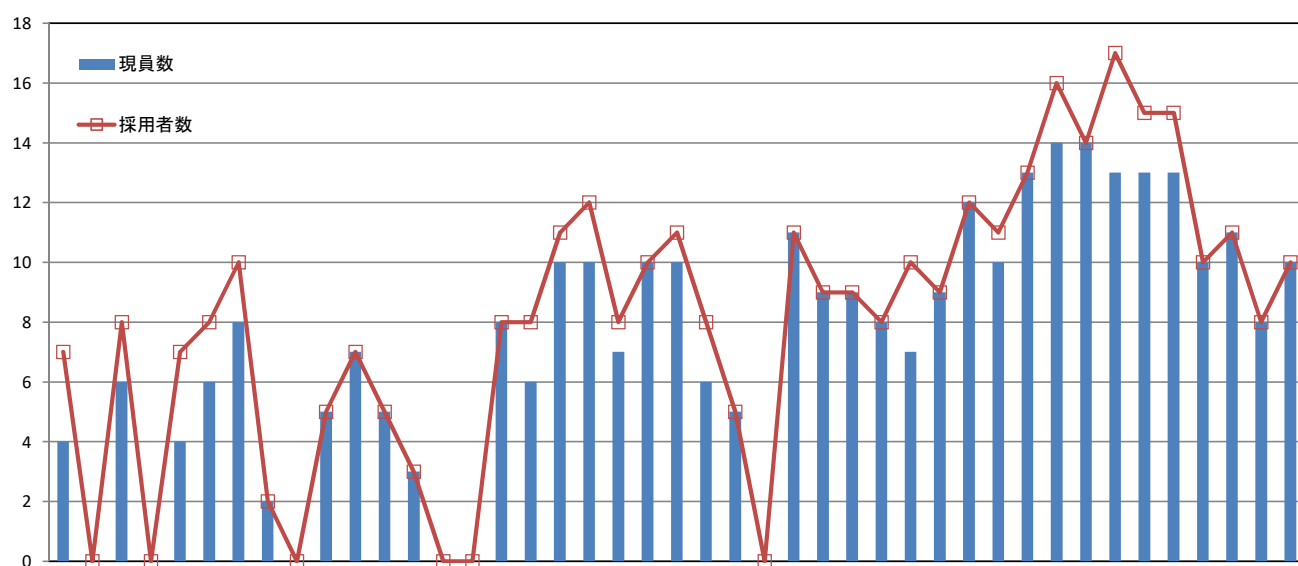


勤続年数別構成表（平成31年4月1日）

勤続年数	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計
0								10	10
1								8	8
2								11	11
3						1		9	10
4								13	13
5								13	13
6						7		6	13
7					1	7		6	14
8					1	10		3	14
9					3	9		1	13
10					1	5		4	10
11					3	8		1	12
12					2	6	1		9
13					3	4			7
14					5	3			8
15				1	4	4			9
16				1	7	1			9
17				2	7	2			11
18									0
19			1	1	2	1			5
20				3	3				6
21				2	5	3			10
22				5	3	2			10
23				4	2	1			7
24				3	5	2			10
25			1	1	4	4			10
26				2	3	1			6
27				3	4	1			8
28									0
29									0
30			1	2					3
31			1	4					5
32			2	5					7
33			2	2	1				5
34									0
35			2						2
36			6		2				8
37		2		2	2				6
38		1	1	2					4
39									0
40	1		2	2	1				6
41									0
再任用					2	2			4
総計	1	3	19	47	76	84	1	85	316

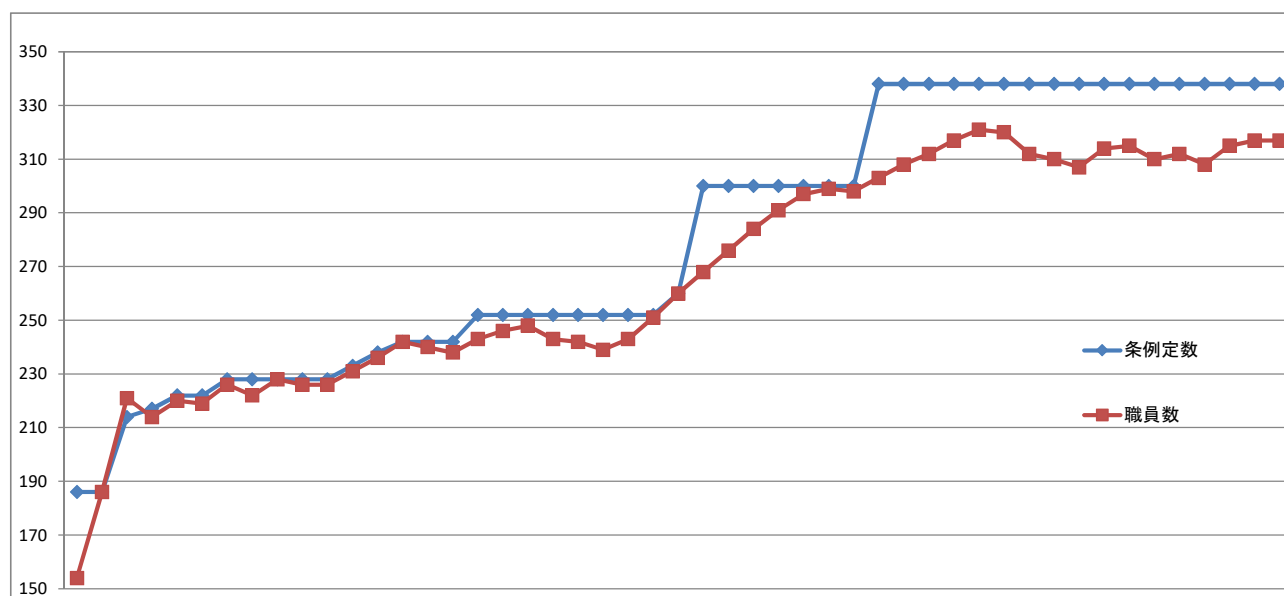


年度別消防吏員採用数と採用年度別職員現員数



年度	平成25年度																																										
	S52年度	S53年度	S54年度	S55年度	S56年度	S57年度	S58年度	S59年度	S60年度	S61年度	S62年度	S63年度	H元年度	H2年度	H3年度	H4年度	H5年度	H6年度	H7年度	H8年度	H9年度	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
採用者数	7	0	8	0	7	8	10	2	0	5	7	5	3	0	0	8	8	11	12	8	10	11	8	5	0	11	9	9	8	10	9	12	11	13	16	14	17	15	15	10	11	8	10
現員数	4	0	6	0	4	6	8	2	0	5	7	5	3	0	0	8	6	10	10	7	10	10	6	5	0	11	9	9	8	7	9	12	10	13	14	14	13	13	13	10	11	8	10

職員数と条例定数の推移



年度	S 4 5 年度	S 4 6 年度	S 4 7 年度	S 4 8 年度	S 4 9 年度	S 5 0 年度	S 5 1 年度	S 5 2 年度	S 5 3 年度	S 5 4 年度	S 5 5 年度	S 5 6 年度	S 5 7 年度	S 5 8 年度	S 5 9 年度	S 6 0 年度	S 6 1 年度	S 6 2 年度	S 6 3 年度	H 元 年度	H 2 年度	H 3 年度	H 4 年度	H 5 年度	H 6 年度	H 7 年度	H 8 年度	H 9 年度	H 1 0 年度	H 1 1 年度	H 1 2 年度	H 1 3 年度	H 1 4 年度	H 1 5 年度	H 1 6 年度	H 1 7 年度	H 1 8 年度	H 1 9 年度	H 2 0 年度	H 2 1 年度	H 2 2 年度	H 2 3 年度	H 2 4 年度	H 2 5 年度	H 2 6 年度	H 2 7 年度	H 2 8 年度	H 2 9 年度	R 元 年度			
	条例定数	186	186	214	217	222	222	228	228	228	228	233	238	242	242	242	252	252	252	252	252	252	252	252	252	260	300	300	300	300	300	300	303	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338	338
職員数	154	186	221	214	220	219	226	222	228	226	236	231	236	242	240	238	243	246	248	243	242	239	243	251	260	268	276	284	291	297	299	298	303	308	312	317	321	320	312	310	307	314	315	310	312	308	315	317	317	316		

※職員数には、再任用職員を含む。

警

防



災 害 出 動 計 画 基 準 表

災害種別(火災)

平成31年4月1日現在

区 分		出動計画	出動区分・車両数			摘 要
		車 両	第1出動	第2出動	第3出動	
建 物	普 通 建 物 (中高層及び大規模 建物以外の建物)	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	5	2	2	
		水槽車	1			
		救急車	1	1		
		計	8 (9)	3	2	
	中 高 層 建 物 (3階以上の建物)	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		はしご車	1	1		
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
		計	12 (13)	5	3	
	大 規 模 建 物 (建物延べ面積1,000㎡ 以上の建物)	指揮車	1 (2)			
		ポンプ車・タンク車	7	2	2	
		水槽車	1			
		工作車		1		
		救急車	2	1	1	
		計	11 (12)	4	3	
林 野	指揮車	1 (2)				
	ポンプ車・タンク車	5	2	2		
	水槽車	1				
	計	7 (8)	2	2		
車 両	指揮車	1 (2)				
	ポンプ車・タンク車	3 (4)	2	2		
	水槽車	1				
	救急車	1	2	2		
	化学車	危険物関係車両火災時特命出動				
	計	6 (8)	4	4		
危険物施設等 (特殊災害)	指揮車	1 (2)				
	ポンプ車・タンク車	7	2	2		
	水槽車	1				
	化学車	1				
	工作車		1			
	救急車	2	2	2		
	計	12 (13)	5	4		
そ の 他	指揮車	1 (2)				
	ポンプ車・タンク車	3 (4)	2	2		
	水槽車	1				
	計	5 (7)	2	2		

災害種別(救急)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動		
救 急	救急車	1	1		同一救急に3隊以上の出動は消防長特命出動とする。
	計	1	1		

災害種別(救急救助)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動	第3出動	
救 急 救 助	指揮車	1 (2)			
	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		
	工作車	1	1	1	
	救急車	1	2	3	
	計	4 (6)	4	4	

災害種別(その他)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動		
その他災害	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		
	計	1 (2)	1		
地震災害	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		大消ポンプ車及び大消救急車の特命出動
	工作車	1	(1)		
	救急車		1		
	計	2 (3)	2 (3)		

※ 第1出動, 第2出動の()書きは, 出動指令時の災害発生場所又は災害状況に応じた増隊等後の車両数

非常配備体制

平成31年4月1日現在

種 別 課・署所別			規程第16条の非常配備基準 (日勤時は、日勤者を優先して配備する)			非常災害警防 活動実施命令 (第52条)
			第一次非常配備	第二次非常配備	第三次非常配備	
消防本部	防災課		2名	+1名	全職員	全職員
	予防課			2名	+2名以上	全職員
	総務課			2名	+2名以上	全職員
	警防課	管制	1名	+2名	+3名以上	全職員
		指揮	1名	+3名	全職員	全職員
古川消防署			15名	+9名	+27名以上	
古川消防署			6名	+3名	+15名以上	全職員
志田分署			4名	+2名	+5名以上	全職員
田尻分署			4名	+2名	+5名以上	全職員
三本木出張所			1名	+2名	+2名以上	全職員
鳴子消防署			6名	+4名	+17名以上	
鳴子消防署			2名	+2名	+12名以上	全職員
岩出山分署			4名	+2名	+5名以上	全職員
加美消防署			7名	+5名	+15名以上	
加美消防署			3名	+3名	+10名以上	全職員
西部分署			4名	+2名	+5名以上	全職員
遠田消防署			3名	+3名	+10名	全職員
配備体制の移行	署		警防隊・救助隊1隊4名 古川救助隊を専任・遠田第2救急隊を専任	鳴子指揮隊1名 古川・加美・遠田指揮車隊2名の確保 通信1名	第三次非常配備命令により規程第52条の非常災害警防活動の実施体制を確立するものとする。	
	分 署		救急隊を専任 警防隊2隊(各3名)	警防隊1隊のみ4名 通信 1名		
	出張所		警防隊1隊3名	警防隊1隊4名 通信 1名		

消防車両配置表

平成31年4月1日現在

種別 署所別	計	消防車両						救急車	その他の車両							
		大型水槽車	水槽付ポンプ車	ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車		司令・指揮車	連絡車	査察車	広報車	救急広報車	搬送車	拠点機能形成車	ホイールローダー
消防本部	13(5)			2(2)				2(2)	2(1)	2		2	1	1	1	
古川消防署	22	1	2	4	1	1	1	5	1	5	1	0	0	0	0	0
古川消防署	11	1		1	1	1	1	2	1	2	1					
志田分署	4		1	1				1		1						
田尻分署	4		1	1				1		1						
三本木出張所	3			1				1		1						
鳴子消防署	12	0	2	2	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	2
鳴子消防署	7		1	1	1			1	1		1					1
岩出山分署	5		1	1				1		1						1
加美消防署	12	1	2	2	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	2
加美消防署	7	1	1	1				1	1		1					1
西部分署	5		1	1				1		1						1
遠田消防署	8	1	1	1	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0
計	67(5)	3	7	11(2)	2	1	1	13(2)	6(1)	10	4	2	1	1	1	4

※()内は非常用

所属名	登録年月	種 別	車 両 性 能 等	積載無線局名
消防本部	平成 6年 12月	非常用ポンプ車	CD－I 型ポンプ車	だいしょうぼんぷ 1
〃	平成 7年 12月	非常用ポンプ車	I型 水槽1,000 ^{リットル} 薬槽300 ^{リットル}	だいしょうぼんぷ 2
〃	平成21年 1月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう 1
〃	平成13年 3月	非常用救急車	ニッサンパラメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう 2
〃	平成19年 3月	非常用司令車	トヨタハイメディック仕様変更(ガソリン車)	だいしょうしれい 2
〃	平成18年 6月	司 令 車	SUVタイプ2,700cc(ガソリン車)	だいしょうしれい 1
〃	平成17年 7月	広 報 車	バンタイプ2000cc(ガソリン車)	
〃	平成19年 1月	救急啓発広報車	ニッサンシビリアン (救急振興財団寄贈)	
〃	平成10年 7月	資機材搬送車	トラックタイプ2t車	だいしょうはんそう 1
〃	平成23年 8月	連 絡 車	軽乗用車	
〃	平成25年 3月	広 報 車	ステーションワゴン2000cc(ガソリン車)	
〃	平成25年 7月	連 絡 車	プリウス(ハイブリット車)	
〃	平成31年 3月	拠点機能形成車	後方支援資機材積載 (総務省消防庁配備)	だいしょうきょてん 1
古川消防署	平成18年 2月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000 ^{リットル}	ふるかわすいそう 1
〃	平成11年12月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	ふるかわぼんぷ 1
〃	平成 5年10月	は し ご 車	35m級(最大地上高36m)	ふるかわはしご 1
〃	平成 8年 3月	救助工作車	Ⅲ型(油圧ウインチ・照明装置付)	ふるかわきゅうじょ 1
〃	平成28年 1月	化 学 車	Ⅱ型 水槽1,500 ^{リットル} 薬槽500 ^{リットル}	ふるかわたんく 1
〃	平成23年12月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう 1
〃	平成24年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう 2
〃	平成20年 6月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	ふるかわしき 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	平成23年 7月	連 絡 車	軽ワゴン車	
〃	平成23年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	ふるかわさつ 1
志田分署	平成30年 3月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500 ^{リットル} 水槽付)	しだたんく 1
〃	平成12年11月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	しだぼんぷ 1
〃	平成22年12月	高規格救急車	ニッサンパラメディック (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	しだきゅうきゅう 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	しだれんらく 1
田尻分署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽I－A型(1,500 ^{リットル} 水槽付)	たじりたんく 1
〃	平成25年 2月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	たじりぼんぷ 1
〃	平成22年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	たじりきゅうきゅう 1
〃	平成27年 7月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	たじりれんらく 1
三本木出張所	平成28年12月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車(800 ^{リットル} 水槽付)	さんぼんぎぼんぷ 1
〃	平成22年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	さんぼんぎきゅうきゅう 1

所属名	登録年月	種 別	車 両 性 能 等	積載無線局名
三本木出張所	平成15年 8月	連 絡 車	軽ワゴン車	
鳴子消防署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	な る こ た ん く 1
〃	平成17年 3月	救助ポンプ車	CDⅠ型(救助ポンプ車)	なるこきゅうじょぼんぷ 1
〃	平成13年 7月	は し ご 車	15m級(最大地上高15.9m)	な る こ は し ご 1
〃	平成29年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	なるこきゅうきゅう 1
〃	平成20年 6月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	な る こ し き 1
〃	平成23年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	な る こ さ さ つ 1
〃	平成20年11月	ホイールローダー	鳴子除雪車・災害対応車	
岩出山分署	平成15年10月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	いわでやまたんく 1
〃	平成 9年12月	普通ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車	いわでやまぼんぷ 1
〃	平成23年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	いわでやまきゅうきゅう 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	いわでやまれんらく 1
〃	平成26年 1月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
加美消防署	平成19年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽5,000ℓ	か み す い そ う 1
〃	平成13年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	か み た ん く 1
〃	平成20年 1月	救助ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車(救助ポンプ車)	かみきゅうじょぼんぷ 1
〃	平成28年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	か み き ゆ う き ゆ う 1
〃	平成19年 7月	指 揮 車	SUVタイプ2,000CC(ガソリン車)	か み し き 1
〃	平成21年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	か み さ さ つ 1
〃	平成23年12月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
西部分署	平成26年 1月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	せ い ぶ た ん く 1
〃	平成 9年 10月	普通ポンプ車	CDⅠ型ポンプ車(600ℓ水槽付)	せ い ぶ ぼ ん ぷ 1
〃	平成21年 1月	高規格救急車	トヨタハイメディック	せいぶきゅうきゅう 1
〃	平成25年 2月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	せ い ぶ れ ん ら く 1
〃	平成26年10月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
遠田消防署	平成23年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	と お だ す い そ う 1
〃	平成14年11月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ-A型(1,500ℓ水槽付)	と お だ た ん く 1
〃	平成21年 2月	救助ポンプ車	CDⅠ型(救助ポンプ車) (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	とおだきゅうじょぼんぷ 1
〃	平成25年 3月	高規格救急車	トヨタハイメディック (JA共済連寄贈)	とおだきゅうきゅう 1
〃	平成19年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	とおだきゅうきゅう 2
〃	平成19年 7月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	と お だ し き 1
〃	平成22年 6月	査 察 車	軽ワゴン車	と お だ さ さ つ 1
〃	平成25年 1月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	

消 防 隊 出 動 状 況

平成30年1月1日～平成30年12月31日

区分 署所		合 計	火 災	救 助 活 動	内 管 外	風 水 害 等	演 習 訓 練	訓 練 指 導	警 防 調 査	原 因 調 査	特 別 警 戒	遭 難	予 防 査 察	そ の 他	内 管 外
古 川	出動回数	1,683	51	22	0	13	11	79	24	21	262	0	352	848	39
	台数	2,192	109	32	0	14	49	92	27	27	343	0	470	1,029	43
	人員	4,550	252	131	0	41	142	164	84	79	797	0	734	2,126	102
志 田	出動回数	811	20	11	0	59	6	9	45	6	53	0	62	540	0
	台数	839	35	11	0	64	6	9	45	14	53	0	62	540	0
	人員	2,038	112	32	0	171	17	24	128	41	150	0	184	1,179	0
田 尻	出動回数	1,073	17	3	1	4	4	24	113	2	69	0	151	686	0
	台数	1,166	27	4	1	4	18	29	113	5	69	0	155	742	0
	人員	3,273	80	12	3	12	55	77	339	17	172	0	462	2,047	0
三本木	出動回数	595	27	3	1	0	1	16	104	4	8	0	58	374	0
	台数	614	30	5	1	0	2	21	104	5	8	0	65	374	0
	人員	1,540	68	13	3	0	5	47	247	11	19	0	157	973	0
鳴 子	出動回数	918	5	6	0	2	14	83	20	2	253	0	98	435	0
	台数	1,138	18	16	0	2	34	103	74	7	264	0	114	506	0
	人員	2,749	56	63	0	6	79	274	169	16	763	0	269	1,054	0
岩出山	出動回数	1,106	13	6	0	2	8	35	81	7	267	0	189	498	0
	台数	1,125	21	6	0	2	12	35	81	10	267	0	189	502	0
	人員	2,557	64	18	0	6	39	94	215	24	741	0	304	1,052	0
加 美	出動回数	968	32	15	0	7	15	50	85	9	70	0	171	514	6
	台数	1,078	91	26	0	7	39	50	85	25	70	0	171	514	6
	人員	2,939	242	90	0	22	109	150	237	66	210	0	390	1,423	18
西 部	出動回数	866	14	3	0	2	11	21	90	7	389	0	87	242	0
	台数	888	27	4	0	2	19	21	90	7	389	0	87	242	0
	人員	2,325	74	11	0	6	48	56	263	23	1,073	0	247	524	0
遠 田	出動回数	1,380	23	15	0	25	6	13	57	12	198	0	118	913	0
	台数	1,567	67	71	0	40	19	23	57	24	198	0	125	943	0
	人員	2,954	200	243	0	108	44	57	155	72	594	0	295	1,186	0
合 計	出動回数	9,400	202	84	2	114	76	330	619	70	1,569	0	1,286	5,050	45
	台数	10,607	425	175	2	135	198	383	676	124	1,661	0	1,438	5,392	49
	人員	24,925	1,148	613	6	372	538	943	1,837	349	4,519	0	3,042	11,564	120

※ 演習訓練とは、消防機関又は関係機関と合同で行う演習・訓練のために消防車両が出動した状況である。
 訓練指導とは、住民や自衛消防隊が行う消防訓練に対する指導のため出動した状況である。
 警防調査とは、地水利・危険区域・対象物調査等に出動した状況である。

消 防 水 利 の 現 況

平成31年4月1日 現在

施設別 市町村別			大 崎 市	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	合 計
消 火 栓	小計(A)		1,886	126	418	254	438	3,122
	公設		1,834	126	416	254	435	3,065
	私設		52	0	2	0	3	57
防 火 水 槽	小計	100m ³ 以上	11	0	1	3	2	17
		100m ³ 未満～40m ³	559	33	131	122	140	985
		40m ³ 未満～20m ³	72	0	7	10	48	137
	合計(B)		642	33	139	135	190	1,139
	公 設	100m ³ 以上	2	0	0	3	0	5
		100m ³ 未満～40m ³	457	32	121	119	127	856
		40m ³ 未満～20m ³	54	0	2	9	47	112
	公 設 うち耐震性	100m ³ 以上	0	0	0	0	0	0
		100m ³ 未満～40m ³	48	21	10	27	50	156
		40m ³ 未満～20m ³	1	0	0	0	8	9
	私 設	100m ³ 以上	9	0	1	0	2	12
		100m ³ 未満～40m ³	102	1	10	3	13	129
		40m ³ 未満～20m ³	18	0	5	1	1	25
	私 設 うち耐震性	100m ³ 以上	0	0	1	0	0	1
		100m ³ 未満～40m ³	2	0	6	0	1	9
		40m ³ 未満～20m ³	0	0	5	0	0	5
そ の 他	小計(C)		96	4	17	9	11	137
	プー ル		48	4	8	9	9	78
	河 川		0	0	0	0	0	0
	ごう・池等		47	0	9	0	2	58
	井 戸		0	0	0	0	0	0
	工業用水		0	0	0	0	0	0
	掘抜消火栓		0	0	0	0	0	0
	その他		1	0	0	0	0	1
合 計(A+B+C)			2,624	163	574	398	639	4,398

火災の現況

平成30年中における出火件数は70件で前年より4件増加しました。これは約5.2日に1件の割合で火災が発生したことになります。

火災種別ごとの出火件数は、建物火災が48件（68.6%，前年比11件増）、林野火災2件（2.8%，前年比2件増）、車両火災11件（15.7%，前年比1件減）、その他火災9件（12.9%，前年比8件減）となりました。

市町別ごとの出火件数は、大崎市43件（61.5%）、色麻町4件（5.7%）加美町11件（15.7%）、涌谷町8件（11.4%）、美里町4件（5.7%）となりました。

火災による死者数は2人で前年より2人減少し、火災種別ごとでは、建物火災が2人となりました。

火災による損害額は3億5,130万円で、前年と比較すると1億5,442万9千円増加しました。

出火原因は、「放火の疑い」が9件、次いで「たばこ」が8件、「ストーブ」が7件、の順となっています。

全国の出火件数を出火原因別にみると、「たばこ」、「たき火」、「こんろ」の順に高い件数となっていますが、「放火」及び「放火の疑い」を合わせると、全体の12.4%を占めており、依然として高い割合になっていることから、家の周りに燃えやすい物を置かない等の放火対策の重要性がわかります。

このことから、住民一人ひとりの防火意識の高揚を目指し、更なる防火指導と広報活動の充実強化に努めてまいります。



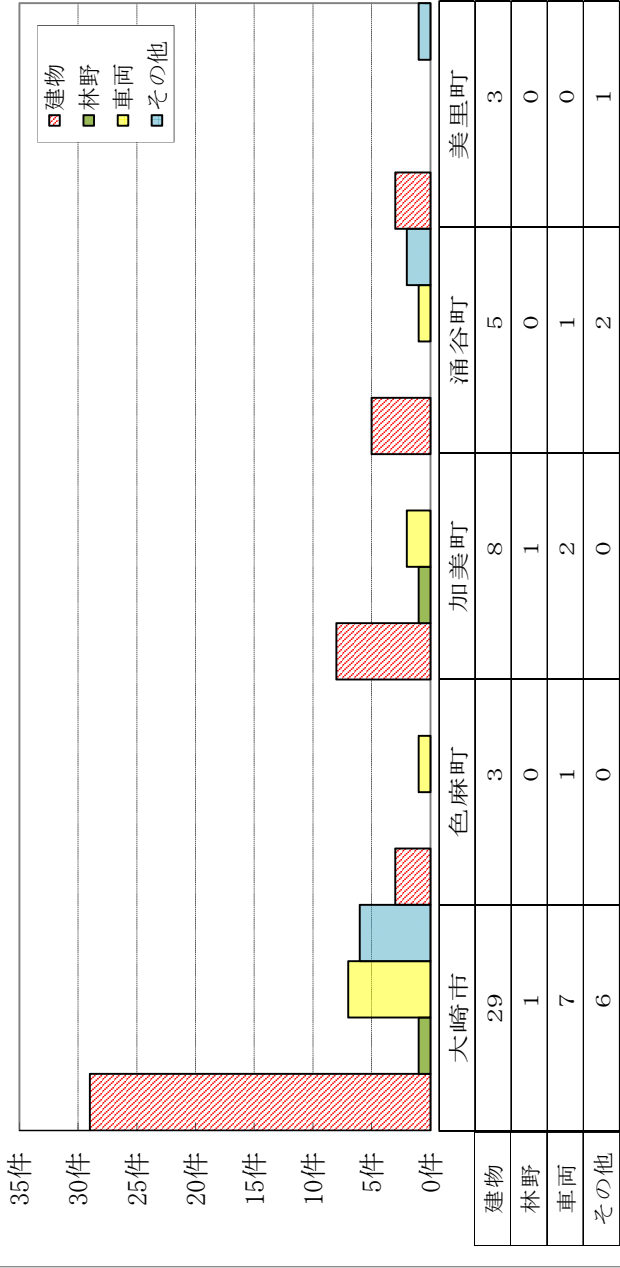
平成30年市町別火災発生状況

平成30年1月1日～平成30年12月31日

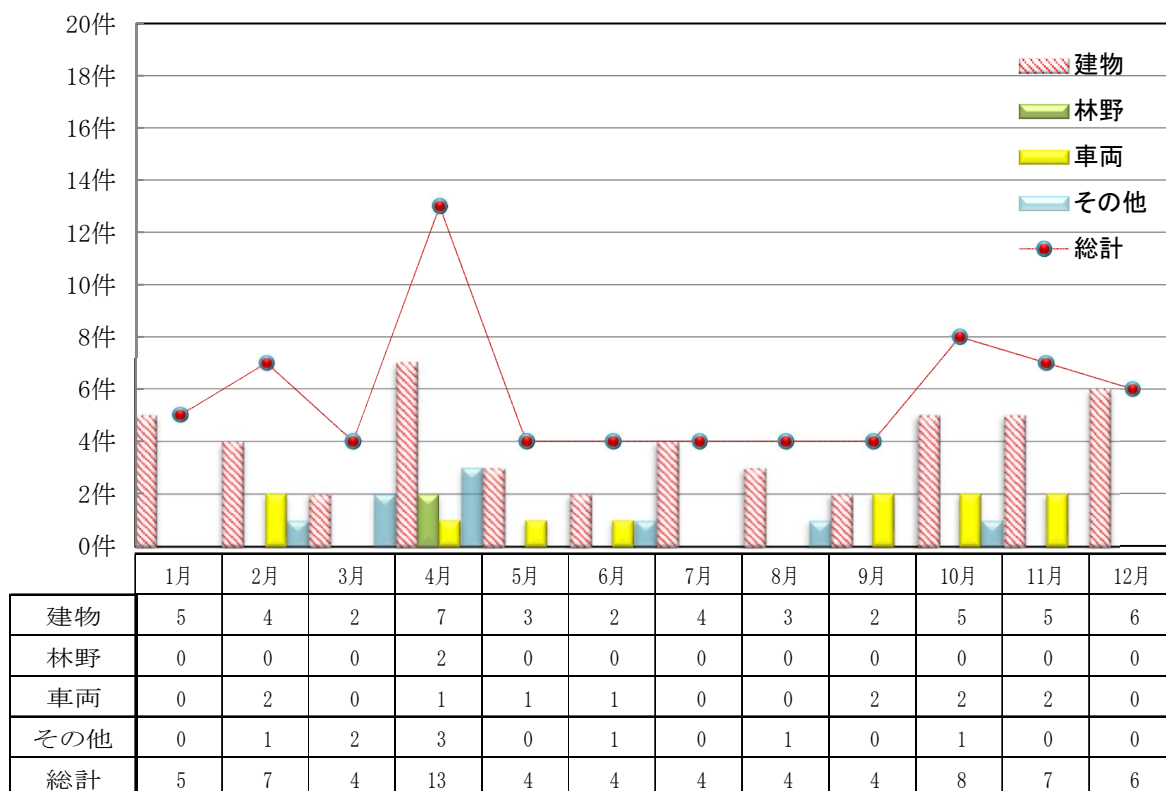
	火災件数				焼損棟数	り災		死者	負傷者	世帯数	人口	一万人 当り 出火率	損害額(円)				焼損面積			
	合計	建物	林野	車両		その他	世帯						人員	総額 (千円)	一件当り (千円)	一世帯当り (円)	一人当り (円)	建物面積 (㎡)	一件当り (㎡)	林野面積 (a)
大崎市	43	29	1	7	6	49	28	72	2	6	51,350	130,955	3.28	202,615	4,712	3,946	1,547	3,655	126.0	70
色麻町	4	3	0	1	0	6	4	16	0	1	2,079	6,892	5.80	24,496	6,124	11,783	3,554	753	251.0	0
加美町	11	8	1	2	0	13	9	20	0	3	8,131	23,377	4.71	68,568	6,233	8,433	2,933	1,046	130.8	6
涌谷町	8	5	0	1	2	15	9	37	0	1	6,073	16,285	4.91	35,808	4,476	5,896	2,199	1,372	274.4	0
美里町	4	3	0	0	1	7	3	8	0	0	9,106	24,597	1.63	19,813	4,953	2,176	806	241	80.3	0
合計	70	48	2	11	9	90	53	153	2	11	76,739	202,106	3.46	351,300	5,019	4,578	1,738	7,067	147.2	76

※世帯数・人口は平成30年12月末日現在（宮城県住民基本台帳より）

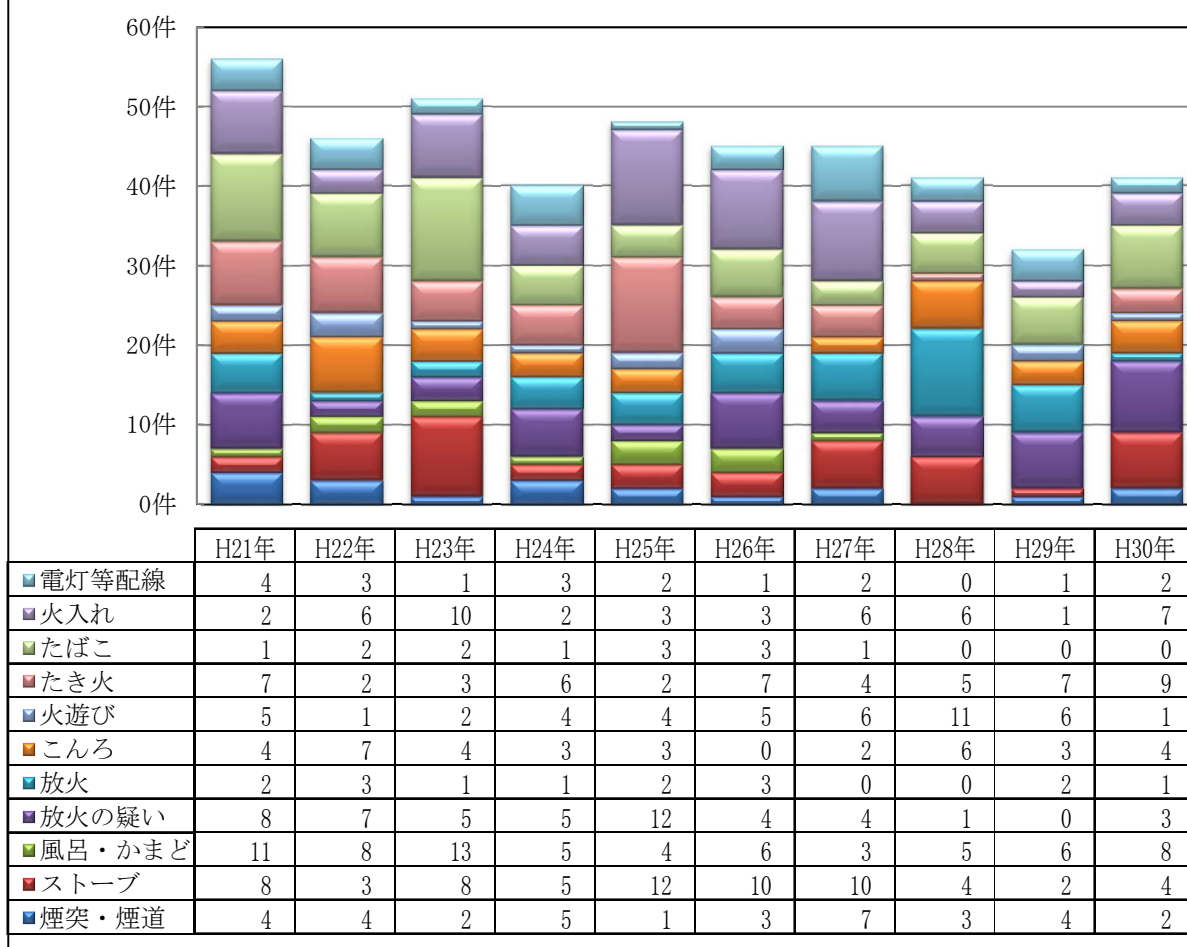
平成30年市町別火災発生状況



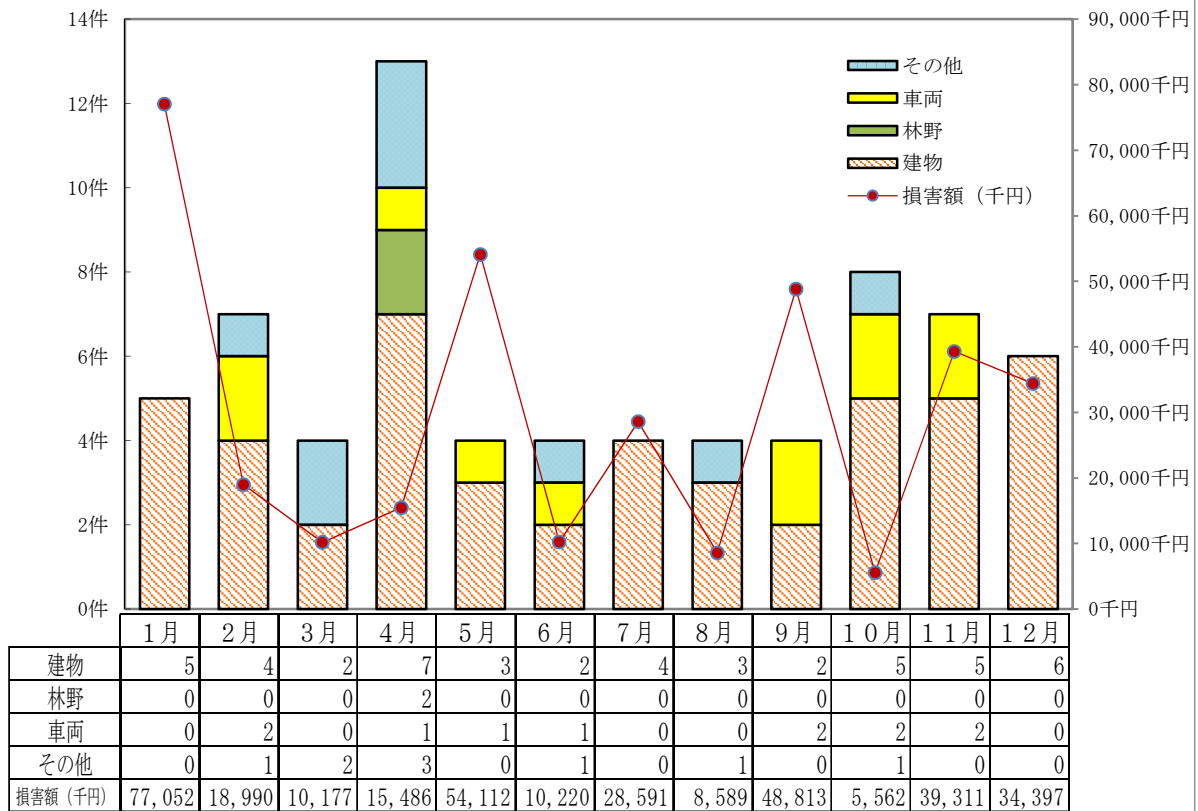
平成30年 月別火災発生状況



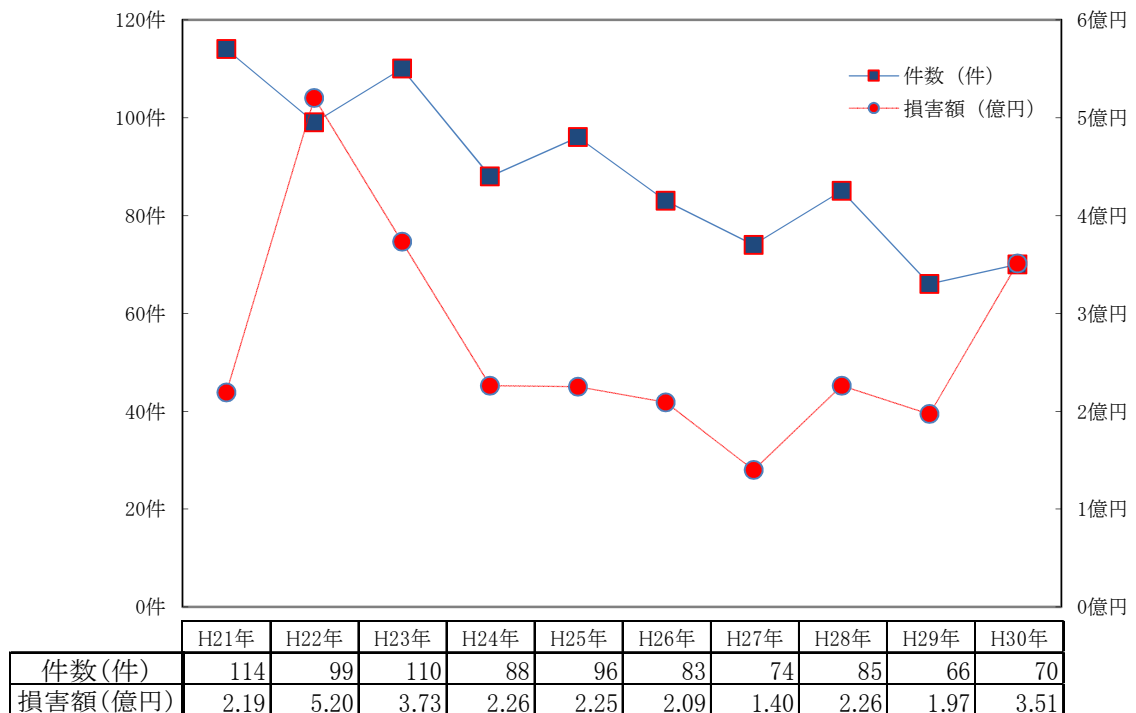
過去10年間の主な出火原因



平成30年 月別火災発生状況及び損害額状況



過去10年間の火災件数及び損害額の推移



救急業務の現況

平成30年中における救急出動件数は9,288件で前年より220件減少し、搬送人員は8,647人で前年より236人減少しました。これは一日平均で約25件（約57分に1件）の割合で救急車が出動し、管内の約23人に1人が救急車により搬送されたことになります。

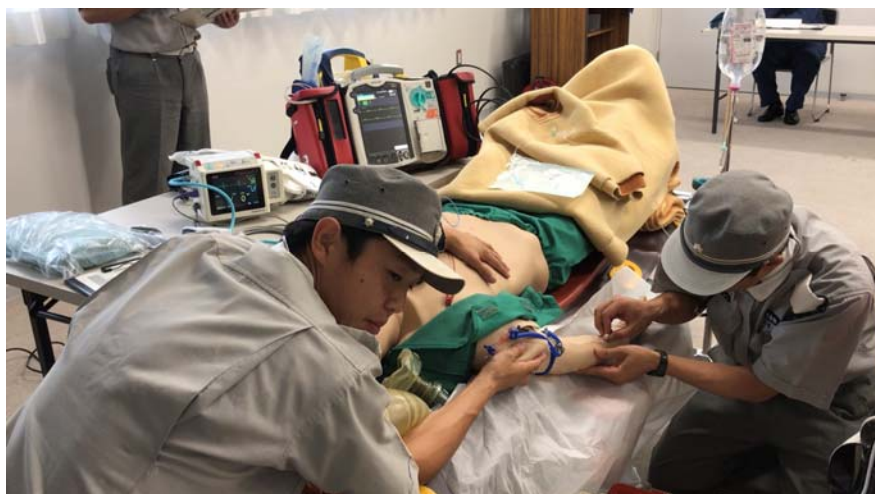
平成30年中の搬送人員8,647人に救急隊員が応急処置を行い、応急処置の総件数は41,250件で、傷病者1人に対して平均4.8種類の応急処置を行なったことになります。

救急隊員が行った応急処置のうち、救急救命士（除細動については、救急救命士以外の救急隊員を含む）が心肺停止状態又は重篤な傷病者に行う高度な応急処置（ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、ブドウ糖投与）の件数は376件となっています。

また、過去10年間の救急出動件数は、平成23年に初めて年間9,000件を上回り、それ以降毎年9,000件台で推移しています。

当消防本部の統計上最多の出動件数は平成29年の9,508件で、続いて平成27年の9,458件となっています。

限られた消防力の中で、最大限に効果を発揮できるよう救急体制の充実を図るとともに、救急車を適正に利用していただくための普及啓発に取り組んでまいります。

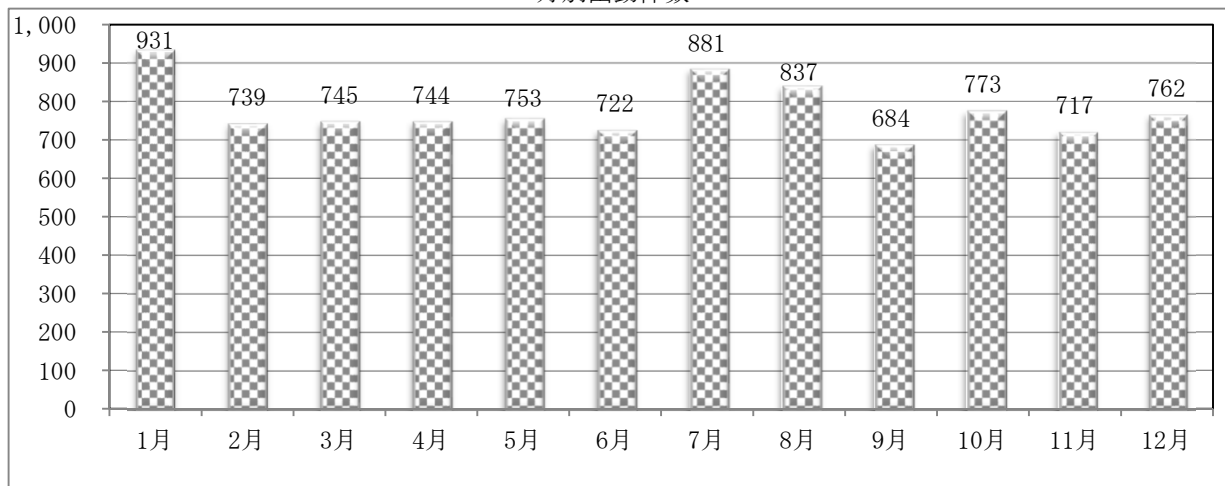


平成30年 月別救急出動状況

平成30年1月1日～平成30年12月31日

月 別	種 別 区 分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転院 搬送	医師 搬送	資器 搬送	その 他
1月	出動件数	931	7			48	5	2	124	3	11	571	139		5	16
	搬送件数	851				45	5	2	121	3	6	529	139		1	
	搬送人員	857				50	5	2	121	4	6	529	140			
2月	出動件数	739	6			31	3	1	86	1	6	467	128		1	9
	搬送件数	669				27	3	1	81	1	5	423	128			
	搬送人員	672				30	3	1	81	1	5	423	128			
3月	出動件数	745	2			45	5	3	72	3	6	490	107		3	9
	搬送件数	682				38	5	3	71	2	4	450	107		1	1
	搬送人員	691				48	5	3	71	2	4	450	107			1
4月	出動件数	744	8			49	2	4	94	2	10	456	115			4
	搬送件数	681	2			45	2	4	86	2	6	419	115			
	搬送人員	690	3			50	2	5	87	3	6	419	115			
5月	出動件数	753	5			44	4	7	81		4	462	137		2	7
	搬送件数	699				37	4	7	76		4	434	137			
	搬送人員	699				37	4	7	76		4	434	137			
6月	出動件数	722	2		1	26	4	6	76	3	8	441	139		2	14
	搬送件数	662	1			25	4	5	71	2	6	406	139			3
	搬送人員	670	1			31	4	6	71	2	6	406	139			4
7月	出動件数	881	3		2	53	11	14	95	1	7	540	138		5	12
	搬送件数	822	1		1	51	10	14	91		4	512	138			
	搬送人員	831	1		1	56	10	14	93		4	514	138			
8月	出動件数	837	4		1	53	10	8	82	5	8	527	125			14
	搬送件数	775	1			50	10	8	74	3	6	498	125			
	搬送人員	789	1			62	10	8	74	3	6	500	125			
9月	出動件数	684	4			41	4	4	74	1	1	437	107			11
	搬送件数	637				39	4	4	71			412	107			
	搬送人員	646				44	4	4	74			413	107			
10月	出動件数	773	7			52	10	6	100	3	3	457	125		2	8
	搬送件数	719				46	10	6	94	2	3	434	124			
	搬送人員	729				56	10	6	94	2	3	434	124			
11月	出動件数	717	6			41	7	3	99		4	434	108		5	10
	搬送件数	663				40	7	3	92		4	409	108			
	搬送人員	669				45	7	3	93		4	409	108			
12月	出動件数	762	7			53	5	4	87	5	10	474	111		2	4
	搬送件数	697	1			44	5	4	80	4	6	442	111			
	搬送人員	704	1			51	5	4	80	4	6	442	111			
累計	出動件数	9,288	61	0	4	536	70	62	1,070	27	78	5,756	1,479	0	27	118
	搬送件数	8,557	6	0	1	487	69	61	1,008	19	54	5,368	1,478	0	2	4
	搬送人員	8,647	7	0	1	560	69	63	1,015	21	54	5,373	1,479	0	0	5

月別出動件数



平成30年 救急隊別出動状況

平成30年1月1日～平成30年12月31日

救急隊別	種別 区分	合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ の 他			
		計	災	然 災 害	難	通	害	技	般 負 傷	害	損 行 為	病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 搬 送	そ の 他
古川1	出動件数	1,725	12		1	102	9	13	156	6	17	973	406		10	20
	搬送人員	1,582	1			96	9	14	148	5	15	887	405			2
古川2	出動件数	1,560	13		1	101	7	7	155	7	11	868	354		13	23
	搬送人員	1,423	1		1	112	7	6	144	6	8	783	354			1
志田	出動件数	870	1			40	10	11	107	2	10	544	139			6
	搬送人員	833				47	9	11	100	2	6	518	139			1
三本木	出動件数	516	5			44	4	1	68	4	6	319	52		4	9
	搬送人員	470				45	4	2	61	2	2	301	53			
田尻	出動件数	594				43	2	2	81		6	434	16			10
	搬送人員	552				42	2	2	74		2	413	16			1
鳴子	出動件数	472	3		1	12	7		76		4	309	54			6
	搬送人員	446	2			16	7		74		2	291	54			
岩出山	出動件数	601			1	31	5	4	78		7	407	56			12
	搬送人員	564				31	5	4	78		6	384	56			
加美	出動件数	961	15			58	9	9	109		5	586	158			12
	搬送人員	921	1			64	9	9	106		4	570	158			
西部	出動件数	489				18	5	1	59		2	333	69			2
	搬送人員	462				17	5	1	57		2	311	69			
遠田1	出動件数	1,217	12			66	10	11	143	6	6	808	143			12
	搬送人員	1,129	2			68	10	11	137	4	3	751	143			
遠田2	出動件数	277				19	2	3	36	2	4	173	32			6
	搬送人員	259				19	2	3	34	2	4	163	32			
その他	出動件数	6				2			2			2				
	搬送人員	6				3			2			1				
累計	出動件数	9,288	61		4	536	70	62	1,070	27	78	5,756	1,479		27	118
	搬送人員	8,647	7		1	560	69	63	1015	21	54	5,373	1,479			5

平成30年 出動先別救急出動状況

平成30年1月1日～平成30年12月31日

地域別	種別	合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	その他			
	区分	計	災	災	難	通	害	技	傷	害	損	病	転院搬送	医師搬送	資器搬送	その他
大崎市	出動件数	6,097	38		4	340	40	32	701	19	59	3,713	1,039		27	85
	搬送人員	5,634	5		1	355	39	32	661	15	39	3,444	1,039			4
色麻町	出動件数	343	3			21	4	6	26		1	187	92			3
	搬送人員	336				23	4	6	26		1	184	92			
加美町	出動件数	1,082	11			62	10	5	137		5	708	135			9
	搬送人員	1,027	1			66	10	5	132		5	673	135			
涌谷町	出動件数	776	6			38	3	8	82	5	7	484	133			10
	搬送人員	723	1			38	3	8	78	4	5	452	133			1
美里町	出動件数	958	3			63	13	11	122	3	6	648	80			9
	搬送人員	900				66	13	12	117	2	4	606	80			
高速道路	出動件数	30				11			2			16				1
	搬送人員	26				11			1			14				
管外	出動件数	2				1										1
	搬送人員	1				1										
累計	出動件数	9,288	61		4	536	70	62	1,070	27	78	5,756	1,479		27	118
	搬送人員	8,647	7		1	560	69	63	1,015	21	54	5,373	1,479			5

平成30年 傷病程度・年齢別搬送人員の状況

平成30年1月1日～平成30年12月31日

年 齢 区 分	年 齢 区 分 内 訳	種 別 区 分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新 生 児	生 後 2 8 日 未 満	死 亡	0											
		重 症	3											3
		中 等 症	27											27
		軽 症	6											6
		そ の 他	0											
		計	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36
乳 幼 児	2 8 日 ～ 6 歳	死 亡	0											
		重 症	14				2						2	10
		中 等 症	107				6			16			68	17
		軽 症	192	1			7			60			119	5
		そ の 他	0											
		計	313	1	0	0	15	0	0	76	0	0	189	32
少 年	7 歳 ～ 1 7 歳	死 亡	0											
		重 症	7						2				2	3
		中 等 症	101				8		19	8	1	1	52	12
		軽 症	158				35		23	21	1		74	4
		そ の 他	0											
		計	266	0	0	0	43	0	44	29	2	1	128	19
成 人	1 8 歳 ～ 6 4 歳	死 亡	33				2	3				8	19	1
		重 症	229	1			15	6	2	19		7	119	60
		中 等 症	1,290	2			118	26	6	99	8	20	779	232
		軽 症	966	1		1	209	17	9	107	8	11	568	35
		そ の 他	0											
		計	2,518	4	0	1	344	52	17	225	16	46	1,485	328
高 齢 者	6 5 歳 以 上	死 亡	149				2	1		16		3	126	1
		重 症	823				11	3		44		1	520	244
		中 等 症	3,214	1			71	10	2	376	1	2	2,002	749
		軽 症	1,328	1			74	3		249	2	1	923	75
		そ の 他	0											
		計	5,514	2	0	0	158	17	2	685	3	7	3,571	1,069
合 計		死 亡	182	0	0	0	4	4	0	16	0	11	145	2
		重 症	1,076	1	0	0	28	9	4	63	0	8	643	320
		中 等 症	4,739	3	0	0	203	36	27	499	10	23	2,901	1,037
		軽 症	2,650	3	0	1	325	20	32	437	11	12	1,684	125
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	8,647	7	0	1	560	69	63	1,015	21	54	5,373	1,484

平成30年 救急隊員が行った応急処置の状況（その１）

平成30年1月1日～平成30年12月31日

事故種別 傷病程度		応急処置 対応 象 急 人 員 置	止 血	固 定	人工呼吸	心 マ ッ サ ー ジ		心肺蘇生	うち自動		酸素吸入	気 道 確 保				保 温
						うち自動	うち自動		※ 1	※ 2		※ 3	※ 4			
急 病	死 亡	145			6			145	79	138	145	1	4	35		77
	重 症	643	1	5	11			68	30	341	162	6	1	20	3	227
	中等症	2,901	17	52	3					513	65	1	2			865
	軽 症	1,684	31	26	1					78	7					462
	その他															
	計	5,373	49	83	21	0	0	213	109	1,070	379	8	7	55	3	1,631
交 通 事 故	死 亡	4	1	3				4		4	4				1	1
	重 症	28	9	21	1			5		16	8			1		15
	中等症	203	28	162						19	1					63
	軽 症	325	25	190						5						72
	その他															
	計	560	63	376	1	0	0	9	0	44	13	0	0	1	1	151
一 般 負 傷	死 亡	16			2			16	9	16	16		5	2	2	8
	重 症	63	5	32	1			5	2	16	12		1	1		19
	中等症	499	63	171				1	1	31	8		6	1		129
	軽 症	436	107	80						5						86
	その他															
	計	1,014	175	283	3	0	0	22	12	68	36	0	12	4	2	242
そ の 他	死 亡	17		3				17	6	17	17			2		9
	重 症	342		15	4			3	2	134	19	1	1	1		148
	中等症	1,136	15	72						248	8					411
	軽 症	204	14	22						18	1					64
	その他															
	計	1,699	29	112	4	0	0	20	8	417	45	1	1	3	0	632
合 計	死 亡	182	1	6	8	0	0	182	94	175	182	1	9	39	3	95
	重 症	1,076	15	73	17	0	0	81	34	507	201	7	3	23	3	409
	中等症	4,739	123	457	3	0	0	1	1	811	82	1	8	1	0	1,468
	軽 症	2,649	177	318	1	0	0	0	0	106	8	0	0	0	0	684
	計	8,646	316	854	29	0	0	264	129	1,599	473	9	20	63	6	2,656
気道確保																
※ 1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保																
※ 2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去																
※ 3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用して施した気道確保																
※ 4 救急救命士が気管挿管により施した気道確保																

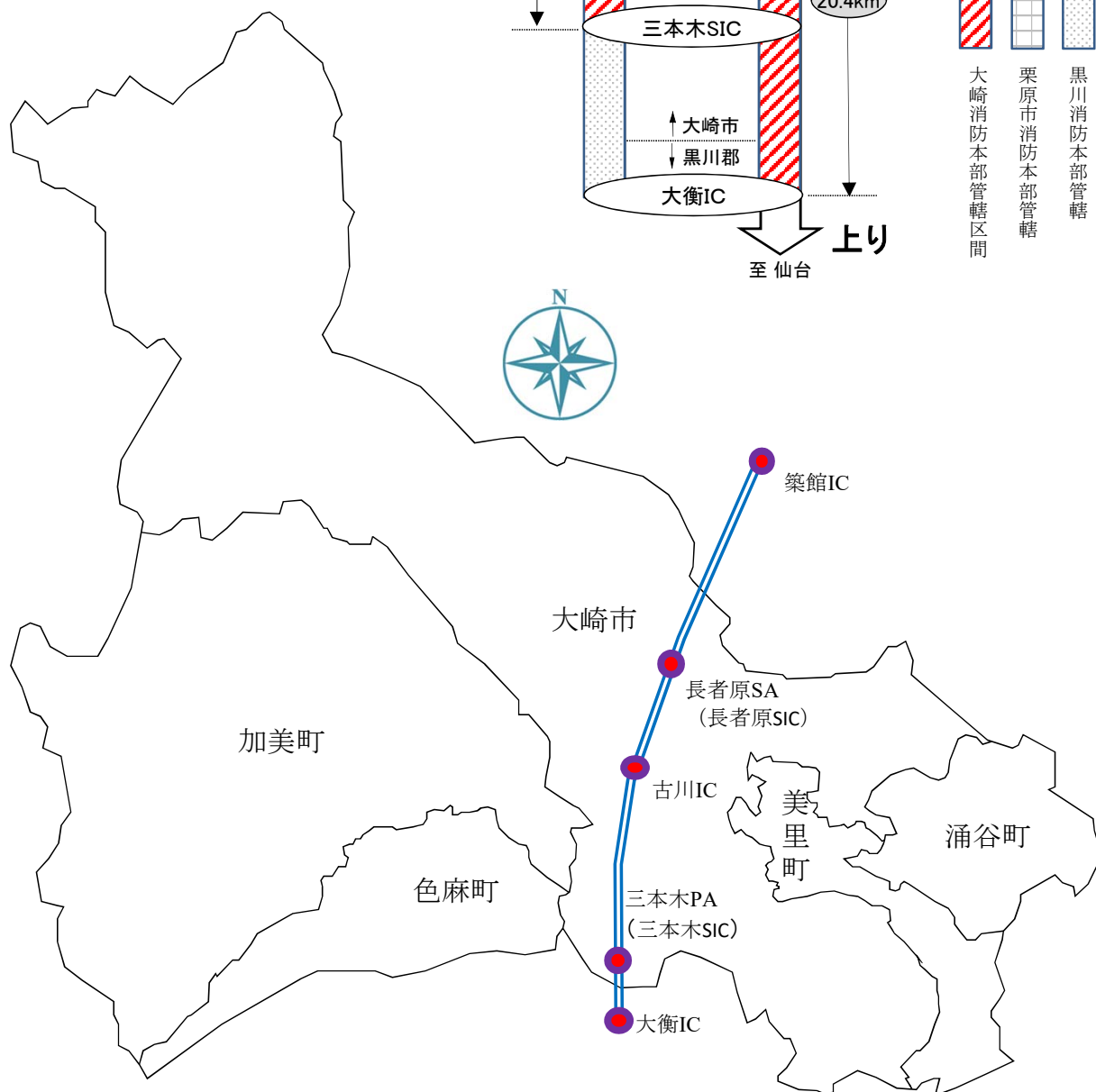
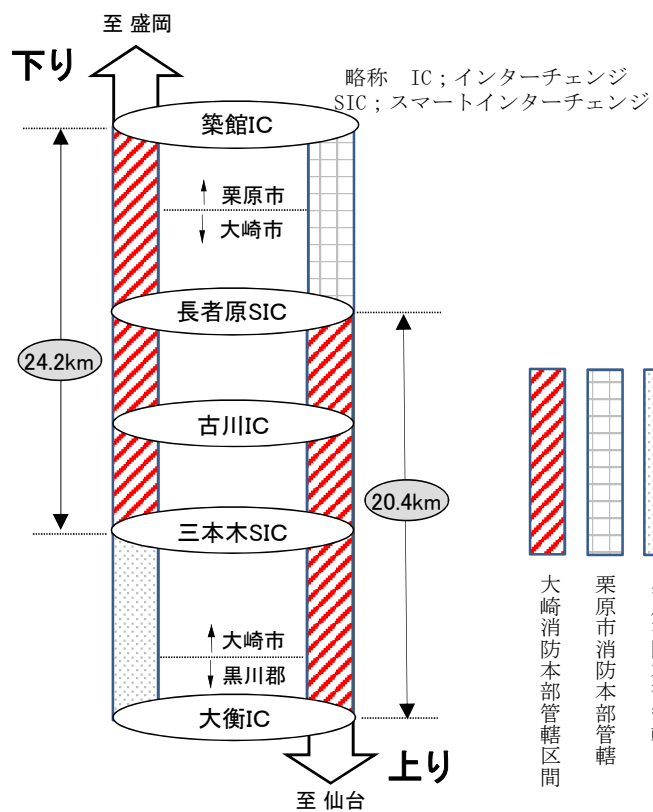
平成30年 救急隊員が行った応急処置の状況（その2）

平成30年1月1日～平成30年12月31日

応急処置 事故種別 傷病程度		被 覆	在宅療法継続			S Pによる 血圧保持	除 細動	静 脈 路 確 保 ・ C P A 前	静 脈 路 確 保 ・ C P A 後	薬 剤 投 与	ブ ド ウ 糖 投 与	そ の 他 の 応 急 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 聴 取	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	血 糖 測 定	心 電 図	心 電 図 伝 送	計	
			※A	※B	※C															
急 病	死 亡	1	1			1		6	1	69	29		108	9	132	16		137		1,020
	重 症	3	16		2	14		14	22	46	23	2	619	590	372	594	44	591	72	3,823
	中 等 症	14	37		8	29			29			13	2,872	2,856	1,261	2,895	69	2,254	183	13,998
	軽 症	6	8		1	7			6			6	1,665	1,597	554	1,679	17	1,035	45	7,223
	その他																			0
	計	24	62	0	11	51	0	20	58	115	52	21	5,264	5,052	2,319	5,184	130	4,017	300	26,064
交 通 事 故	死 亡									1	1		3	1	4	1		4		32
	重 症	6							3	2	2		25	24	20	26		28		211
	中 等 症	35											195	197	110	200	1	112	3	1,126
	軽 症	44											303	317	146	323		69		1,494
	その他																			0
	計	85	0	0	0	0	0	0	3	3	3	0	526	539	280	550	1	213	3	2,863
一 般 負 傷	死 亡									5			14		16			15		108
	重 症	7							2	5	3		63	58	29	57		37		351
	中 等 症	64	1			1				1	1		488	487	158	497	1	201		2,302
	軽 症	99	1			1							419	392	116	430		107		1,842
	その他																			0
	計	170	2	0	0	2	0	0	2	11	4	0	984	937	319	984	1	360	0	4,603
そ の 他	死 亡							2		7	2		13	1	15	2		15		120
	重 症	3	1		1				2	1			330	333	113	339	1	230	28	1,704
	中 等 症	19							1				1,096	1,096	293	1,127		614	45	5,045
	軽 症	8											194	194	41	201		86	8	851
	その他																			0
	計	30	1	0	1	0	0	2	3	8	2	0	1,633	1,624	462	1,669	1	945	81	7,720
合 計	死 亡	1	1	0	0	1	0	8	1	82	32	0	138	11	167	19	0	171	0	1,280
	重 症	19	17	0	3	14	0	14	29	54	28	2	1,037	1,005	534	1,016	45	886	100	6,089
	中 等 症	132	38	0	8	30	0	0	30	1	1	13	4,651	4,636	1,822	4,719	71	3,181	231	22,471
	軽 症	157	9	0	1	8	0	0	6	0	0	6	2,581	2,500	857	2,633	17	1,297	53	11,410
		309	65	0	12	53	0	22	66	137	61	21	8,407	8,152	3,380	8,387	133	5,535	384	41,250
1 在宅療法 ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの ※B 気道切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの																				
2 計欄については、(その1)止血から(その2)心電図伝送までの集計である。																				

東北自動車道における救急出動件数・搬送人員（過去5年間）

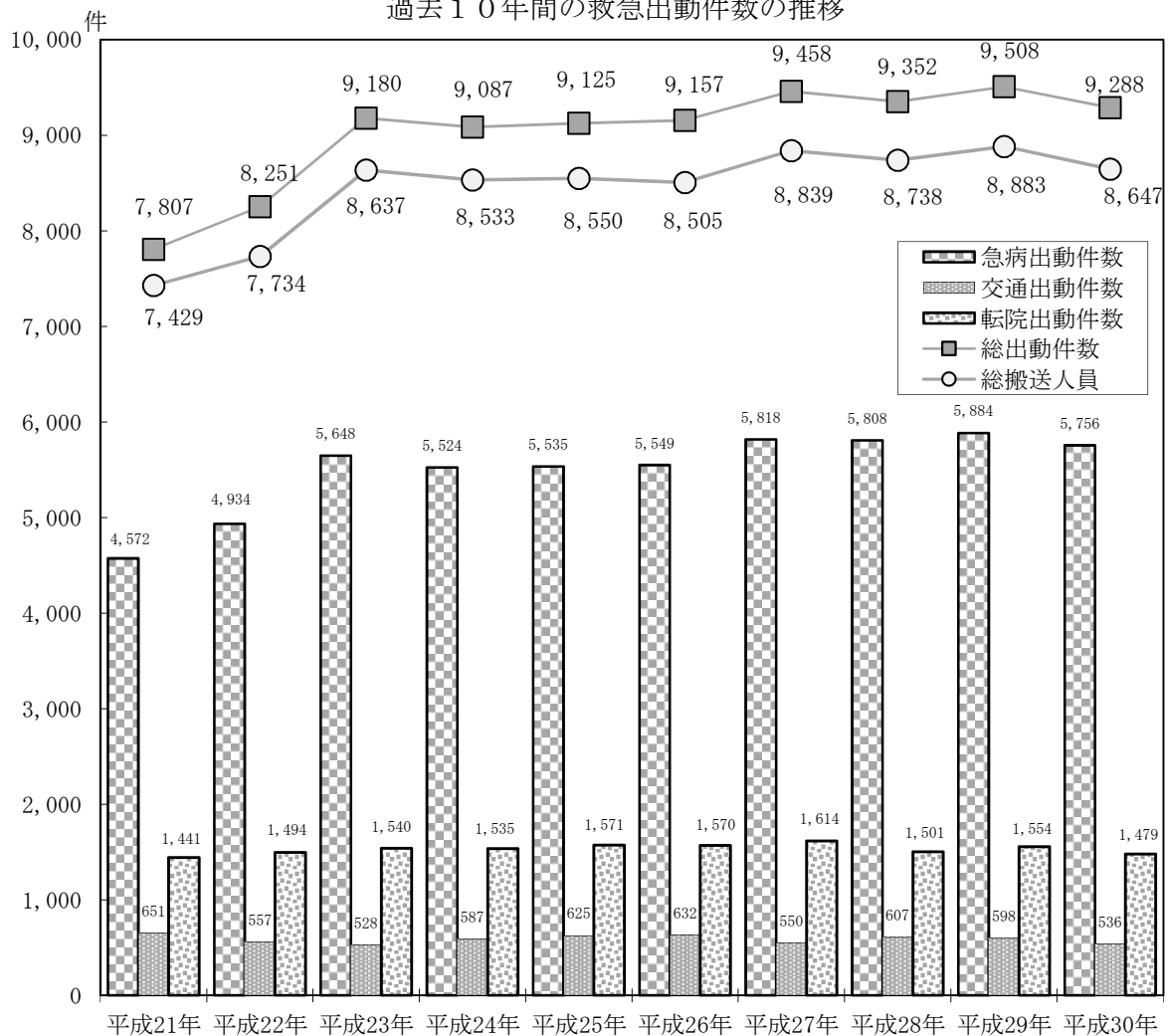
年	区 分	計	事 故 種 別		
			交 通	急 病	そ の 他
26	出動件数	32	18	7	7
	搬送人員	23	16	7	0
	不搬送	12	5	0	7
27	出動件数	32	13	12	7
	搬送人員	28	14	12	2
	不搬送	8	3	0	5
28	出動件数	31	19	6	6
	搬送人員	32	25	6	1
	不搬送	0	0	0	0
29	出動件数	26	13	9	4
	搬送人員	20	12	8	0
	不搬送	7	4	1	2
30	出動件数	30	11	16	3
	搬送人員	26	11	14	1
	不搬送	7	3	2	2



過去5年間の発生場所別救急出動件数

年 別 市町別	26	27	28	29	30
大崎市	6,008	6,189	6,133	6,328	6,097
色麻町	309	351	348	349	343
加美町	1,043	1,112	1,075	1,097	1,082
涌谷町	807	796	796	757	776
美里町	957	974	969	946	958
高速道路	32	32	31	26	30
管外	1	4	0	5	2
計	9,157	9,458	9,352	9,508	9,288

過去10年間の救急出動件数の推移



平成30年 事故種別医療機関別搬送人員

(上段・本年搬送人員 下段・前年搬送人員)

種 別 地 域		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他	
搬送人員		7	0	1	560	69	63	1,015	21	54	5,373	1,479	0	0	5	8,647
		11	0	2	639	79	61	934	21	58	5,518	1,551	0	0	9	8,883
管内	大崎市	4	0	1	454	58	40	837	19	48	4,447	1,160	0	0	4	7,072
		10	0	2	538	72	43	797	16	50	4,567	1,191	0	0	9	7,295
	加美郡	1	0	0	25	5	7	55	1	3	269	20	0	0	0	386
		1	0	0	25	2	5	43	2	3	290	21	0	0	0	392
	遠田郡	1	0	0	53	5	13	87	1	1	406	23	0	0	1	591
		0	0	0	56	3	7	60	2	4	437	39	0	0	0	608
大崎管内		6	0	1	532	68	60	979	21	52	5,122	1,203	0	0	5	8,049
		11	0	2	619	77	55	900	20	57	5,294	1,251	0	0	9	8,295
管外	仙台市	1	0	0	5	1	1	10	0	1	96	117	0	0	0	232
		0	0	0	8	1	1	8	0	1	81	155	0	0	0	255
	石巻市	0	0	0	12	0	1	13	0	1	85	82	0	0	0	194
		0	0	0	7	1	2	17	1	0	69	64	0	0	0	161
	塩竈市	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	4	0	0	0	10
		0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	6	0	0	0	12
	多賀城市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	黒川郡	0	0	0	4	0	1	8	0	0	14	11	0	0	0	38
		0	0	0	1	0	0	6	0	0	12	7	0	0	0	26
	栗原市	0	0	0	6	0	0	1	0	0	14	13	0	0	0	34
		0	0	0	1	0	2	1	0	0	15	24	0	0	0	43
	東松島市	0	0	0	1	0	0	2	0	0	31	32	0	0	0	66
		0	0	0	1	0	0	1	0	0	30	25	0	0	0	57
	登米市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13	0	0	0	15
		0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	11	0	0	0	14
	宮城郡	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	柴田郡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
		0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	6	0	0	0	11
	県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	3
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	8
大崎管外		1	0	0	28	1	3	36	0	2	251	276	0	0	0	598
		0	0	0	20	2	6	34	1	1	224	300	0	0	0	588

応急手当講習会等の現況

平成30年中における一般住民を対象とした応急手当講習会等の受講者数は、普通救命講習会150回2,951人、上級救命講習会7回141人、普及員講習2回13人、救命入門コース9回243人、応急手当講習会192回5,037人で、合計8,385人でした。

また、普通救命講習、上級救命講習、普及員講習会、救命入門コースの受講者には、それぞれ修了証等を交付しています。

これら講習会の効果もあり、平成30年中では救急隊が傷病者のもとに到着するまでの間、傷病者の近くにいた家族等の一般住民による応急手当が464件実施されています。



応急手当講習会等の開催状況

1. 講習会別開催状況

平成30年1月1日～平成30年12月31日

種 別	開催回数	受講者数	内 容
普通救命講習会	150回	2,951人	心肺蘇生法（成人）・大出血時の止血等の講習 （講習時間 3 時間）
上級救命講習会	7回	141人	心肺蘇生法（成人・小児・乳児）・大出血時の止血・ 傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習 （講習時間 8 時間）
普及員講習会	2回	13人	事業所・地域団体等の従業員に対して普通救命講習を 指導できるための講習 （講習時間 2 4 時間）
救命入門コース	9回	243人	対象者は小学生中高学年以上（概ね10歳以上）とし、 カリキュラムは胸骨圧迫とAEDの使用法
応急手当講習会	192回	5,037人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの 簡単な応急手当の講習
合 計	360回	8,385人	

2. 講習会ごと性別及び年代別受講者数

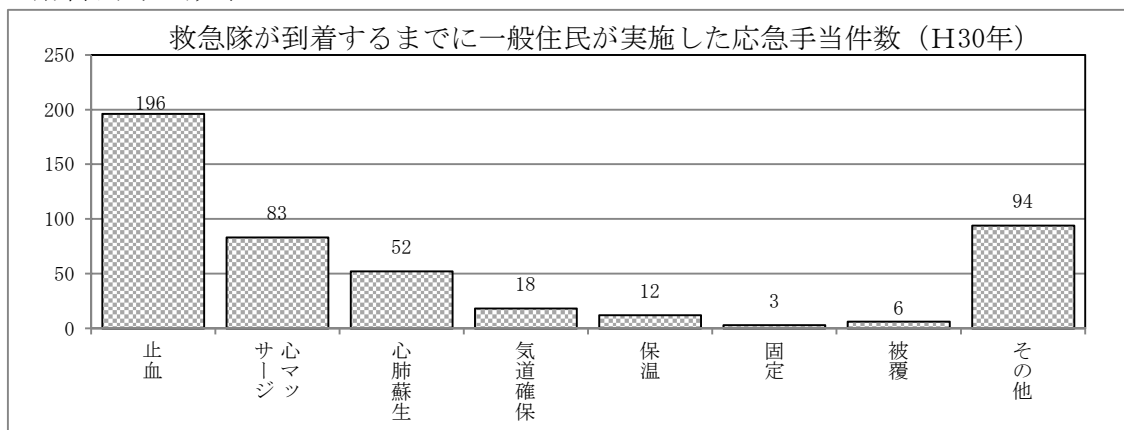
平成30年1月1日～平成30年12月31日

講習種別	年代 性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計
普通救命講習	男性（人）	810	103	103	153	106	116	48	6	1,445
	女性（人）	654	103	148	170	182	204	43	2	1,506
	合計（人）	1,464	206	251	323	288	320	91	8	2,951
上級救命講習	男性（人）	19	1	7	6	4	8	2	0	47
	女性（人）	56	5	5	7	6	13	2	0	94
	合計（人）	75	6	12	13	10	21	4	0	141
普及員講習	男性（人）	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	女性（人）	0	2	5	3	1	0	0	0	11
	合計（人）	0	3	5	3	2	0	0	0	13
救命入門コース	男性（人）	125								125
	女性（人）	118								118
	合計（人）	243	0	0	0	0	0	0	0	243
合 計	男性（人）	954	105	110	159	111	124	50	6	1,619
	女性（人）	828	110	158	180	189	217	45	2	1,729
	合計（人）	1,782	215	268	339	300	341	95	8	3,348

3. 講習会ごとと年別受講者数

講習種別	年 別	回 数 (回)	性 別		合 計
			男性 (人)	女性 (人)	
普通救命講習	平成9年～平成20年	1,451	15,383	16,983	32,366
	平成21年	176	1,720	1,785	3,505
	平成22年	165	1,728	1,605	3,333
	平成23年	133	1,257	1,026	2,283
	平成24年	152	1,455	1,508	2,963
	平成25年	194	2,034	1,965	3,999
	平成26年	172	1,753	1,772	3,525
	平成27年	173	1,556	1,664	3,220
	平成28年	146	1,380	1,270	2,650
	平成29年	185	1,978	1,632	3,610
	平成30年	150	1,445	1,506	2,951
小 計		3,097	31,689	32,716	64,405
上級救命講習	平成11年～平成20年	55	576	1,209	1,785
	平成21年	8	87	185	272
	平成22年	7	68	132	200
	平成23年	8	97	82	179
	平成24年	7	54	123	177
	平成25年	5	77	64	141
	平成26年	6	47	100	147
	平成27年	7	56	96	152
	平成28年	8	88	113	201
	平成29年	6	76	92	168
	平成30年	7	47	94	141
小 計		124	1,273	2,290	3,563
普及員講習	平成12年～平成20年	11	120	188	308
	平成21年	1	9	8	17
	平成22年	2	7	16	23
	平成23年	1	3	3	6
	平成24年	3	8	10	18
	平成25年	1	3	3	6
	平成26年	1	3	6	9
	平成27年	2	17	2	19
	平成28年	1	5	2	7
	平成29年	1	6	2	8
	平成30年	2	2	11	13
小 計		26	183	251	434
救急入門コース	平成24年	1	64	71	135
	平成25年	3	52	66	118
	平成26年	8	120	143	263
	平成27年	6	125	113	238
	平成28年	9	147	170	317
	平成29年	11	206	177	383
	平成30年	9	125	118	243
小 計		47	839	858	1,697
合 計		3,294	33,984	36,115	70,099

4. 講習会等の効果



救助業務の現況

平成30年中における救助出動件数は48件で前年より15件減少し、過去5年間で最も少ない発生件数となっています。救助人員は37人で前年より4人減少しました。

事故種別では、交通事故が30件と出動件数全体の62.5%を占め、また交通事故による救助人員も24人と救助人員全体の64.9%を占めており、いずれも高い割合となっています。

近年の救助事象は、全国的に火災、交通事故等に加え、地震、集中豪雨による洪水や土砂崩れといった自然災害、列車事故など多数の人命を巻き込む集団災害、毒物・劇物による化学災害等、大規模かつ複雑多様化しており、活動は幅広い範囲に及んでいます。

このことから、高度な知識、技術を習得した専門的な救助隊員を養成し、機動力、資機材等を効率的に活用し、住民に安心を提供できるよう、更なる救助体制の充実強化に努めてまいります。

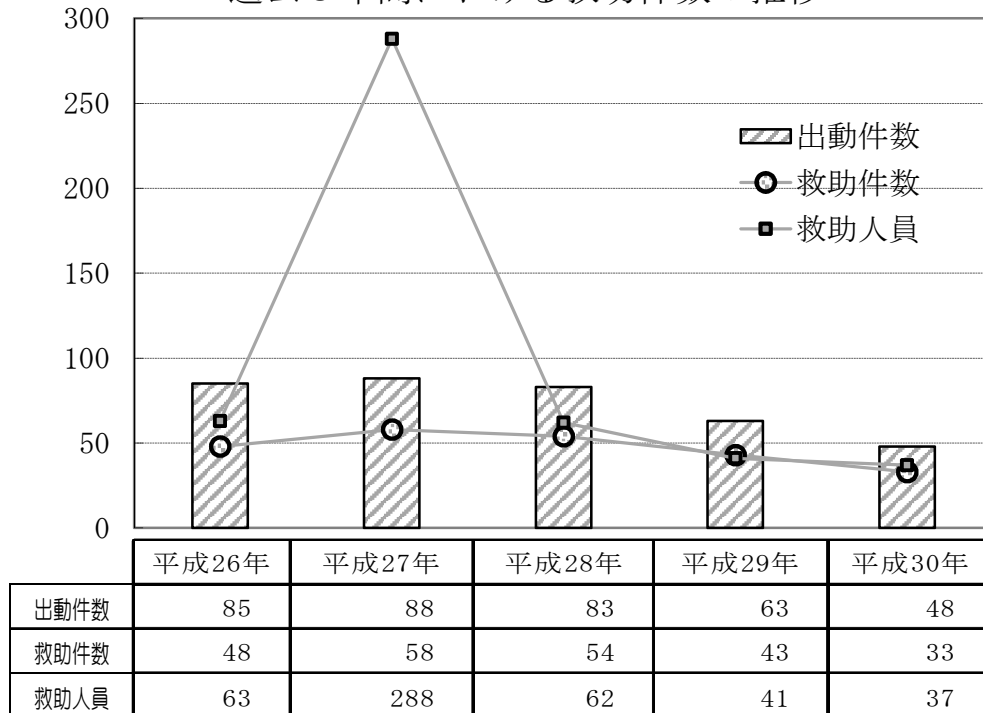


平成30年 救助活動状況

平成30年1月1日～平成30年12月31日

区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	自然風水災害等	機械による事故	建物等による事故	酸ガス欠事及び	破裂事故	その他事故	計
		建物	建物以外									
	出動件数			30	4		3	1			10	48
	活動件数			21	2		2	1			7	33
	救助人員			24	2		2	1			8	37
出動人員	専任救助隊員											0
	兼任救助隊員			129	18		18	7			63	235
	消防隊員			207	28		22	6			97	360
	救急隊員			114	12		9	3			30	168
	消防団員											
	計	0	0	450	58	0	49	16	0	0	190	763
出動車両	救助工作車			10	3		2	1			5	21
	消防ポンプ自動車			50	6		6	2			21	85
	はしご車										1	1
	化学車			3								3
	指揮・司令車			37	6		5	1			18	67
	救急自動車			38	4		3	1			10	56
	船舶											0
	ヘリコプター											0
	その他の車両				1						2	3
	消防団車両											0
	計	0	0	138	20	0	16	5	0	0	57	236
事故発生場所	住居											0
	その他の屋内										1	1
	高速自動車国道等											0
	その他の道路			21								21
	内水面				4						2	6
	外水面											0
	山岳										2	2
	その他の屋外			9			3	1			5	18
	地下											0
	計	0	0	30	4	0	3	1	0	0	10	48
搬送別人員	救急自動車			19			1				4	24
	ヘリコプター											0
	その他の車両											0
	消防機関以外										1	1

過去5年間に於ける救助件数の推移



消防装備等機械器具保有状況

平成31年4月1日現在

区分	装備名	数量	区分	装備名	数量
一般救助用器具	かぎ付き梯子	6	主な資機材	携帯警報機	5
	バスケットストレッチャ(折り畳み式含む)	5		活線警報機	4
	三連梯子(二連梯子除く)	13		空気充填機	3
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤ梯子	2		オイルフェンス	3
	空気式救助マット(救助幕含む)	1		携帯無線機	51
	救命索発射銃	2		衛星携帯電話	12
	救助用縛帯(訓練用、ヘリ用縛帯を除く)	7	測定器具	可燃性ガス測定器	5
	平担架	1		有毒ガス測定器	4
	滑車(山岳救助用除く)	20		酸素濃度測定器	3
	サバイバースリング	6		放射線測定器	23
重量物排除器具	油圧ジャッキ	2	高度救助資器材	画像探査機Ⅰ型	1
	油圧スプレッダー(大型,コンビツール含む)	7		画像探査機Ⅱ型	1
	可搬式ウィンチ(チルホール)	10		地中音響探査機	1
	マット型空気圧ジャッキ	2		熱画像直視装置	6
	充電式油圧切断機マルチカッター	2		夜間用暗視装置	1
	充電式油圧切断機スプレッダー	2	呼吸器具保護	空気呼吸器(訓練用を除く)	72
	充電式油圧切断機バー(鉄筋)カッター	1		酸素呼吸器	4
切断用器具	油圧切断機(大型,コンビツール含む)	8	隊員保護器具	送排風機	4
	エンジンカッター	15		耐電手袋(耐電検査合格品のみ)	16
	ガス溶断機	1		耐電衣(耐電検査合格品のみ)	5
	チェンソー(ダイヤモンドその他含む)	16		耐電ズボン(耐電検査合格品のみ)	5
	鉄線カッター	20		耐電長靴(耐電検査合格品のみ)	14
	空気鋸	2		耐熱服(化学車配備署所に限る)	9
破壊用器具	万能斧(レスキューバール含む)	45	水難救助器具	放射線防護服(タイベックススーツ除く)	5
	ハンマー	20		潜水器具一式	5
	削岩機	1		救命胴衣(使用可能なもの)	76
	ハンマードリル(ストライカー含む)	3		水中投光器	3
山岳用	登山器具一式	5		救命浮環	21
	バスケット担架	3		浮標	1
主な資機材	エアーカッター	1		救命ボート(その他アルミボート等含む)	8
	小型動力ポンプ B-2級(水槽車含む)	3		船外機	4
	小型動力ポンプ B-3級(水槽車含む)	0	高度救急資器材等	気道確保用資器材一式	13
	フォグガン(クアドラノズル含む)	16		自動体外式除細動器(半自動含)	28
	無反動ノズル	5		ショックパンツ	13
	放水銃	2		輸液用資器材一式	13
	低発泡ノズル	4		心電図電送装置	13
	発動発電機 300W	1		患者監視装置(救急車積載品に限る)	13
	発動発電機 400W	0		室内紫外線除菌装置	4
	発動発電機 500W～900W	25		EOG方式滅菌器	1
	発動発電機 1KW(エアーテント用含む)	8		オートクレープ滅菌器(高圧蒸気)	4
	エアーテント	7		紫外線滅菌ロッカー	3

防 予

令和元年度 大崎広域防火ポスター



平成三十年度防火ポスターコンクール最優秀賞
美里町立北浦小学校 3年 本田 紗月さんの作品

令和元年度 大崎広域防火標語

声出して 知ろう知らせよう 火の怖さ

平成30年度防火標語コンクール最優秀賞

大崎市立古川南中学校 1年 佐々木 叶羽さんの作品

予防業務の現況

防火対象物数は平成31年3月31日現在、6,959件（前年比52件増）で、昨年度に引き続き増加となりました。この要因の主なものは、「共同住宅」や「倉庫」、また「事業所」といった建物の増加によるものです。（図1参照）

危険物施設数は平成31年3月31日現在、873件（前年比13件減）で、過去5年の件数は減少傾向にあります。この背景には、社会構造的な要因による石油製品需要の減少、その他同業者間の価格競争による採算性の悪化などが要因の一つとして推測されます。（図2参照）



さて、平成24年5月に広島県福山市で発生したホテル火災や平成25年2月に長崎市で発生した認知症高齢者グループホーム火災などを受け、国が行った調査結果等において、違反のある防火対象物が数多く存在していることが判明しました。

このことから、総務省消防庁では「違反対象物に係る公表制度の実施について」を通知し、建物の利用者が自ら火災危険性に関する情報を入手し、安心して建物を利用することができるよう、消防署等が保有する建物の火災危険性に関する情報をホームページで公表するように制度化を行いました。

当地域でも、平成30年4月から違反対象物の公表がスタートしましたので、防火対象物の安全対策を積極的に推進してまいります。また、平成28年12月に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災を契機に、小規模飲食店への消火器の設置が義務付けとなりました。令和元年10月から施行となりますので、引き続き設置の推進に向けて取り組んでまいります。

図1 大崎管内の防火対象物数の推移

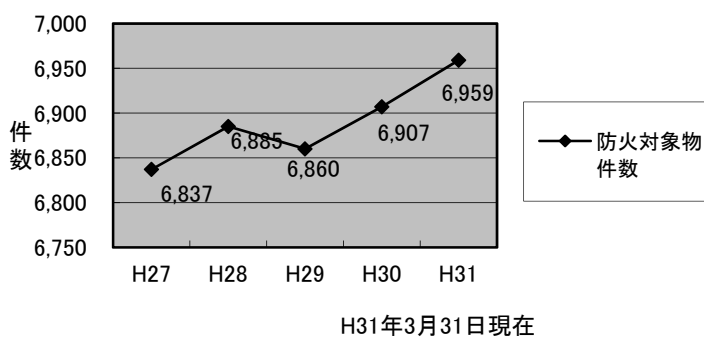
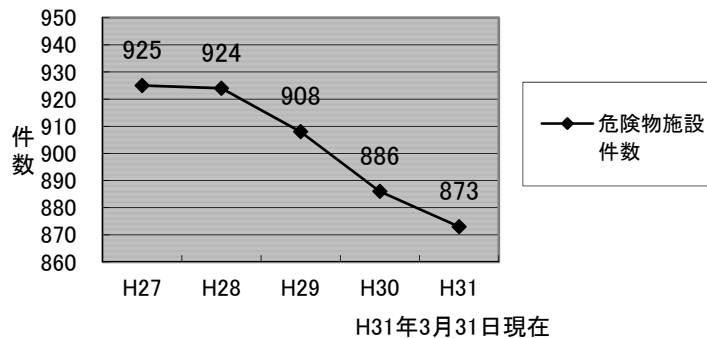


図2 大崎管内の危険物施設数の推移



防火対象物数

平成31年3月31日現在

署 別 市町別 防火対象物区分			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合
			大 崎 市			加 美 町	色 麻 町		涌 谷 町	美 里 町		計
1項	イ	劇場・映画館等	9	1	10	5		5	1	3	4	19
	ロ	公会堂・集会場	104	16	120	33	16	49	20	28	48	217
2項	イ	バー・キャバレー等	1		1			0			0	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16		16	3		3	3	4	7	26
	ハ	性風俗関連特殊営業店 舗			0			0			0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	5		5			0			0	5
3項	イ	待合・料理店等	3		3			0			0	3
	ロ	飲食店	104	17	121	18	3	21	9	11	20	162
4項		百貨店 マーケット等	247	30	277	42	5	47	23	29	52	376
5項	イ	旅館・ホテル等	34	78	112	10	1	11		3	3	126
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,069	76	1,145	84	25	109	36	94	130	1,384
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する 等の病院	4	1	5		1	1	1	2	3	9
		(2) 特定診療科名を有する 等の診療所	1		1			0			0	1
		(3) (1), (2)を除く病院・診療 所, 助産所（入所）等	17	3	20			0	3		3	23
		(4) 入院・入所施設を有しない 診療所・助産所	54	3	57	14		14	5	13	18	89
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	62	10	72	10	3	13	11	25	36	121
		(2) 救護施設			0			0			0	0
		(3) 乳児院			0			0			0	0
		(4) 障害児入所施設			0			0			0	0
		(5) 障害者支援施設等	7		7			0	2	1	3	10
	ハ	(1) 老人デイサービス等	35	4	39	7	2	9	6	5	11	59
		(2) 更生施設			0			0			0	0
		(3) 助産施設等	39	7	46	8	2	10	1	4	5	61
		(4) 児童発達支援センター 等	1	1	2	2		2			0	4
		(5) 身体障害者福祉セン ター等	20	8	28	3	1	4	3	3	6	38
	ニ	幼稚園・特別支援学校	25	1	26	4	2	6	4	7	11	43
7項		小・中・高、大学等	140	24	164	36	13	49	19	54	73	286
8項		図書館・美術館等	7	4	11	5		5	3	1	4	20
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
	ロ	9項イ以外の公衆浴 場	4	4	8	3	2	5	1		1	14
10項		車両の停車場等	1		1			0		2	2	3
11項		神社・寺院・教会等	62	10	72	15	4	19	7	17	24	115
12項	イ	工場・作業場	467	82	549	199	44	243	91	135	226	1,018
	ロ	映画・テレビスタジオ			0			0			0	0
13項	イ	自動車庫庫・駐車場	37	27	64	17	8	25	6	7	13	102
	ロ	飛行機等格納庫			0			0			0	0
14項		倉庫	357	77	434	188	38	226	56	117	173	833
15項		前各項に該当しない事 業所	626	215	841	192	85	277	91	102	193	1,311
16項	イ	特定用途複合用途防火 対象物	198	33	231	29	5	34	21	24	45	310
	ロ	16項イ以外の複合対象 物	69	22	91	16	1	17	9	19	28	136
17項		文化財等	4	4	8	4		4	22		22	34
合計			3,829	758	4,587	947	261	1,208	454	710	1,164	6,959

地上５階未満，地上５階以上の防火対象物数

平成３１年３月３１日現在

署 別 区 分 防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			各消防署		
			地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	小 計	地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	小 計	地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	小 計	地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	小 計	地上 ５ 階 未 満	地上 ５ 階 以 上	合 計
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	1		1	5		5	4		4	19	0	19
	ロ	公会堂・集会場	104		104	16		16	49		49	48		48	217	0	217
2項	イ	バー・キャバレー等	1		1			0			0	0		0	1	0	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	16		16			0	3		3	7		7	26	0	26
	ハ	性風俗関連特殊営業店 舗			0			0			0			0	0	0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	5		5			0			0			0	5	0	5
3項	イ	待合・料理店等	3		3			0			0			0	3	0	3
	ロ	飲食店	104		104	17		17	21		21	20		20	162	0	162
4項		百貨店 マーケット等	247		247	30		30	47		47	52		52	376	0	376
5項	イ	旅館・ホテル等	28	6	34	66	12	78	11		11	3		3	108	18	126
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,034	35	1,069	72	4	76	107	2	109	126	4	130	1,339	45	1,384
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する 等の病院	2	2	4	1		1	1		1	3		3	7	2	9
		(2) 特定診療科名を有する 等の診療所	1		1			0			0			0	1	0	1
		(3) (1)。(2)を除く病院・診療所、 助産所（入所）等	14	3	17	3		3			0	3		3	20	3	23
		(4) 入院・入所施設を有しない診療 所・助産所	54		54	3		3	14		14	18		18	89	0	89
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	60	2	62	10		10	13		13	36		36	119	2	121
		(2) 救護施設			0			0			0			0	0	0	0
		(3) 乳児院			0			0			0			0	0	0	0
		(4) 障害児入所施設			0			0			0			0	0	0	0
		(5) 障害者支援施設等	7		7			0			0	3		3	10	0	10
	ハ	(1) 老人デイサービス等	35		35	4		4	9		9	11		11	59	0	59
		(2) 更生施設			0			0			0			0	0	0	0
		(3) 助産施設等	39		39	7		7	10		10	5		5	61	0	61
		(4) 児童発達支援センター 等	1		1	1		1	2		2			0	4	0	4
		(5) 身体障害者福祉セン ター等	20		20	8		8	4		4	6		6	38	0	38
	ニ	幼稚園・特別支援学校	25		25	1		1	6		6	11		11	43	0	43
7項		小・中・高、大学等	139	1	140	24		24	49		49	73		73	285	1	286
8項		図書館・美術館等	7		7	4		4	5		5	4		4	20	0	20
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0			0	0	0	0
	ロ	9項イ以外の公衆浴 場	4		4	4		4	5		5	1		1	14	0	14
10項		車両の停車場等	1		1			0			0	2		2	3	0	3
11項		神社・寺院・教会等	62		62	10		10	19		19	24		24	115	0	115
12項	イ	工場・作業場	467		467	82		82	243		243	224	2	226	1,016	2	1,018
	ロ	映画・テレビスタジオ			0			0			0			0	0	0	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	36	1	37	27		27	25		25	13		13	101	1	102
	ロ	飛行機等格納庫			0			0			0			0	0	0	0
14項		倉庫	356	1	357	77		77	226		226	173		173	832	1	833
15項		前各項に該当しない事 業所	613	13	626	214	1	215	277		277	192	1	193	1,296	15	1,311
16項	イ	特定用途複合用途防火 対象物	192	6	198	33		33	34		34	45		45	304	6	310
	ロ	16項イ以外の複合対象 物	62	7	69	22		22	17		17	27	1	28	128	8	136
17項		文化財等	4		4	4		4	4		4	22		22	34	0	34
合計			3,752	77	3,829	741	17	758	1,206	2	1,208	1,156	8	1,164	6,855	104	6,959

※地上５階未満は，地下のみを含む。

防火対象物における防火管理の状況

平成31年3月31日現在

署 別 分 防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合 計		
			法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数
1項	イ	劇場・映画館等	10	10	10				4	4	4	4	4	4	18	18	18
	ロ	公会堂・集会場	130	119	119	17	16	16	51	48	48	49	49	49	247	232	232
2項	イ	バー・キャバレー等	1	1	1										1	1	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14	14	14				3	3	3	7	7	7	24	24	24
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗													0	0	0
	ニ	個室利用役務提供店舗	5	4	4										5	4	4
3項	イ	待合・料理店等	3	3	3										3	3	3
	ロ	飲食店	105	80	80	13	12	12	18	18	18	19	19	19	155	129	129
4項		百貨店 マーケット等	183	160	160	25	25	24	38	37	37	47	45	45	293	267	266
5項	イ	旅館・ホテル等	18	18	18	57	57	56	4	4	4	2	2	2	81	81	80
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	40	36	36	3	2	2	6	6	6	11	11	11	60	55	55
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	4	4	4							3	3	3	7	7	7
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1	1	1										1	1	1
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所(入所)等	14	14	14	1	1	1				2	2	2	17	17	17
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	17	15	15				3	3	3	4	4	4	24	22	22
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	50	49	49	8	8	8	9	9	9	32	32	32	99	98	98
		(2) 救護施設													0	0	0
		(3) 乳児院													0	0	0
		(4) 障害児入所施設													0	0	0
		(5) 障害者支援施設等										2	2	2	2	2	2
	ハ	(1) 老人デイサービス等	13	13	13	1	1	1	6	6	6	5	5	5	25	25	25
		(2) 更生施設													0	0	0
		(3) 助産施設等	35	33	33	6	6	6	7	7	7	4	4	4	52	50	50
		(4) 児童発達支援センター等	1	1	1										1	1	1
		(5) 身体障害者福祉センター等	8	8	7	3	3	3	2	2	2	3	3	3	16	16	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	12	12	12	1	1	1	5	5	5	6	6	6	24	24	24
7項		小・中・高、大学等	42	42	42	7	7	7	15	15	15	19	19	19	83	83	83
8項		図書館・美術館等	5	5	5	4	4	4	5	5	5	3	3	3	17	17	17
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等													0	0	0
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	6	6	6
10項		車両の停車場等													0	0	0
11項		神社・寺院・教会等	35	26	25	7	7	7	12	12	12	18	18	18	72	63	62
12項	イ	工場・作業場	41	41	41	3	3	3	18	18	18	14	13	13	76	75	75
	ロ	映画・テレビスタジオ													0	0	0
13項	イ	自動車車庫・駐車場													0	0	0
	ロ	飛行機等格納庫													0	0	0
14項		倉庫	2	1	1							3	3	3	5	4	4
15項		前各項に該当しない事業所	109	98	98	12	12	12	31	31	31	28	28	28	180	169	169
16項	イ	特定用途複合用途 防火対象物	158	132	132	31	31	31	32	32	32	32	32	32	253	227	227
	ロ	16項イ以外の複合 対象物	8	6	6	2	2	2	2	2	2	1	1	1	13	11	11
17項		文化財等	1	1	1										1	1	1
合計			1,067	949	947	203	200	198	272	268	268	319	316	316	1,861	1,733	1,729
届出比率%				1	1		1	1		1	1		1	1		1	1

定期点検報告制度該当防火対象物数

平成31年3月31日現在

署 別 市町別			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合 計
			大 崎 市			加 美 町	色 麻 町		涌 谷 町	美 里 町		
防火対象物区分												
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	4		4	1	3	4	17
	ロ	公会堂・集会場	44	7	51	12	2	14	8	14	22	87
2項	イ	バー・キャバレー等			0			0			0	0
	ロ	遊技場 ダンスホール等	14		14	3		3	2	2	4	21
	ハ	性風俗関連特殊営業 店舗			0			0			0	0
	ニ	個室利用役務提供店 舗	1		1			0			0	1
3項	イ	待合・料理店等			0			0			0	0
	ロ	飲食店	2	1	3			0			0	3
4項		百貨店 マーケット等	37	4	41	4		4	5	6	11	56
5項	イ	旅館・ホテル等	3	12	15	1		1			0	16
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	2		2		1	1			0	3
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所			0			0			0	0
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所（入所）等	6		6			0			0	6
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	1		1			0			0	1
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	1		1			0			0	1
		(2) 救護施設			0			0			0	0
		(3) 乳児院			0			0			0	0
		(4) 障害児入所施設			0			0			0	0
		(5) 障害者支援施設等			0			0			0	0
	ハ	老人デイサービス等			0	2	1	3			0	3
	ニ	幼稚園・盲ろう学校			0			0			0	0
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等			0			0			0	0
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	23	8	31	8	1	9	2	3	5	45
合計			143	32	175	34	5	39	18	28	46	260

消防同意事務処理状況

平成30年度

署 別 市町別 種 別		古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
		大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
新 築		151	14	165	32	10	42	21	27	48	255
増 築		31	4	35	3	5	8	3		3	46
改 築				0			0			0	0
移 転				0			0			0	0
修 繕				0			0			0	0
模 様 替				0	1		1			0	1
用 途 変 更		3		3			0		1	1	4
そ の 他		1		1			0		2	2	3
合 計		186	18	204	36	15	51	24	30	54	309
消防設備設置指導を行った		60	5	65	16	1	17	6	12	18	100

危険物施設状況

平成31年3月31日現在

署 別 施設区分		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
危険物施設数（完成施設）	製 造 所	2	1			3
	屋 内 貯 蔵 所	53	13	11	18	95
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	30	9	14	21	74
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2		3	1	6
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	117	48	52	28	245
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					0
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	51	15	53	45	164
	屋 外 貯 蔵 所	3	1	2	5	11
	給 油 取 扱 所	56	20	32	23	131
	販 売 取 扱 所					0
	一 般 取 扱 所	71	21	32	20	144
	移 送 取 扱 所					0
	合 計	385	128	199	161	873
数量別施設数	5 倍 以 下	179	64	110	82	435
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	82	27	29	25	163
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	64	19	37	32	152
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	27	7	11	4	49
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	10	4	3	4	21
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	8	4	6	7	25
	200 倍を超えるもの	15	3	3	7	28
合 計		385	128	199	161	873

危険物関係事務処理状況

平成30年度

署 別 許可区分 施設区分	古川消防署					鳴子消防署					加美消防署					遠田消防署					合 計				
	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認
	設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更	
製 造 所		3		3	3																0	3	0	3	3
屋 内 貯 蔵 所	3	1	3													1		1			3	2	3	1	0
屋外タンク貯蔵所											2										0	2	0	0	0
屋内タンク貯蔵所																					0	0	0	0	0
地下タンク貯蔵所	2	1	2				1		1		2										2	4	2	1	0
簡易タンク貯蔵所																					0	0	0	0	0
移動タンク貯蔵所		1		1			1		1		2	1	1	1		3	1	3	1		5	4	4	4	0
屋 外 貯 蔵 所																					0	0	0	0	0
給 油 取 扱 所	1	5	1	5	5		1		1	1						6		6	5		1	12	1	12	11
一 般 取 扱 所	1	2	2	1			7		7	5		3									1	12	2	8	5
合 計	7	13	8	10	8	0	10	0	10	6	2	8	1	1	0	3	8	3	8	5	12	39	12	29	19

危険物関係申請状況

平成30年度

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
タンクの水張, 水圧検査 (政令)						0
タンクの水張, 水圧検査 (条例)						0
仮 貯 蔵		2		1		3
仮 取 扱		2		3		5

圧縮アセチレンガス等の届出状況

平成31年3月31日現在

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
圧縮アセチレンガス等	圧縮アセチレンガス	3			7	10
	無水硫酸				1	1
	液化石油ガス	750	131	190	190	1,261
	生石灰	8		2	6	16
	毒物	9			2	11
	劇物	40			2	42
指定可燃物等	可燃性固体類	1		1	1	3
	石炭・木炭類					0
	可燃性液体類	11		2	2	15
	合成樹脂類	60	2	20	22	104
	再生資源燃料	3				3
	その他	45	21	23		89
	指定可燃物に類する物品	11			17	28
少 量 危 険 物		871	306	380	352	1,909
移動タンク		49	18	20	17	104

予防査察実施状況

【防火対象物】

平成30年度

防火対象物区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
1項	イ	劇場・映画館等	6	1	4	2	13
	ロ	公会堂・集会場	56	16	33	21	126
2項	イ	バー・キャバレー等					0
	ロ	遊技場・ダンスホール等	6		4	4	14
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗					0
	ニ	個室利用役務提供店舗	4				4
3項	イ	待合・料理店等	2				2
	ロ	飲食店	57	6	12	6	81
4項		百貨店・マーケット等	136	33	31	13	213
5項	イ	旅館・ホテル等	16	72	28	5	121
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	31	19	12	7	69
6項	イ	病院・診療所	15	8	3	4	30
	ロ	老人短期入所施設等	59	11	11	39	120
	ハ	老人デイサービス等	45	14	13	11	83
	ニ	幼稚園・盲ろう学校	19	3	2	4	28
7項		小・中・高等・大学等	50	3	20	45	118
8項		図書館・美術館等	2	1	3	1	7
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等					0
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	5	1	7		13
10項		車両の停車場等				6	6
11項		神社・寺院・教会等	27	3	6	32	68
12項	イ	工場・作業場	98	18	85	12	213
	ロ	映画・テレビスタジオ					0
13項	イ	自動車車庫・駐車場	7	8	10	3	28
	ロ	飛行機等格納庫				24	24
14項		倉庫	57	16	71	25	169
15項		前各項に該当しない事業所	110	83	105	23	321
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	97	29	18	10	154
	ロ	16項イ以外の複合対象物	12	5	7	1	25
17項		文化財等	3	4	2	22	31
実施件数合計			920	354	487	320	2,081

【危険物施設】

危険物施設区分		署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
			実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
製造所			1	1			2
取扱所		給油取扱所	49	23	20	20	112
		一般取扱所	32	21	13	7	73
貯蔵所		屋内貯蔵所	22	11	5		38
		屋外貯蔵所	1	3	2		6
		屋内タンク貯蔵所	1		2	1	4
		屋外タンク貯蔵所	9	8	1	2	20
		地下タンク貯蔵所	50	35	21	9	115
		簡易タンク貯蔵所					0
		移動タンク貯蔵所	50	15	44	33	142
実施件数合計			215	117	108	72	512

査察実施件数は、平成30年4月1日から平成31年3月31日までのもの。

液化石油ガス関係事務処理状況

平成30年度

区 分 \ 署 別		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
液化石油ガス 設備工事	設備工事届	4	3			7
特定液化石油ガス 設備工事業	事業開始届	1				1
	事業変更届	4				4
	事業廃止届					0
立入検査		1				1

火薬類取締関係事務処理状況

平成30年度

署 別 区 分			古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
許 可	譲渡許可						0
	譲受許可		3	1	5		9
	営業許可						0
	設置・移転許可						0
	消費許可	煙火	7		2	4	13
		その他		1	5		6
火薬庫保安検査			1	1			2
火薬庫外貯蔵所指示				1			1
立入検査	販売業者		2	2		1	5
	火薬庫		1	2			3
	消費業者		14	1	3	8	26
	その他		2	2		2	6

民間防火組織の結成状況

平成31年4月1日現在

組織区分 市町名	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
大 崎 市	30	1,131	0	0	105	16,946
色 麻 町	0	0	0	0	25	1,815
加 美 町	5	134	0	0	74	3,893
涌 谷 町	5	120	1	71	48	3,773
美 里 町	0	0	0	0	9	7,602
合 計	40	1,385	1	71	261	34,029

《幼少年消防クラブについて》

幼少年消防クラブは、活動を通じて規律正しく明るく元気な子供を育成することを目的とし、消防署の見学や玩具煙火の正しい遊び方等を学んでもらい、幼年期に防火意識を身に付けてもらえるよう育成指導に努めています。



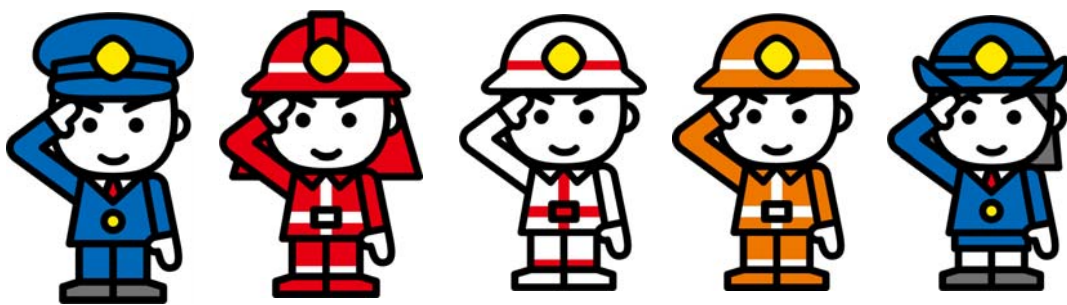
《大崎地域婦人防火クラブ連合会について》事務局：大崎消防本部予防課内

昭和56年に「我が家と地域から火災を無くそう」を合言葉に、大崎地域の婦人防火クラブの健全な育成とクラブ相互の親睦を図り、火災予防思想の普及に寄与することを目的として結成されました。

平成30年度大崎婦人防火クラブ大会では「防災エンスショー！～楽しく科学・伝える防災～」と題して、防災に科学実験を取り入れた防災体験型の研修会を実施しました。また、自主リーダー研修会では「大崎市岩出山」を会場に、「道の駅が果たす地域振興」についての基調講演を受講しました。今後も、地域の防火防災のリーダーとして家庭の防火対策や広報活動など、防火思想の普及に幅広く活動していきます。



通 信 指 令



◎ 119番通報のポイント ◎

★ あわてず、落ち着いて話してください！

1. 火事？それとも救急？
2. あなたの居る場所・緊急車が必要な住所
3. 誰が、どこで、どうしたのか？
4. あなたの名前、電話番号

高機能消防指令センターの概要

平成31年4月1日から新消防庁舎の運用が開始されました。

高機能消防指令センターでは、これまでの通信指令システムに加え、新たに聴覚障がい及び発語障がいのある方がスマートフォン等から通報できる「NET119緊急通報システム」を導入、また、外国人からの119番通報に対応するため、電話通訳センターを介して主要な言語で災害対応が行えるようになりました。

このように、災害通報受付体制を充実強化し、正確・迅速かつ効率的な災害対応を行うとともに、関係機関への情報提供等一連の業務を行っています。

(1) 災害受付

災害通報には、携帯電話や有線電話からの119番通報、消防署所への駆けつけ通報等があります。

119番通報時に、通報者の位置情報が表示される位置情報システムを活用することで、短時間で発生現場の特定を可能にしています。

(2) 出動指令

消防車や救急車の位置をGPSにより管理し、コンピュータにより部隊編成し、有線や無線で出動指令します。



(3) 情報収集・支援情報提供

気象情報や、事前に収集してある消防水利、大規模建物、危険物等の情報を災害現場に支援情報として提供します。



(4) 関係機関への連絡

警察、ガス会社、電力会社等の関係機関には、災害情報を専用回線で連絡しています。

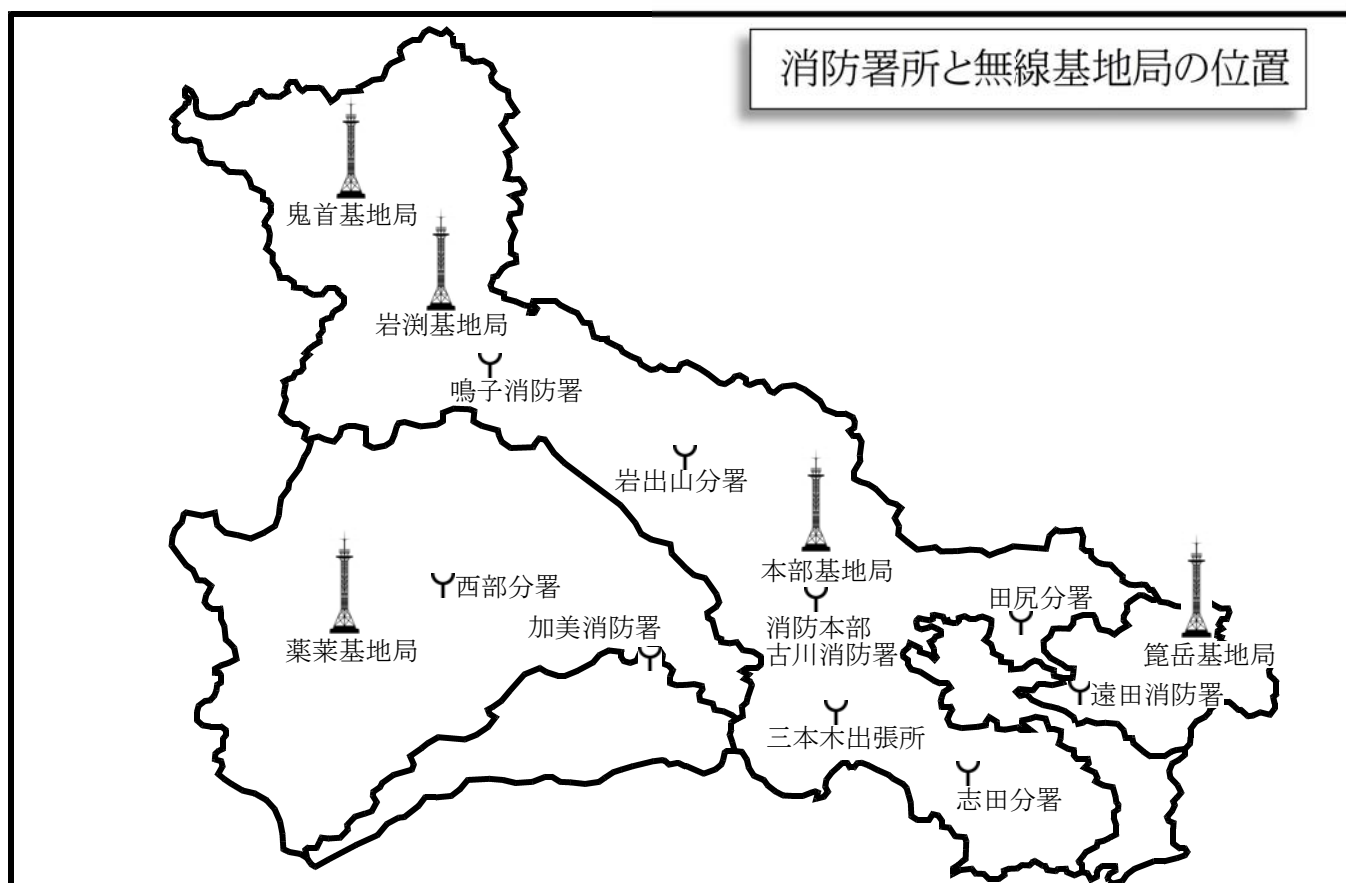
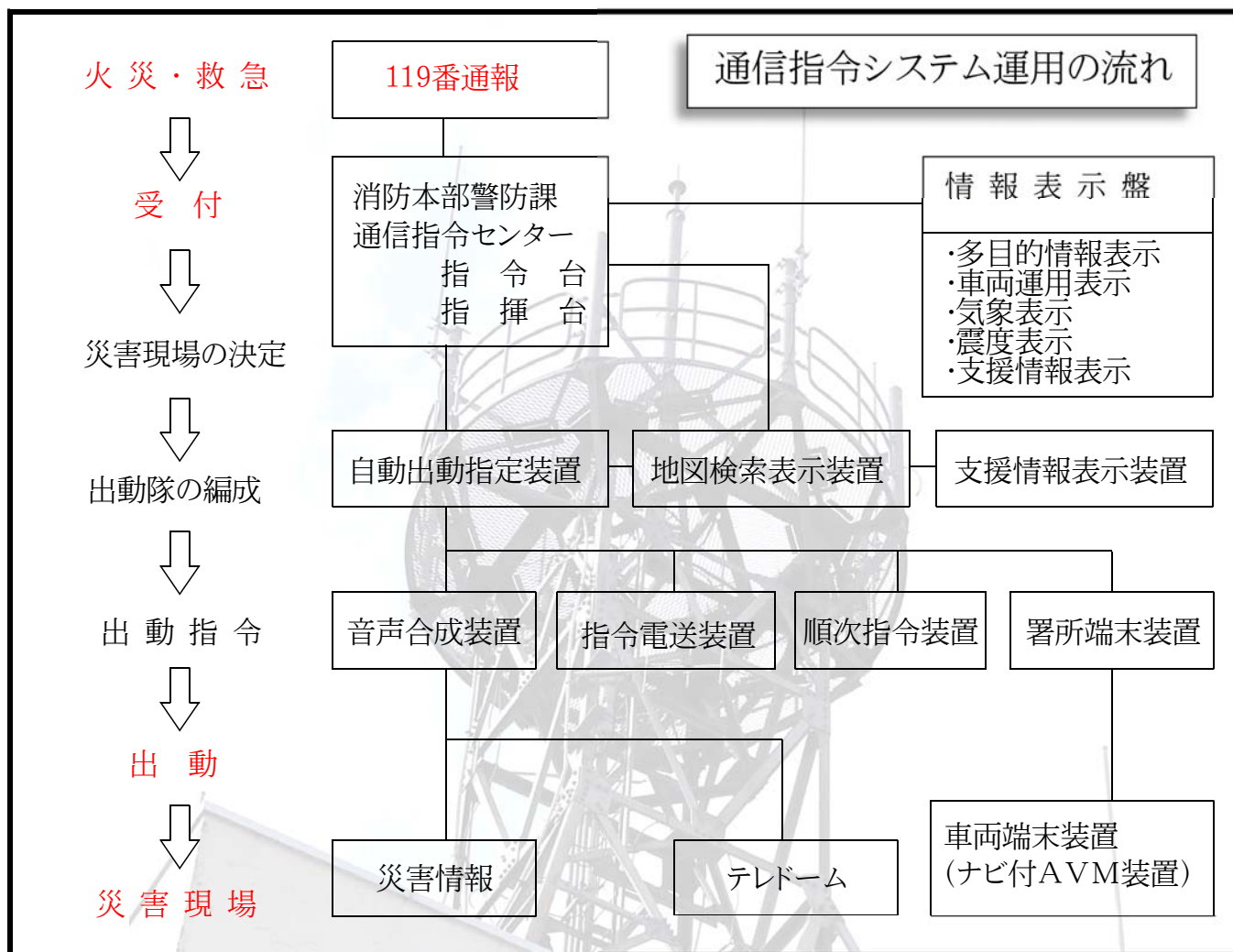
また、国や県には災害規模により、衛星通信、無線、有線により連絡します。



(5) 住民への情報提供

テレドーム（0180-992-500）により災害指令と同時に情報提供しています。





通信指令システム機器一覧

平成31年4月1日現在

項目	内訳	
	数量	単位
1 指令装置	1	式
(1) 指令台	2	台
(2) 自動出動指定装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(3) 地図検索装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(4) 支援情報表示装置	1	式
ア 制御処理装置	1	台
イ ディスプレイ	2	台
(5) 長時間録音装置	1	台
(6) 非常用指令装置	1	台
(7) 指令制御装置	1	台
(8) プリンタ	1	台
(9) カラープリンタ	1	台
(10) スキャナ	1	台
(11) データメンテナンス装置	1	台
(12) 署所端末装置	9	台
(13) バックアップ受令機	8	台
2 指揮台	1	式
3 表示盤	1	式
(1) 車両運用表示盤	3	面
(2) 支援情報表示盤	1	面
(3) 多目的情報表示盤	1	面
4 無線統制台	1	式

項目	内訳	
	数量	単位
5 指令電送装置	1	式
(1) 指令情報送信装置	1	台
(2) 指令情報出力装置	9	台
6 気象情報収集装置	1	式
7 災害状況等自動案内装置	1	式
8 順次指令装置	1	式
9 音声合成装置	1	式
10 出動車両運用管理装置	1	式
(1) 管理装置	1	台
(2) 車両運用端末装置	52	台
(3) 車外設定端末装置	45	台
11 システム監視装置	1	式
12 電源設備	1	式
(1) 無停電電源装置	9	台
(2) 直流電源装置	1	台
(3) 非常用発動発電機	1	台
13 統合型位置情報通知装置	1	式
14 防災無線連動集中制御装置	1	式
15 119 F A X受信装置	1	台
16 監視カメラ装置	1	式
(1) 監視カメラ	3	台
(2) 監視映像受信装置	1	面
17 デジタル無線受令機	25	台
18 N E T 1 1 9 受信装置	1	台

1 1 9 番 等 受 付 状 況 （ 災 害 ）

平成30年1月1日～平成30年12月31日

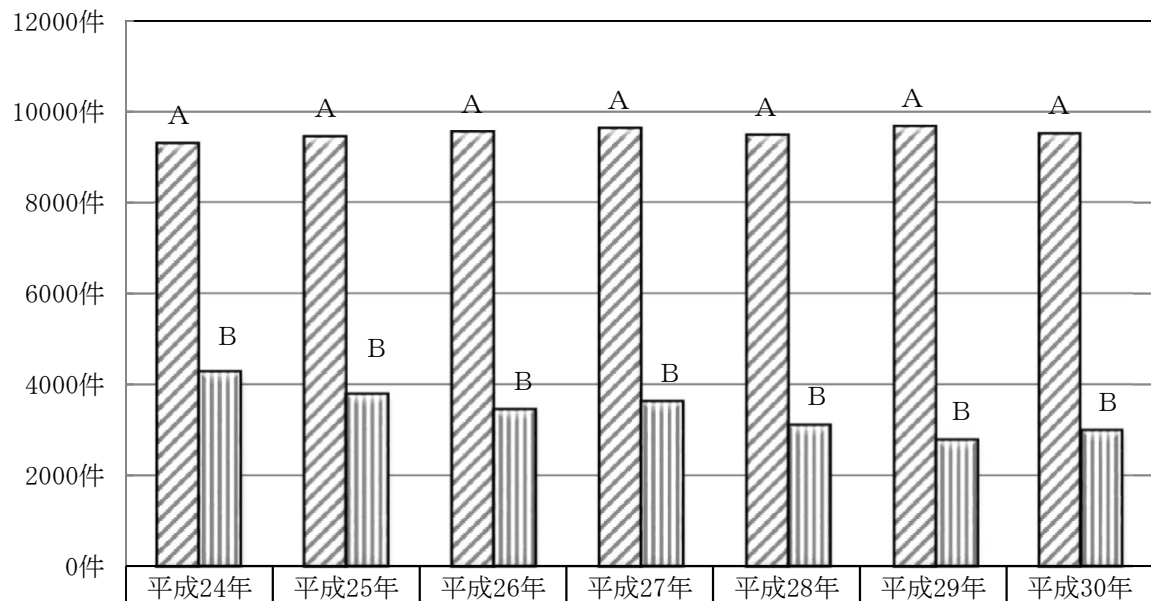
月別	受付種別	火 災	救 急	救助	その他	合 計
1月	1 1 9 番		609	4	10	623
	携 帯 1 1 9	4	254	2	4	264
	加 入 電 話	1	21	1	5	28
	そ の 他		12		10	22
	小 計	5	896	7	29	937
2月	1 1 9 番	1	495	1	10	507
	携 帯 1 1 9	3	202		7	212
	加 入 電 話	2	15	1	9	27
	そ の 他	1	6		6	13
	小 計	7	718	2	32	759
3月	1 1 9 番	1	476	2	18	497
	携 帯 1 1 9	1	209		19	229
	加 入 電 話	1	30	1	11	43
	そ の 他	1	10		4	15
	小 計	4	725	3	52	784
4月	1 1 9 番	3	471	3	11	488
	携 帯 1 1 9	9	226	1	6	242
	加 入 電 話	1	16		6	23
	そ の 他		8	1	3	12
	小 計	13	721	5	26	765
5月	1 1 9 番	1	492	3	8	504
	携 帯 1 1 9	2	214		5	221
	加 入 電 話		14	1	5	20
	そ の 他	1	15		5	21
	小 計	4	735	4	23	766
6月	1 1 9 番		466		8	474
	携 帯 1 1 9	3	221	1	5	230
	加 入 電 話		14	1	4	19
	そ の 他	1	9		3	13
	小 計	4	710	2	20	736
7月	1 1 9 番	3	536	1	11	551
	携 帯 1 1 9		277	1	11	289
	加 入 電 話		30	1	9	40
	そ の 他	1	16		4	21
	小 計	4	859	3	35	901
8月	1 1 9 番		510	1	6	517
	携 帯 1 1 9	3	276	1	10	290
	加 入 電 話		22	1	10	33
	そ の 他	1	6		2	9
	小 計	4	814	3	28	849
9月	1 1 9 番	1	414		6	421
	携 帯 1 1 9	2	219	1	9	231
	加 入 電 話	1	16	1	12	30
	そ の 他		11		4	15
	小 計	4	660	2	31	697
10月	1 1 9 番	3	488	1	17	509
	携 帯 1 1 9	3	234	2	15	254
	加 入 電 話		17		15	32
	そ の 他	2	10		6	18
	小 計	8	749	3	53	813
11月	1 1 9 番	2	454	2	5	463
	携 帯 1 1 9	4	210	2	6	222
	加 入 電 話	1	21	1	5	28
	そ の 他		9		2	11
	小 計	7	694	5	18	724
12月	1 1 9 番	2	466	6	10	484
	携 帯 1 1 9	3	249	1	11	264
	加 入 電 話		15	1	3	19
	そ の 他	1	5	1	2	9
	小 計	6	735	9	26	776
合計	1 1 9 番	17	5,877	24	120	6,038
	携 帯 1 1 9	37	2,791	12	108	2,948
	加 入 電 話	7	231	10	94	342
	そ の 他	9	117	2	51	179
	小 計	70	9,016	48	373	9,507

1 1 9 番 等 受 付 状 況 (災害以外)

平成30年1月1日～平成30年12月31日

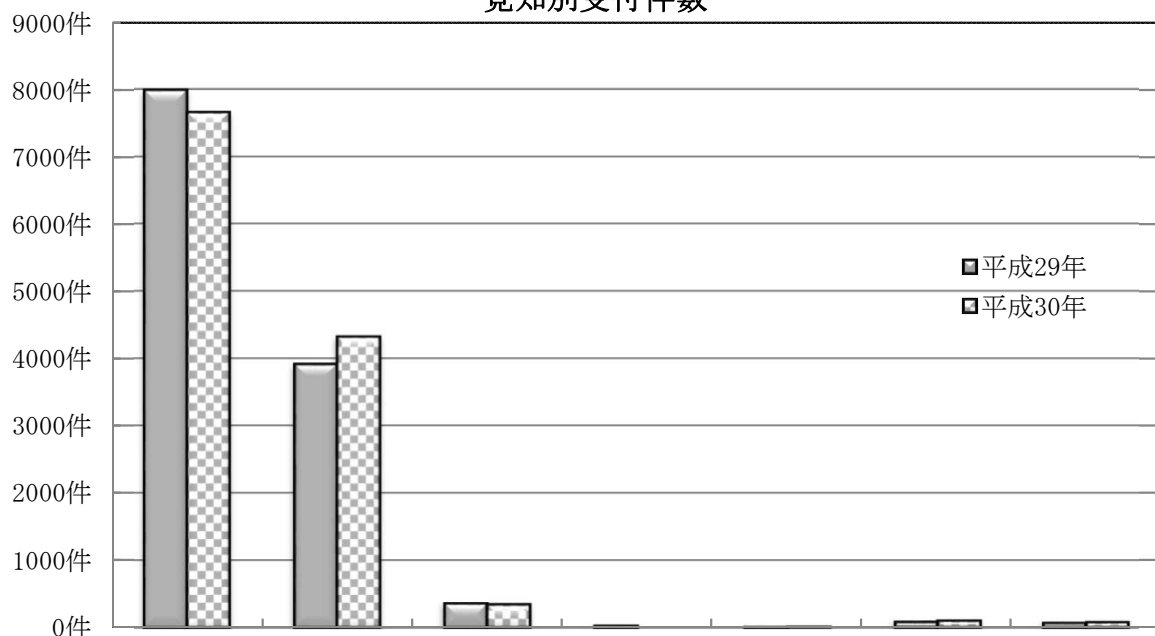
月別	受付種別	事案 試験	いたずら	問合せ	間違い	訓練	試験	重複 その他	合計
1月	1 1 9 番		5	50	29	11	21	16	132
	携 帯 1 1 9		1	64	24		2	11	102
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		6	114	53	11	23	27	234
2月	1 1 9 番		1	30	21	21	5	6	84
	携 帯 1 1 9		1	48	34		3	24	110
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		2	78	55	21	8	30	194
3月	1 1 9 番		1	46	30	42	19	12	150
	携 帯 1 1 9		1	51	35		1	11	99
	加 入 電 話								
	そ の 他			1					1
	小 計		2	98	65	42	20	23	250
4月	1 1 9 番	2		32	38	19	17	6	114
	携 帯 1 1 9			34	38		5	16	93
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計	2		66	76	19	22	22	207
5月	1 1 9 番		3	39	30	35	12	11	130
	携 帯 1 1 9		5	41	21		5	18	90
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		8	80	51	35	17	29	220
6月	1 1 9 番		1	37	33	63	10	8	152
	携 帯 1 1 9		2	41	41	1	5	28	118
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		3	78	74	64	15	36	270
7月	1 1 9 番		2	73	33	36	11	13	168
	携 帯 1 1 9		2	55	32	2		26	117
	加 入 電 話				1				1
	そ の 他								
	小 計		4	128	66	38	11	39	286
8月	1 1 9 番		3	57	18	17	8	9	112
	携 帯 1 1 9		1	76	31		2	22	132
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		4	133	49	17	10	31	244
9月	1 1 9 番		1	48	22	20	1	2	94
	携 帯 1 1 9		1	60	36	2	3	10	112
	加 入 電 話								
	そ の 他				1				1
	小 計		2	108	59	22	4	12	207
10月	1 1 9 番		4	65	23	64	17	5	178
	携 帯 1 1 9		4	86	30	3	8	22	153
	加 入 電 話								
	そ の 他				1				1
	小 計		8	151	54	67	25	27	332
11月	1 1 9 番	1	4	43	40	73	5	7	173
	携 帯 1 1 9			61	40	1	2	27	131
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計	1	4	104	80	74	7	34	304
12月	1 1 9 番		2	47	29	37	1	9	125
	携 帯 1 1 9		7	75	28	1		7	118
	加 入 電 話								
	そ の 他								
	小 計		9	122	57	38	1	16	243
合計	1 1 9 番	3	27	567	346	438	127	104	1,612
	携 帯 1 1 9		25	692	390	10	36	222	1,375
	加 入 電 話				1				1
	そ の 他			1	2				3
	小 計	3	52	1,260	739	448	163	326	2,991

119番等受付件数

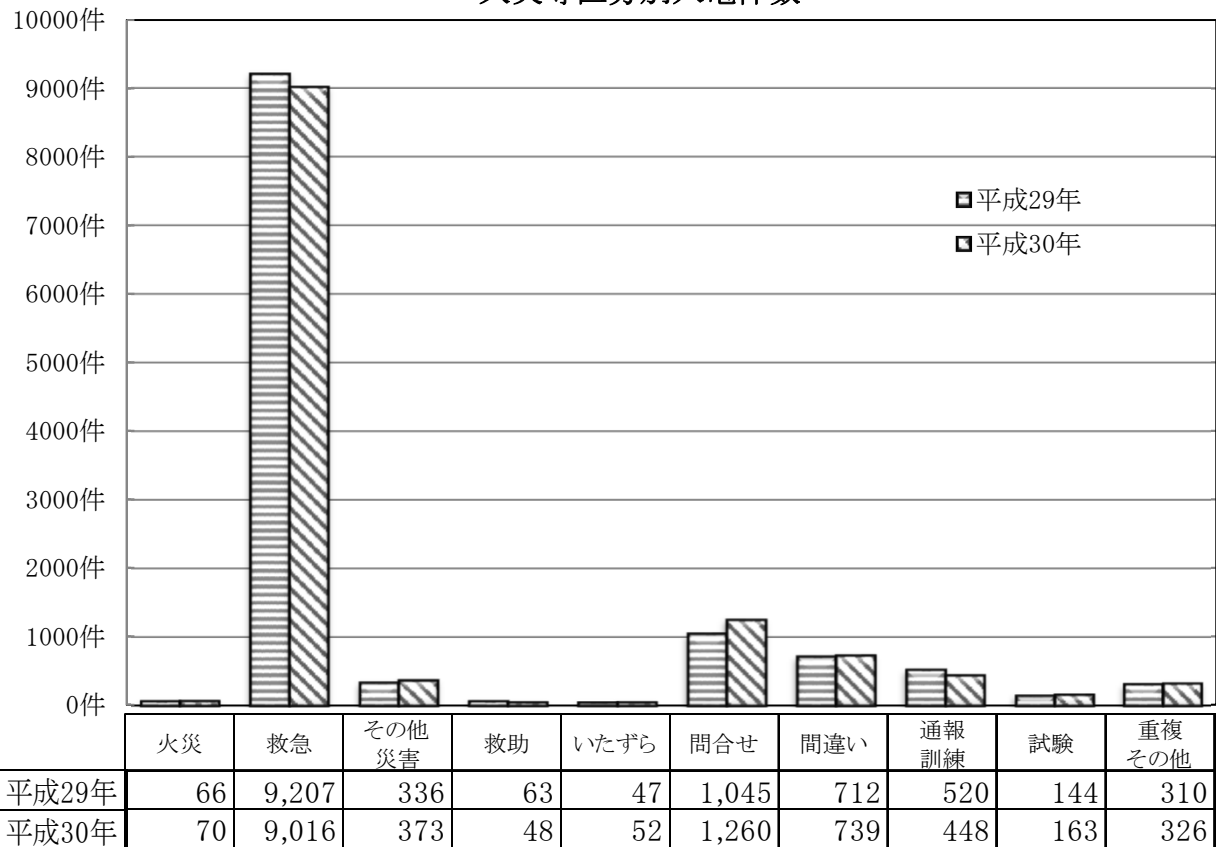


- ・災害とは「火災」「救急」「救助」「その他災害」をいう。
- ・災害以外とは「事案試験」「いたずら」「問合せ」「間違い」「訓練」「試験」「重複・その他」をいう。

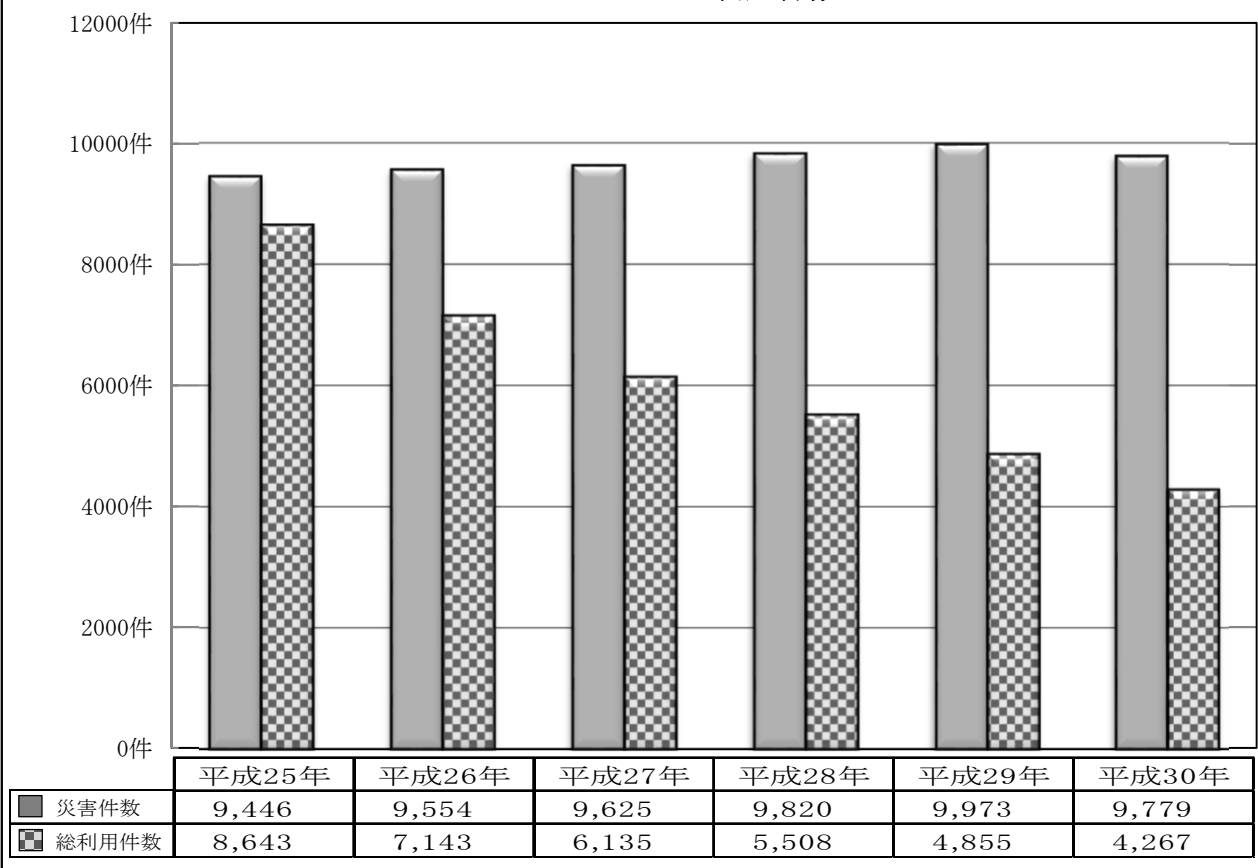
覚知別受付件数



火災等区分別入電件数



テレドーム利用件数



・テレドームとは、救急出動を除く火災、救助、その他災害の発生状況を音声案内で情報提供するものをいう。

月 別 気 象 状 況 (平成30年)

(消防本部観測記録)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 平均
温度	最高 (℃)	9.6	8.4	22.9	28.6	31.6	33.0	35.8	37.1	31.9	27.4	20.8	15.9	25.3
	最低 (℃)	-8.2	-7.1	-4.1	0.3	7.1	11.6	15.4	14.5	12.2	5.5	-0.3	-4.3	3.6
	平均 (℃)	0.0	-0.1	6.3	11.5	16.5	19.9	25.2	24.4	20.1	15.3	9.0	2.7	12.6
湿度	最低 (%)	54.7	52.5	17.5	23.8	27.5	43.6	55.8	45.8	48.8	42.4	48.3	58.3	43.3
	平均 (%)	92.6	90.2	79.9	81.1	83.7	89.8	93.2	92.6	95.1	91.2	91.9	94.4	89.6
風速	日最高平均 (m/s)	11.1	12.5	15.7	13.2	13.6	10.8	9.1	10.5	12.1	16.4	9.1	11.6	12.1
	瞬間最大 (m/s)	20.7	22.4	29.6	22.7	20.6	18.5	15.3	17.4	25.9	32.3	16.3	22.5	22.0
	平均 (m/s)	3.0	2.7	3.3	3.0	2.9	2.6	2.4	2.3	1.8	2.2	1.9	2.6	2.6
降水量	1日最大 (mm)	19.5	8.0	40.0	8.0	26.0	14.0	13.0	67.0	27.5	36.0	23.5	8.5	24.3
	積算 (mm)	64.5	22.5	122.0	29.0	95.5	50.0	51.0	310.5	154.5	77.5	25.5	32.0	86.2
天候観測 昼観測 (日数)	晴日 (快晴含)	16	14	22	14	20	13	19	17	12	23	23	6	199
	曇日	10	9	4	14	7	14	8	5	11	7	5	19	113
	雨日	1	1	5	2	4	3	4	9	7	1	2	2	41
	雪日	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12
地震観測	回数	3	2	1	3	4	1	4	4	6	8	5	6	47
	最大震度	2	2	2	2	2	1	4	2	2	3	1	2	-
備 考 年記録	温度	最高 37.1℃ (8月)												
		最低 -8.2℃ (1月)												
	風速	最大瞬間風速 32.3m/s (10月)												
	降水量	一日最大 67 mm (8月)												
	地震観測	最大震度 4 (7月31日)												

■天候観測は、0時から24時の気象概況

管内の消防団



平成30年度加美町消防団消防演習

於：小野田運動場

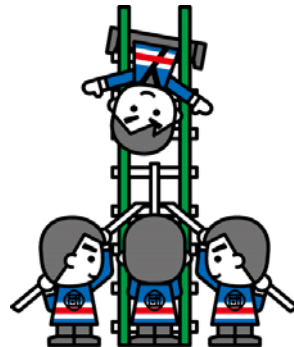
大崎管内の消防団構成

平成31年4月1日現在

市町名	定 数	実 数	階 級 別 実 数								所 有 車 両 数
			団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	副 班 長	団 員	
大崎市	2,430	2,273 (13)	1	22	56	72	140	291	0	1,691 (13)	ポ ン プ 車 10 小型ポンプ積載車 135 小 型 ポ ン プ 69 そ の 他 0
色麻町	210	206 (10)	1	1	4	4	0	20 (1)	0	176 (9)	ポ ン プ 車 0 小型ポンプ積載車 18 小 型 ポ ン プ 0 そ の 他 0
加美町	640	588 (1)	1	3	7	7	20	66	0	484 (1)	ポ ン プ 車 2 小型ポンプ積載車 62 小 型 ポ ン プ 0 そ の 他 0
涌谷町	300	275 (8)	1	2	7	7	9	20 (1)	8	221 (7)	ポ ン プ 車 1 小型ポンプ積載車 17 小 型 ポ ン プ 0 そ の 他 0
美里町	500	458 (7)	1	2	10	14	13 (1)	31 (1)	31	356 (5)	ポ ン プ 車 2 小型ポンプ積載車 27 小 型 ポ ン プ 0 そ の 他 0
合 計	4,080	3,800 (39)	5	30	84	104	182 (1)	428 (3)	39	2,928 (35)	ポ ン プ 車 15 小型ポンプ積載車 259 小 型 ポ ン プ 69 そ の 他 0

※大崎市消防団については、副団長のうち7名が支団長を兼ねる。

※（ ）は女性消防団員の内数



令和元年版 消防年報

令和元年7月発行

編集・発行 大崎地域広域行政事務組合消防本部総務課



宮城県大崎市古川千手寺町二丁目5番20号
電 話 (0229)22-2351(代)
FAX (0229)24-4048
